

種 目	国語
-----	----

	所 属	職 名	氏 名
調 査 員	代表 山田東小学校	校長	岩本 真治
	西牧野小学校	教頭	大寄 歩
	蹉跎東小学校	教諭	西田 恵子



令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
2 東 書	新編 新しい国語	秋田 喜代美 ほか96名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○各単元で、身につける資質・能力を「言葉の力」として明示し、言葉の特徴や使い方、情報の扱い方、我が国の言語文化などについて日常生活に必要な国語の特質を理解し適切に使うことができるように、適切な内容が取りあげられている。 ○「話す・聞く」「書く」「読む」の各言語活動において、課題解決的な学習に取り組むことで、人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う内容となっている。 ○自らの学習をふりかえり、学んだことを実生活や他教科の学習等に活用することにつながる内容が取り扱われている。	
2. 人権の取扱い	○文章、写真、挿絵、図、資料など、社会の多様性を踏まえ、人権尊重の観点から配慮されている。また、戦争や平和、自然環境問題、防災・安全、国際理解や国際協調、SDGsなどを題材にした教材が取りあげられている。ことわざ・慣用句など、時代性による人権上の配慮が必要となるものは、教材中にその旨が明記されている ○すべての児童にとって使いやすくわかりやすいよう、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色、また動画や音声を用い、日本語指導が必要な児童への配慮がされている。	
3. 発達段階への考慮	○児童が興味・関心をもてる題材で、文章の記述や分量が適切である。全学年を通して、意見を交流する活動、情報発信を行う活動など、発達段階を考慮した内容になっている。また、小学校入門期の冒頭教材では、幼児期に親しんだ絵本に似たつくりで言葉の学習の土台作りになるよう工夫されている。 ○写真、挿絵、図、表などの資料は、児童の学習意欲を高めるもの、文章の理解を助ける資料性の高いもの、活動の手順や留意点を分かりやすく示すものなど、学習上必要なものを取りあげている。 ○「漢字を使おう」「言葉相談室」といった単元や主体的に読書活動に取り組む内容が取り扱われ、漢字や入門期の文字を含む語彙を低学年から高学年まで段階的に獲得し、活用する力が育まれるよう考慮されている。	

4. 組織・配列	○単元ごとに学習を通じて育成する資質・能力を「言葉の力」として明確にし、児童が意欲的に学習することができるように、また他教科等との関連を図りながら指導が行われるよう各単元が配列されている。 ○各領域の単元において効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。例えば、「読む」領域の単元では、①「見通す」どんな学習をするのか見通しを持つ②「取り組む」考えたことなどを友だちと伝えあい、自分の考えを深める③「ふり返る」どのようなことを学んだか振り返る、という構成になっている。 ○題材に応じて写真、挿絵、図、表などの資料が適切に効果的に取りあげられている。
5. 学び方の工夫	○学習過程は学びの見通しが持てるよう設定され、個の学びから、伝え合うなどの言語活動を通じて、個別最適な学びと協働的な学びが一体的に充実するよう工夫されている。また、児童が「言葉の力」の系統やつなかりを意識して学習を振り返ることができるようになっている。加えて読書紹介などで個人の興味関心に応じて読み進めることができるようになっている。 ○テーマを決めて話し合ったり、パンフレットや手紙を書いたりするなど、多様な学習活動が効果的に行われるように工夫されている。例えば、6年「プレゼンテーションをしよう」の単元では、よりよくしたいことを見つけ、その情報について集めた資料を使ってプレゼンテーションをする活動が取り扱われている。 ○各学年において学校図書館を活用することについて適切に取りあげられている。発達段階に応じて詳しく調べたり、読んだり活用できるよう教材が設定されている。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○補充的・発展的な学習が可能となるよう、資料やコラムが配置されている。巻末の付録には、「学習で使う言葉」や「言葉の広場」などがあり、その学年で学習した語彙や表現を振り返ることができるようまとめられている。また、二次元コードから、学習に関連する写真や動画などを見ることができるよう工夫されている。 ○各学年の単元学習後の読書紹介「こんな本もいっしょに」では、同一著者の別作品やテーマが関連する作品が紹介されている。また、読書単元の「本は友達 ○年生の本だな」では、学年に応じた図書の紹介とともに、著名人の読書体験文や読書活動の仕方を示すなど、段階的に、読書習慣の形成および進んで学習や生活に生かすことができるよう配慮されている。

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査の報告について

種 目	国語
-----	----

	所 属	職 名	氏 名
調 査 員	代表 山田東小学校	校長	岩本 真治
	西牧野小学校	教頭	大 嵯 歩
	蹉跎東小学校	教諭	西田 恵子



令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
17 教 出	ひろがる言葉 小学国語	樺山 敏郎 青木 伸生 ほか 81 名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○国語による理解力や表現力を育成し、伝え合う力、豊かな言語感覚を養うため、言葉の特徴や使い方、情報の扱い方、我が国の言語文化などについて日常生活に必要な国語の特質を理解し適切に使うことができるように、適切な内容が取りあげられている。 ○「話す・聞く」「書く」「読む」の各言語活動において、課題解決的な学習に取り組むことで、人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う内容となっている。 ○自らの学習をふりかえり、学んだことを実生活や他教科の学習等に活用することにつながる内容が取り扱われている。	
2. 人権の取扱い	○文章、写真、挿絵、図、資料など、社会の多様性を踏まえ、人権尊重の観点から配慮されている。また、戦争や平和、自然環境問題、防災・安全、国際理解や国際協調、SDGsなどを題材にした教材が取りあげられている。ことわざ・慣用句など、時代性による人権上の配慮が必要となるものは、教材中にその旨が明記されている ○すべての児童にとって使いやすくわかりやすいよう、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色などに配慮されている。	
3. 発達段階への考慮	○児童が興味・関心をもてる題材で、文章の記述や分量が適切である。全学年を通して、意見を交流する活動、情報発信を行う活動など、発達段階を考慮した内容になっている。また、低学年では、身近な話題や動物の登場するお話など、親しみやすい題材を取り上げ、経験に照らして活動できるように配慮されている。 ○写真、挿絵、図、表などの資料は、児童の学習意欲を高めるもの、文章の理解を助ける資料性の高いもの、活動の手順や留意点を分かりやすく示すものなど、学習上必要なものを取りあげている。 ○「漢字の広場」「言葉の広場」といった単元や主体的に読書活動に取り組む内容が取り扱われ、漢字や入門期の文字を含む語彙を低学年から高学年まで段階的に獲得し、活用する力が育まれるよう考慮されている。	

4. 組織・配列	○目次や巻頭の「○年生で学ぶこと」を確認することで、1年間を通した学習の見通しをもち、児童が意欲的に学習することができるように、また他教科等との関連を図りながら指導が行われるよう各単元が配列されている。 ○各領域の単元において効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。例えば、「読む」領域の単元では、①「たしかめよう」どんな学習をするのかたしかめる②「くわしくよもう」自分の考えを深める③「まとめよう」自分の考えをまとめる④「つたえあおう」友だちと伝えあう、という構成になっている。 ○題材に応じて写真、挿絵、図、表などの資料が適切に効果的に取りあげられている。
5. 学び方の工夫	○学習過程は学びの見通しが持てるよう設定され、個の学びから、伝え合うなどの言語活動を通じて、個別最適な学びと協働的な学びが一体的に充実するよう工夫されている。また、読書紹介などで個人の興味関心に応じて読み進めることができるようになっている。 ○テーマを決めて話し合ったり、パンフレットや手紙を書いたりするなど、多様な学習活動が効果的に行われるように工夫されている。例えば、6年「パネルディスカッションー地域の防災」の単元では、資料をもとに主張を組み立て、自分たちの地域の災害についてパネルディスカッションをする活動が取り扱われている。 ○各学年において学校図書館を活用することについて適切に取りあげられている。発達段階に応じて詳しく調べたり、読んだり活用できるよう教材が設定されている。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○補充的・発展的な学習が可能となるよう、資料やコラムが配置されている。巻末の付録には、「学ぶときに使う言葉」や「『大事な言い方』を確かめよう」などがあり、その学年で学習した語彙や表現を振り返ることができるようまとめられている。また、二次元コードから、学習に関連する写真や動画などを見ることができるよう工夫されている。 ○各学年の単元学習後の読書紹介「本を読もう」では、同一著者の別作品やテーマが関連する作品が紹介されている。巻末の「○年生で読みたい本」では、学年に応じた多様なテーマの図書が解説文つきで紹介されている。また、読書単元の「読書の広場」では、読書交流活動のコーナーを設けるなど、読書習慣の形成および進んで学習や生活に生かすことができるよう配慮されている。

種 目	国語		所 属	職 名	氏 名
		調 査 員	代表 山田東小学校	校長	岩本 真治
			西牧野小学校	教頭	大寄 歩
			蹉跎東小学校	教諭	西田 恵子

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
38 光 村	国 語	甲斐 睦朗 ほか49名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○「たいせつ」では、その単元で身につけた国語の力を示し、言葉の特徴や使い方、情報の扱い方、我が国の言語文化などについて日常生活に必要な国語の特質を理解し適切に使うことができるように、適切な内容が取りあげられている。 ○「話す・聞く」「書く」「読む」の各言語活動において、課題解決的な学習に取り組むことで、人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う内容となっている。 ○自らの学習をふりかえり、学んだことを実生活や他教科の学習等に活用することにつながる内容が取り扱われている。	
2. 人権の取扱い	○文章、写真、挿絵、図、資料など、社会の多様性を踏まえ、人権尊重の観点から配慮されている。また、戦争や平和、自然環境問題、防災・安全、国際理解や国際協調、SDGsなどを題材にした教材が取りあげられている。ことわざ・慣用句など、時代性による人権上の配慮が必要となるものは、教材中にその旨が明記されている ○すべての児童にとって使いやすくわかりやすいよう、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色に配慮し、多言語音声コンテンツが用意されている。	
3. 発達段階への考慮	○児童が興味・関心をもてる題材で、文章の記述や分量が適切である。全学年を通して、意見を交流する活動、情報発信を行う活動など、発達段階を考慮した内容になっている。また、学年初めの子どもたちが学びに向かう姿勢をつくる教材が取り入れられている ○写真、挿絵、図、表などの資料は、児童の学習意欲を高めるもの、文章の理解を助ける資料性の高いもの、活動の手順や留意点を分かりやすく示すものなど、学習上必要なものを取りあげている。 ○「漢字の広場」「言葉」といった単元や主体的に読書活動に取り組む内容が取り扱われ、漢字や入門期の文字を含む語彙を低学年から高学年まで段階的に獲得し、活用する力が育まれるよう考慮されている。	

4. 組織・配列	○教科書全体を「単元」「小単元」「コラム」「特設単元」で構成し、児童が意欲的に学習することができるように、また他教科等との関連を図りながら指導が行われるよう各単元が配列されている。 ○各領域の単元において効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。例えば、「読む」領域の単元では、①「とらえよう」どんな学習をするのかとらえる②「ふかめよう」考えたことなどを友だちと伝えあい、自分の考えを深める③「まとめよう」自分の考えをまとめる④「ひろげよう」どのようなことを学んだか振り返る、という構成になっている。 ○題材に応じて写真、挿絵、図、表などの資料が適切に効果的に取りあげられている。
5. 学び方の工夫	○例えば「読む」領域の単元では、「とらえよう」「ふかめよう」「まとめよう」「ひろげよう」というように、学習過程は学びの見通しが持てるよう設定され、個の学びから、伝え合うなどの言語活動を通じて、個別最適な学びと協働的な学びが一体的に充実するよう工夫されている。また、各学年の巻頭に「国語の学びを見わたそう」が設けられ、学びの流れが視覚化されている。読書紹介などで個人の興味関心に応じて読み進めることができるようになっている。 ○テーマを決めて話し合ったり、パンフレットや手紙を書いたりするなど、多様な学習活動が効果的に行われるように工夫されている。例えば、6年「聞いて、考えを深めよう」の単元では、知りたいことを明らかにし、相手の考えを引き出し、インタビューを通して考えたことをグループで伝え合う活動が取り扱われている。 ○各学年において学校図書館を活用することについて適切に取りあげられている。発達段階に応じて詳しく調べたり、読んだり活用できるよう教材が設定されている。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○補充的・発展的な学習が可能となるよう、資料やコラムが配置されている。巻末の付録には、「『たいせつ』のまとめ」や「言葉の宝箱」などがあり、発達段階に応じて、その学年で学習した語彙や表現を振り返ることができるようまとめられている。また、二次元コードから、学習に関連する写真や動画などを見ることができるよう工夫されている。 ○各学年の単元学習後の読書紹介「この本、読もう」では、テーマが関連する作品が紹介されている。巻末の「本の世界を広げよう」では、テーマごとの図書が解説文つきで紹介されている。また、読書単元の「本は友達」では、本の選び方や交流の仕方を示すなど、読書習慣の形成および進んで学習や生活に生かすことができるよう配慮されている。

種 目	書 写
-----	-----

	所 属	職 名	氏 名
調 査 員	代表 津田南小学校	校長	松村 光庸 
	香陽小学校	教頭	神戸 拓
	東香里小学校	指導教諭	藤井 美和子

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
2 東 書	新編 新しい 書写	押木 秀樹 青山 浩之 ほか28名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○各学年で適切な指導内容が取りあげられている。 ○毛筆を使用する書写の指導の際は、毛筆で文字を書いた後、硬筆で文字を書くことで学習した内容の定着を図り、別の文字に生かす展開で構成されており、硬筆を書くときの文字を整えて書くための知識・技能である「書写のかぎ」の基礎を養うよう取り扱われている。	
2. 人権の取扱い	○人権尊重の観点から、文章・写真・挿絵・図・資料などが適切に取り扱われている。また、利き手にかかわらず取り組めるよう1年生では、ほぼ同程度の写真で配慮されている。 ○ユニバーサルデザインの観点から、文字の大きさやフォント、レイアウトや配色について工夫されている。 ○人権への配慮について、適切になされている。また、各国の児童の写真や世界の文字、障がいのある人の作品等が取りあげられている。	
3. 発達段階への考慮	○書写に関する事項について、例えば、1・2年では、「しゅしゃたいそう」で体を動かしながら姿勢に気を付け、筆記具の持ち方を正しくし、点画の書き方や 文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くこと、5年では、「ポスター」を例にあげ、様々な「筆記具」の写真と「筆記具」を用いて書いた線や文字を掲載し、各目的に合った筆記具を選ぶように考えさせること等が、写真やイラスト、デジタルコンテンツ等で取りあげられている。 ○「生活に広げよう」「文字といっしょに」「学びを生かそう」等や、各単元において、ノート、はがき、手紙、原稿用紙の書き方など、日常生活や学習活動に役立つ活動が取りあげられている。	
4. 組織・配列	○各学年の目標や内容を踏まえて、系統的に単元が配列されている。また、他教科等と関連させた学習活動が活用単元「生活に広げよう」「学びを生かそう」等で示されている。 ○各単元は、1「見つけよう」で導入し、2「確かめよう」で理解し確認し、3「生かそう」で活用し、4「ふり返ろう」でどのようなことを学んだか振り返る、という構成になっている。	

	○毛筆の教材では、見開き左ページには手本が示され、右ページには学習の流れにそってポイントが配置されている。
5. 学び方の工夫	○「書写の学び方」「生活に広げよう」のページ等で、個別最適な学びと協働的な学びが一体的に充実するよう、学び方が示されている。また、二次元コードで単元の導入の動画やシミュレーション、毛筆の筆使いの動画などを掲載し、個別最適な学びが実現するように工夫されており、書いたものを読み合ったり、書写で学んだことをどう生かしたかを話し合ったりするなど、協働的な学びが実現するよう工夫されている。 ○身に付けた書写の力を、学習活動のどの場面でいかせるかが分かる教材を取り上げ、カリキュラム・マネジメントがしやすいように工夫されている。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○「平仮名」「片仮名」「ローマ字」「漢字」一覧があり、学習した内容を振り返ることができる。 ○「文字といっしょに」のコーナー等において、漢字や仮名の成り立ち、世界の文字、文字に込めた人々の思いなど様々な観点から文字文化を取りあげた書写に関する興味・関心を高めるような内容が掲載されている。

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査の報告について

種 目	書 写
-----	-----

	所 属	職 名	氏 名
調 査 員	代表 津田南小学校	校長	松村 光庸 
	香陽小学校	教頭	神戸 拓
	東香里小学校	指導教諭	藤井 美和子

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
17 教 出	小学 書写	長野 秀章 ほか31名38 光 村
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○各学年で適切な指導内容が取りあげられている。 ○毛筆を使用する書写の指導の際は、毛筆で文字を書いた後、硬筆で別の文字を書くことで学習した内容の定着を図り、別の文字に生かす展開で構成されており、硬筆による「ためし書き」と振り返りを行うことで、硬筆による書写能力の基礎を養うように取り扱われている。	
2. 人権の取扱い	○人権尊重の観点から、文章・写真・挿絵・図・資料などが適切に取り扱われている。また、利き手にかかわらず取り組めるよう配慮されている。 ○ユニバーサルデザインの観点から、文字の大きさやフォント、レイアウトや配色について工夫されている。 ○人権への配慮について、適切になされている。また、各国の児童の写真や世界の文字、SDGs等が取りあげられている。	
3. 発達段階への考慮	○書写に関する事項について、例えば、1・2年では、イラストを使って「よいしせいの合いことば」でこしを立てることを意識して姿勢に気を付け、筆記具の持ち方を正しくし、点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くこと、5年では、「ポスター」を例にあげ、様々な「筆記具」の写真と「筆記具」を用いて書いた線や文字を掲載し、各目的に合った筆記具を選ぶように考えさせること等が、写真やイラスト、デジタルコンテンツ等で取りあげられている。 ○「レッツ・トライ」「知っておこう」「書いて伝え合おう」等や、各単元において、ノート、はがき、手紙、原稿用紙の書き方など、日常生活や学習活動に役立つ活動が取りあげられている。	
4. 組織・配列	○各学年の目標や内容を踏まえて、系統的に単元が配列されている。また、他教科等と関連させた学習活動が活用単元「レッツ・トライ」等で示されている。 ○各単元は、1「つかむ・考える」で導入し、2「確かめる（書く）」で理解し確認し、3「ふり返る」で、どのようなことを学んだか振り返り、最後に4「生かす・広げる」で学習したことを生かして書く、という構成になっている。 ○毛筆の教材では、見開き右ページには手本が示され、左ページには学習の流れにそつ	

	てポイントが配置されている。
5. 学び方の工夫	○「学習の進め方」「書いて伝え合おう」のページ等で、個別最適な学びと協働的な学びが一体的に充実するよう、学び方が示されている。また、二次元コードで姿勢や筆記具の持ち方、毛筆の筆使いの動画などを掲載し、個別最適な学びが実現するように工夫されおり、どう書くとよいかを話し合ったり、書いたものを読み合ったりするなど、協働的な学びが実現するよう工夫されている。 ○身に付けた書写の力を、学習活動のどの場面でいかせるかが分かる教材を取り上げ、カリキュラム・マネジメントがしやすいように工夫されている。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○「平仮名」「片仮名」「ローマ字」「漢字」一覧があり、学習した内容を振り返ることができる。 ○「知りたい文字の世界」のコーナー等において、漢字や仮名の成り立ち、手書き文字と活字、文字の歴史など様々な観点から文字文化を取りあげた書写に関する興味・関心を高めるような内容が掲載されている。

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査の報告について

種 目	書 写
-----	-----

	所 属	職 名	氏 名
調 査 員	代表 津田南小学校	校長	松村 光庸 
	香陽小学校	教頭	神戸 拓
	東香里小学校	指導教諭	藤井 美和子

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
38 光 村	書 写	宮澤 正明ほか23名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○各学年で適切な指導内容が取りあげられている。 ○毛筆を使用する書写の指導の際は、毛筆で文字を書いた後、硬筆で文字を書くことで学習した内容の定着を図り、別の文字に生かす展開で構成されており、硬筆による書写の能力の基礎を養うよう取り扱われている。	
2. 人権の取扱い	○人権尊重の視点から、文章・写真・挿絵・図・資料などが適切に取り扱われている。また、利き手にかかわらず取り組めるよう配慮されている。 ○ユニバーサルデザインの観点から、文字の大きさやフォント、レイアウトや配色が工夫されている。 ○人権への配慮について、適切になされている。また、ジェンダー平等やアイヌ民族、SDGs等が取りあげられている。	
3. 発達段階への考慮	○書写に関する事項について、例えば、1・2年では、「しよしゃたいそう」を設け、体を動かしながら姿勢に気を付け、筆記具の持ち方を正しくし、点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くこと、6年では、「パンフレットの書き方」を例にあげ、様々な「筆記具」の写真と「筆記具」を用いて書いた線や文字を掲載し、各目的に合った筆記具を選ぶように考えさせること等が、写真やイラスト、デジタルコンテンツ等で取りあげられている。 ○「書写広げたい」「もっと知りたい」「ことば」等や、各単元において、ノート、はがき、手紙、原稿用紙の書き方など、日常生活や学習活動に役立つ活動が取りあげられている。	
4. 組織・配列	○各学年の目標や内容を踏まえて、系統的に単元が配列されている。また、他教科等と関連させた教材「書写広げたい」等で示されている。 ○各単元は、1「考えよう」で導入し、2「確かめよう」で理解し確認し、3「生かそう」で活用し、4「ふり返ろう」で、どのようなことを学んだか振り返る、という構成になっている。 ○毛筆の教材では、見開き左ページには手本が示され、右ページには学習の流れにそってポイントが配置されている。	

5. 学び方の工夫	○「学習の進め方」「書写広げたい」のページ等で、個別最適な学びと協働的な学びが一体的に充実するよう、学び方が示されている。また、二次元コードで姿勢や筆記具の持ち方、毛筆や硬筆の運筆の動画などを掲載し、個別最適な学びが実現するよう工夫されており、どう書くとよいかを話し合ったり、書いたものを読み合ったりするなど、協働的な学びが実現するよう工夫されている。 ○身に付けた書写の力を、学習活動のどの場面でいかせるかが分かる教材を取り上げ、カリキュラム・マネジメントがしやすいように工夫されている。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○「平仮名」「片仮名」「ローマ字」「漢字」一覧があり、学習した内容を振り返ることができる。 ○「もっと知りたい」のコーナー等において、漢字のいろいろな書き方や、手書き文字と活字、文字の歴史など様々な観点から文字文化を取りあげ書写に関する興味・関心を高めるような内容が掲載されている。

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査の報告について

種 目	社会
-----	----

	所 属	職 名	氏 名
調 査 員	代表 東香里小学校	校長	西村 英理
	桜丘小学校	教頭	飯田 剛
	田口山小学校	教諭	宮下 啓輔

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
東京書籍	新編 新しい社会	澤井 陽介 ほか102名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○社会科の目標を達成するために、適切な内容が取りあげられている。 ○各単元の目標に沿った学習問題をつくり、調べまとめることを通して、児童が社会生活について理解し、情報を調べ、まとめる技能が身に付けられるようになっている。 ○社会科で使う見方・考え方を働かせ、社会的事象の意味を児童が多角的に考えたり、公正に判断したりするのに適した内容が取り扱われている。 ○児童が学習してきたことを踏まえて、よりよい社会の実現に向けて自分にできることを考えるよう促すなど、よりよい社会を考えようとする態度を育成できる内容が取り扱われている。	
2. 人権の取扱い	○すべての学年において、世界の人々との共生について学び考えていくことができるよう取り扱われている。例えば、4年の県内の特色ある地域の様子を学習する単元では、地域における多文化共生をめざす取り組みなどが取りあげられている。6年の日本とつながりの深い国々について学習する単元では、「アメリカ合衆国・中華人民共和国・フランス共和国・ブラジル連邦共和国」を例として取りあげている。 ○すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、適宜フォントを使い分け、文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。 ○人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。様々な教材を通して人権尊重についての認識を深めるようになっている。また、6年の基本的人権の尊重について学習をする単元では、人権問題に対する自治体の取り組みを紹介する中で、「まちにあるユニバーサルデザイン」などを取りあげている。	
3. 発達段階への考慮	○児童の発達段階を考慮した内容となっている。 ○文章は、児童の発達段階に応じた字の大きさ、文の量、わかりやすい表現で記述されており、写真、挿絵、図、表などの資料については、児童の発達段階を考慮した内容となっている。 ○独自のキャラクターを活用し、発達の段階を踏まえつつ学習者が疑問を持ちそうなことを語らせている。	

4. 組織・配列	○各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。 ○各学年の扉ページに、前の学年で「学んだこと」とその学年で「学ぶこと」がまとめられている。4年「2住みよいくらしをつくる」の単元では、水の学習の後にごみの学習へ進む配列となっている。電気・ガスの学習については、「ひろげる」というページで発展的学習として配列されている。 ○問題解決的な学習を児童が行えるように、「めあて」「つかむ」「学習問題」「調べる」「まとめる」「いかす」（歴史では「つかむ」「しらべる」「ひろげる」の箇所もあり。）で具体的な目標や取り組みを掲載している。 ○本文がページの中央、写真・挿絵・図・表などの資料が周りというようにページが配置されている。また、資料の中には、学習内容に応じた学び方を示す「学び方コーナー」や、他教科との関わりを示す「他教科関連マーク」なども配置されている。
5. 学び方の工夫	○社会的な見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されている。 ○個別最適な学びができるよう、動画や画像の資料、ワークシートなどのデジタルコンテンツが用意されている。また、本文には、複数の学習者が疑問に思ったこと、調べたこと、考えたことなどを示し、協働的な学習を促している。 ○単元ごとのまとめのページが、ワークシート形式を採用している。また、地図に書き込むなどの作業的な活動、見学や聞き取りなどの体験的な活動が取り扱われている。 ○問題解決的な学習展開が、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の4段階に分けられており、「社会科の学習の進め方」としてそれぞれの段階における学習方法が示されている。 ○どの学年においても教科書本文にキャラクターの会話があり、社会科で学ぶ視点が広がる工夫が見られ、「広がり」「時間」「関係」の観点で着目させ、比較、分類、総合、関連の考え方を促している。また、「まなび方コーナー」では、「見る・聞く・ふれる、読み取る、表す、伝える」という学習の技能や方法が示されている。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○単元末では、学習問題や「ことば」を再掲し、学習してきたことをまとめるワークシート等を示すなど、学びを振り返ることができるよう配慮されている。 ○「ひろげる」では、学んだことにかかわるコラムや資料を掲載し、学習したことをもとに発展的な学習ができるように取り扱われている。 ○様々な学習場面において活用できるデジタルコンテンツが用意されている。

種 目	社会
-----	----

	所 属	職 名	氏 名
調 査 員	代表 東香里小学校	校長	西村 英理
	桜丘小学校	教頭	飯田 剛
	田口山小学校	教諭	宮下 啓輔

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
教育出版	小学社会	大石 学 小林 宏己 ほか73名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○社会科の目標を達成するために、適切な内容が取りあげられている。 ○各単元の目標に沿った学習問題をつくり、調べまとめることを通して、児童が社会生活について理解し、情報を調べ、まとめる技能が身に付けられるようになっている。 ○社会の変化や課題に対して自ら対応していく資質能力を育むために社会科で使う見方・考え方を働かせ、問題解決的な学習を基調にしており、全ての学年の冒頭に「社会科学学習の進め方」のページを設けて、見通しを持って取り組めるようしている。 ○児童が学習してきたことを踏まえて、よりよい社会の実現に向けて自分にできることを考えるよう促すなど、よりよい社会を考えようとする態度を育成できる内容が取り扱われている。	
2. 人権の取扱い	○すべての学年において、世界の人々との共生について学び考えていくことができるよう取り扱われている。例えば、4年の県内の特色ある地域の様子を学習する単元では、地域における多文化共生をめざす取り組みなどが取りあげられている。6年の日本とつながりの深い国々について学習する単元では、「アメリカ合衆国・中華人民共和国・ブラジル連邦共和国・サウジアラビア王国」を例として取りあげている。 ○すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、適宜フォントを使い分け、文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。 ○人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。様々な教材を通して人権尊重についての認識を深めるようになっている。また、6年の基本的人権の尊重について学習をする単元では、「ハンセン病と人権侵害」「先住民の人々の人権」「障害者差別解消法」などを囲み資料で取りあげている。	
3. 発達段階への考慮	○児童の発達段階を考慮した内容となっている。 ○文章は、児童の発達段階に応じた字の大きさ、文の量、わかりやすい表現で記述されており、写真、挿絵、図、表などの資料については、児童の発達段階を考慮した内容となっている。 ○体験的な活動や生活体験とつなげる考え方を重視して編集している。3年生では「家庭の買い物体験」といった身近な題材から6年生では「日本と外国のつながり」へと	

	発達におうじて体験の広がりを意識している。
4. 組織・配列	○各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。 ○各学年の扉のページに、前の学年で「学んだこと」「できるようになったこと」「学び方」についての振り返りがまとめられている。4年「2健康なくらしとまちづくり」の単元では、ごみの学習の後に水の学習へ進む配列となっている。電気・ガスの学習については、水の学習と置き換えられるように取り扱われている。 ○「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」の進め方を基本とした単元構成がされている。単元末には学習問題をもとに単元を振り返るページ等があり、語句や社会的事象の意味・関連を確認する構成になっている。 ○大単元の導入には既習事項や生活体験に関連させて気づきを与えることで、間が無理なく児童に生まれ、主体的に問題解決学習が行えるよう配慮している。
5. 学び方の工夫	○社会的な見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されている。 ○個別最適な学びができるよう、動画や画像の資料、ワークシートなどのデジタルコンテンツが用意されている。また、本文には、複数の学習者が疑問に思ったこと、調べたこと、考えたことなどを示し、協働的な学習を促している。 ○地図に書き込むなどの作業的な活動、見学や聞き取りなどの体験的な活動が取り扱われている。 ○問題解決的な学習展開が「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」の4段階に分けられており、「社会科の学習の進め方」としてそれぞれの段階における学習方法が示されている。 ○どの学年においても教科書本文にキャラクターの会話があり、社会科で学ぶ視点が広がる工夫が見られ、「広がり」「時間」「関係」の観点で着目させ、比較、分類、総合、関連の考え方を促している。また、「まなび方コーナー」では、「見る・聞く・ふれる、読み取る、表す、伝える」という学習の技能や方法が示されている。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○単元末では、学習問題や「キーワード」を再掲し、学習してきたことをまとめたノート等を示すなど、学びを振り返ることができるよう配慮されている。 ○「もっと知りたい」では、学んだことにかかわるコラムや資料を掲載し、学習したことをもとに発展的な学習ができるように取り扱われている。 ○様々な学習場面において活用できるデジタルコンテンツが用意されている。

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査の報告について

種 目	社会
-----	----

	所 属	職 名	氏 名
調 査 員	代表 東香里小学校	校長	西村 英理
	桜丘小学校	教頭	飯田 剛
	田口山小学校	教諭	宮下 啓輔

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
日本文教出版	小学社会	池野 範男 的場 正美 安野 功 ほか178名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○社会科の目標を達成するために、適切な内容が取りあげられている。 ○各単元の目標に沿った学習問題をつくり、調べまとめることを通して、児童が社会生活について理解し、情報を調べ、まとめる技能が身に付けられるようになっている。 ○児童の学びを支援し、社会的な見方・考え方を生かした問題解決的な学習に取り組めるようしている。 ○児童が学習してきたことを踏まえて、よりよい社会の実現に向けて自分にできることを考えるよう促すなど、よりよい社会を考えようとする態度を育成できる内容が取り扱われている。	
2. 人権の取扱い	○すべての学年において、世界の人々との共生について学び考えていくことができるよう取り扱われている。例えば、4年の県内の特色ある地域の様子を学習する単元では、地域における多文化共生をめざす取り組みなどが取りあげられている。6年の日本とつながりの深い国々について学習する単元では、「アメリカ合衆国・中華人民共和国・ブラジル連邦共和国・大韓民国」を例として取りあげている。 ○すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、適宜フォントを使い分け、文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。 ○人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。様々な教材を通して人権尊重についての認識を深めるようになっている。また、6年の基本的人権の尊重について学習をする単元では、人権問題に対する自治体の人の取り組みの話の中でSNSやインターネット上で人権がおかされた問題、また本文で「障害者差別解消法」などを取りあげている。	
3. 発達段階への考慮	○児童の発達段階を考慮した内容となっている。 ○文章は、児童の発達段階に応じた字の大きさ、文の量、わかりやすい表現で記述されている。 ○学年の発達段階、児童の興味関心などを考慮し、文章や写真、挿絵、図、表などの資料が各学年の内容に対応している。全学年を通じて、児童の立場からの発言や話し合いを行いやすいよう配慮している。	

4. 組織・配列	○各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。 ○各学年の扉のページに、「○年生の社会科がはじまります！」という、その学年で学習する内容がまとめられている。4年「2健康なくらしを守る仕事」の単元では、ごみの学習の後に水の学習へ進む配列となっている。電気・ガスの学習については、水の学習の後に、「学習資料」というページで取り扱うように配列されている。 ○「問題を発見する力を身につけよう」「問題を追求・解決する力を身につけよう」「問題をほりさげ、よりよい未来をつくる力を身につけよう」の3つの段階で、問題解決学習を進める。 ○本文がページの中央、写真・挿絵・図・表などの資料が周りというようにページが配置されている。また、資料の中には、学習計画の立て方や学習に必要な技能を示す「学び方・調べ方コーナー」なども配置されている。
5. 学び方の工夫	○社会的な見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されている。 ○個別最適な学びができるよう、動画や画像の資料、ワークシートなどのデジタルコンテンツが用意されている。また、本文には、複数の学習者が疑問に思ったこと、調べたこと、考えたことなどを示し、協働的な学習を促している。 ○地図に書き込むなどの作業的な活動、見学や聞き取りなどの体験的な活動が取り扱われている。 ○児童が自身で学習が進められるような問題解決的な学習展開が見られる。「問題を発見する力を身につけよう」「問題を追究・解決する力を身につけよう」「問題をほりさげ、よりよい未来をつくる力を身に付けよう」の3段階に分けられており、「社会科の学習の進め方」としてそれぞれの段階における学習方法が示されている。 ○どの学年においても教科書本文にキャラクターの会話があり、「社会科で使う見方・考え方」を「空間」「時間」「関係」の観点で着目させ、比較、分類、総合、関連の考え方を促している。また、「学び方・調べ方コーナー」では、「見る・調べる、読み取る、表現する」という学習の技能や方法が示されている。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○単元末では、学習問題を再掲し、学習してきたことを交流し、まとめたノート等を示すなど、学びを振り返ることができるよう配慮されている。 ○「未来につなげる」では、学んだことにかかわるコラムや資料を掲載し、学習したことをもとに発展的な学習ができるように取り扱われている。 ○様々な学習場面において活用できるデジタルコンテンツが用意されている。

種 目	地図
-----	----

	所 属	職 名	氏 名
調 査 員	代表 東香里小学校	校長	西村 英理
	桜丘小学校	教頭	飯田 剛
	田口山小学校	教諭	宮下 啓輔

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
東京書籍	新編 新しい地図帳	吉水 裕也 石丸 哲史 ほか11名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○日本全図、日本地域図、世界全図、世界大陸図が取り扱われている。 ○地図の成り立ち、地図の見方、地図帳の索引の引き方、地域の人々の生産や販売、農業や水産業・工業の盛んな地域、日本の位置と領土、地形や気候、自然災害と防災、歴史の概要、日本の伝統文化、47都道府県の名称と位置、世界文化遺産、世界の主な国の名称と位置、日本と関係の深い国、地球儀、SDG s などについて理解するために、必要な資料が取りあげられている。巻末の特設ページでは日本の自然災害について取りあげている。 ○二次元コードを読み取ることで、地図帳の使い方などをアニメーションによる解説で学習することができる。	
2. 人権の取扱い	○人権尊重の観点から、基本となる地図、文章、写真、挿絵、図、資料等が適切に取りあげられている。また、世界の国の「ありがとう」や世界の様々な動物や料理が紹介されており、国際理解について深めることができる。 ○すべての児童にとって使いやすく分かりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色などが配慮されている。	
3. 発達段階への考慮	○3年生からの使用となることを踏まえ、地図の仕組みと約束事をわかりやすく解説している地図学習のページを設置している。13ページからの地図帳の使い方は中学校への接続を意識して詳細な説明となっている。 ○日本地図において、ほとんどの地方が100万分の1の縮尺で表されており、全ての都道府県の地図上に、産業、交通、環境、文化・歴史等、各学年の学習内容の情報が取りあげられている。	
4. 組織・配列	○教科等横断的な視点も含め、学習を効果的に進めることができているよう配慮されている。 ○内容における系統、配列、関連について適切に取り扱われている。例えば、日本の歴史の中で、どのように世界とかがかわっていたかの事例を取りあげ、地理と歴史を関連付けた学習が進められるよう記載されている。 ○言葉だけでなく、イラストも多く使われている。また地図のページの境目に隣接する	

	地域のページが分かるようにページ番号が書かれた矢印が記載されており、すぐに調べることができる。 ○世界と日本のイントロダクションとなる地図からはじまり、日本列島を見渡す地図、日本の地方図と都市検図、世界全国、世界の州ごとの地図、資料図、統計資料、索引と系統的に配列され、扱いやすい構成となっている。
5. 学び方の工夫	○「地図のきまり」や「地図帳の使い方」等で、基本的な地図の読み方が整理されている。各ページに「マップでジャンプ」という、楽しみながら地図で学習できるような課題があり、子どもたちが意見交流を行ったり一緒に調べたりする活動につなげることができ、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実が図られている。 ○地図や資料と関連したことについて、コラムやキャラクターのコメントが掲載されるなど、児童の興味・関心を高める工夫がされている。 ○児童がオリジナルの地図記号を考える学習活動ができるなど、主体的に資料等を活用して学ぶことができる。 ○ホップステップマップでジャンプのコーナーを随所に設けて、地理的な視点を提示している。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○基礎的・基本的な知識および技能の習得ができるようになっている。例えば、デジタルコンテンツでは、地形や土地の利用の様子をイメージしやすいように、ドローンによる動画を視聴することができる。 ○日本や世界各国に親しみが持てるよう、各国の自然や文化などの特徴を表した写真やイラストを掲載したり、キャラクターのコメントで気づきを促したりするなど、多角的な考察を広げ深める際に活用できるよう工夫されている。また、他教科の内容と関連する情報が掲載され、各学年の学習の中で幅広く活用できる内容となっている。 ○防災教育に活用できるよう、日本列島の災害について地理的視点で理解できるように見開き3ページ分の日本列島地図に記載している。 ○歴史年表と時代にあった地図を並べて掲載して、地理（地勢）が歴史に与えた影響が視覚的に理解できる工夫がある。

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査の報告について

種 目	地図
-----	----

	所 属	職 名	氏 名
調 査 員	代表 東香里小学校	校長	西村 英理
	桜丘小学校	教頭	飯田 剛
	田口山小学校	教諭	宮下 啓輔



令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
帝国書院	楽しく学ぶ 小学生の地図帳 3・4・5・6年	帝国書院編集部 代表者 佐藤 清 ほかに 15 名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○日本全図、日本地域図、世界全図、世界大陸図が取り扱われている。 ○地図の成り立ち、地図の見方、地図帳の索引の引き方、地域の人々の生産や販売、農業や水産業・工業の盛んな地域、日本の位置と領土、地形や気候、自然災害と防災、歴史の概要、47都道府県の名称と位置、世界文化遺産、世界の主な国の名称と位置、日本と関係の深い国、地球儀、SDG s などについて理解するために、必要な資料が取りあげられている。巻末の特設ページではSDG s 等について取りあげている。 ○二次元コードを読み取ることで、地図帳の使い方などをアニメーションによる解説で学習することができる。	
2. 人権の取扱い	○人権尊重の観点から、基本となる地図、文章、写真、挿絵、図、資料等が適切に取りあげられている。また、「集まれ！世界のこどもたち」の資料では、それぞれの国の文化が紹介されており、国際理解について深めることができる。 ○すべての児童にとって使いやすく分かりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色などが配慮されている。	
3. 発達段階への考慮	○地図学習をはじめて行う人が地図を使用できるように分かりやすく、地図の成り立ちを解説して使用方法を説明するページを設けている。さらに3年生向けの地図を「地図で世界・日本発見！」「広く見わたす地図」を掲載している。 ○日本地図において、ほとんどの地方が100万分の1の縮尺で表されており、全ての都道府県の地図上に、産業、交通、環境、文化・歴史等、各学年の学習内容の情報が取りあげられている。	
4. 組織・配列	○教科等横断的な視点も含め、学習を効果的に進めることができているよう配慮されている。 ○内容における系統、配列、関連について適切に取り扱われている。例えば、日本の自然災害と防災については、過去の災害、防災の事例を取り上げ、防災マップ作りの学習が進められるよう記載されている。 ○言葉だけでなく、イラストも多く使われている。また地図のページの境目に隣接する地域のページが分かるようにページ番号が書かれた矢印が記載されており、すぐに調	

	べることができる。 ○3年生向けの地図を冒頭に掲載し、4年生以降の向けの地図を続けて掲載しており、また、歴史的な視点の地図も、近畿地方や関東地方のページに掲載しており、4年間を通じて使用することや学習単元に応じて使用することに配慮した配列となっている。
5. 学び方の工夫	○「地図のやくそく」や「地図帳の使い方」等で、基本的な地図の読み方が整理されている。各ページに「地図マスターへの道」という、楽しみながら地図で学習できるような課題があり、子どもたちが意見交流を行ったり一緒に調べたりする活動につなげることができる、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実が図られている。 ○地図や資料と関連したことについて、コラムやキャラクターのコメントが掲載されるなど、児童の興味・関心を高める工夫がされている。 ○方位や地図記号、距離の求め方等の技能を活用する学習活動ができるなど、主体的に資料等を活用して学ぶことができる。 ○地図の縮尺や特性に応じた文字の大きさや配列に配慮して、地図での学習を行いやすい配慮がある。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○基礎的・基本的な知識および技能の習得ができるようになっている。例えば、デジタルコンテンツでは、47都道府県のデジタル地図を土地の様子、交通、産業、工業など8項目のテーマごとに表示することができる。 ○日本や世界各国に親しみが持てるよう、各国の自然や文化などの特徴を表した写真やイラストを掲載したり、キャラクターのコメントで気づきを促したりするなど、多角的な考察を広げ深める際に活用できるよう工夫されている。また、他教科の内容と関連する情報が掲載され、各学年の学習の中で幅広く活用できる内容となっている。 ○防災についての特設ページが見開き2ページにまとめており、日本の災害の状況が分かりやすく学ぶことができる工夫がある。 ○SDGSについて学ぶコラムの掲載やページの設定（p125-126）、デジタルコンテンツが充実している。

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査の報告について

種 目	算数
-----	----

	所 属	職 名	氏 名
調 査 員	代表 田口山小学校	校長	田中 毅 
	津田小学校	教頭	川野 竜弘
	枚方第二小学校	教諭	西田 暁弘

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
東京書籍	新編 新しい算数	清水 美憲 真島 秀行 ほか102名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○基礎的・基本的な概念、や性質について理解し、日常の事象を数理的に処理する技能が身につくよう、適切な課題が設定されている。 ○数学的な見方・考え方を虫めがねマークで示すこと等で、見通しをもち、筋道を立てて、思考・判断・表現することができる内容となっている。 ○「算数で読みとこう」や「いかしてみよう」等で、学習したことを生活の中で生かすことができるよう取り扱われている。 ○第4～6学年において「プログラミングを体験しよう！」やQRコードを読み込むことでプログラミングを体験できるよう工夫されている。	
2. 人権の取扱い	○文章、写真、挿絵、図、資料など、人権尊重の観点から配慮されている。例えば、写真や挿絵で様々な多様性が尊重されるよう配慮されている。 ○ユニバーサルデザインの観点から、フォントや配置、色、図などが工夫され、すべての児童にとって扱いやすいよう配慮されている。 ○登場するキャラクターの性別を明確にしていないことや、色によって男女を区別しないよう配慮されている。	
3. 発達段階への考慮	○文章の記述や分量について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。 ○写真、挿絵、図、表などの資料が発達段階を考慮したものになっている。例えば、第1学年では、文字の使用を最小限に抑え、活動を写真で示唆するなど、円滑に学習にのぞめるよう配慮されている。また、1年①はA4版中綴じ製本で分冊化され、平らに開くようにされている。 ○児童の発達段階に応じて、具体的な体験を伴う学習活動が行われるよう配慮されている。例えば、各学年の巻末に、具体的な体験を伴う学習活動を支援するための、切り取って使用する教材が用意されている。また、タブレット上で操作活動ができるようなデジタルコンテンツが用意されている。 ○第6学年には「算数卒業旅行」の中で「中学体験入学コース」があり、小学校算数と中学校数学を「見方・考え方」でつなげながら、学習に取り組めるような内容になっ	

	ている。
4. 組織・配列	○年間を通して、各領域を学習できるように配列されている。巻頭のもくじでは、それまでに学習した関連単元や、それ以降に学習する関連単元も示されている。 ○生活の中にある算数やこれまでに学習してきたことなどについて話し合いながらめあてをつくり、課題解決的に問題に取り組んでいく構成になっている。単元の終わりには「たしかめよう」「つないでいこう算数の目」等が配置されている。 ○効果的な指導が行われるよう、本文・写真・挿絵・図・表などが適切に配置されている。 ○第6学年の「文字と式」が早い段階で取り扱われており（単元の2つめ）、以降の単元で文字が使えるようになっている。
5. 学び方の工夫	○個別最適な学びや協働的な学びについて、それぞれの学びを一体的に充実させるような課題と学び方が設定されている。例えば、第2学年以上では、上巻巻頭に「学びのとびら」として、「授業開き」のページがあり、課題設定の場面やキャラクターの吹き出しをもとに数学的活動を通して、資質・能力を高めていけるような内容になっている。また、対話を促し、考えが比較できるよう、多くの場面で2人以上の考え方が提示されている。 ○各単元のはじめを中心に、日常生活や社会の事象を数学化した課題が多く設定されている。また、SDGsについて考えることができる課題も取り扱っている。 ○さまざまな問題発見・解決の方法が示されるとともに、解決過程や既習事項を振り返って総合的・発展的に考える課題が設定されている。例えば、課題をどう解決し、いかしていくかのサイクルが紹介され、問題解決の過程が提示されている。また、その過程の中で、ICTの利活用方法が例示されている。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○単元末や巻末に「たしかめよう」や「つないでいこう 算数の目」「ほじゅうのもんだい」（「にている問題」「少しむずかしい問題」の2種類を用意）「おもしろ問題にチャレンジ」「ふりかえりコーナー」などが設けられ、学習を振り返り、深めることができるよう配慮されている。 ○ほぼすべてのページにQRコードを掲載し、タブレット端末を用いて、動画や練習問題に取り組めるようになっている。

種 目	算数
-----	----

	所 属	職 名	氏 名
調 査 員	代表 田口山小学校	校長	田中 毅
	津田小学校	教頭	川野 竜弘
	枚方第二小学校	教諭	西田 暁弘

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
大日本図書	新版 たのしい算数	相馬 一彦 ほか45名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○基礎的・基本的な概念や性質について理解し、日常の事象を数理的に処理する技能が身につくよう、適切な課題が設定されている。 ○数学的な見方・考え方を巻頭の「算数の大切な考え方」として取り上げるとともに、「ひらめきアイテム」として示すこと等で、以降の学習で活用できるよう工夫されている。 ○「算数たまたげこ」や「学んだことを生かそう」「ふくろう先生のなるほど算数教室」等で、学習したことを生活の中で生かすことができるよう取り扱われている。 ○第1～6学年すべてにおいて「プログラミングにちょうせん!」のコーナーがあり、系統的にプログラミング的思考を育成できるよう工夫されている。	
2. 人権の取扱い	○文章、写真、挿絵、図、資料など、人権尊重の観点から配慮されている。例えば、写真や挿絵で様々な多様性が尊重されるよう配慮されている。 ○ユニバーサルデザインの観点から、フォントや配置、色、図などが工夫され、すべての児童にとって扱いやすいよう配慮されている。 ○登場するキャラクターの性別を明確にしていないことや、色によって男女を区別しないよう配慮されている。（田中追記）第1学年「かずをさがそう」では、外国にルーツを持つ児童や車いすを使っている児童を掲載し、多様性を意識した挿絵となっている。	
3. 発達段階への考慮	○文章の記述や分量について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。 ○写真、挿絵、図、表などの資料が発達段階を考慮したものになっている。例えば、単元によっては導入部分で、児童が問題場面をより把握できるような動画が用意されている。また、1年①はA4版中綴じ製本で分冊化され、平らに開くことができるようになっている。 ○児童の発達段階に応じて、具体的な体験を伴う学習活動が行われるよう配慮されている。例えば、各学年の巻末に、具体的な体験を伴う学習活動を支援するための、切り取って使用する教材が用意されている。また、タブレット上で操作活動ができるようなデジタルコンテンツが用意されている。	

	○第6学年の「数学の世界へ」では、小学校算数と中学校数学を「見方・考え方」でつなげながら、学習に取り組めるような内容になっている。
4. 組織・配列	○年間を通して、各領域を学習できるように配列されている。巻頭のもくじでは、それまでに学習した関連単元や、それ以降に学習する関連単元も示されている。 ○生活の中にある算数やこれまでに学習してきたことなどについて話し合いながらめあてをつくり、課題解決的に問題に取り組んでいく構成になっている。単元の終わりには「たしかめ問題」「読み取る力をのばそう」等が配置されている。 ○効果的な指導が行われるよう、本文・写真・挿絵・図・表などが適切に配置されている。 ○第2学年以上では、学年一冊の合本（上下巻に分けていない）とすることで、学習内容の見通しが持ちやすく、既習事項の振り返りもしやすくなっている。
5. 学び方の工夫	○個別最適な学びや協働的な学びについて、それぞれの学びを一体的に充実させるような課題と学び方が設定されている。例えば、巻頭の「算数のまなび方」では、下学年の時の学習を振り返りながら、児童の学び方が例示されている。また、対話を促し、考えが比較できるよう、多くの場面で2人以上の考え方が提示されている。 ○各単元のはじめを中心に、日常生活や社会の事象を数学化した課題が多く設定されている。また、SDGsについて考えることができる課題も取り扱っている。 ○さまざまな問題発見・解決の方法が示されるとともに、解決過程や既習事項を振り返って総合的・発展的に考える課題が設定されている。例えば、課題をどう解決し、いかしていくかのサイクルが紹介され、問題解決の過程が提示されている。また、その過程の中で、ICTの利活用方法が例示されている。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○単元末や巻末に「たしかめもんだい」や「学んだことを生かそう」「算数たまたげこ」「ふくろう先生になるほど算数教室」「プラス・ワン」などが設けられ、学習を振り返り、深めることができるよう配慮されている。 ○QRコードから、下学年の見方・考え方を参照できるページが多くあり、「見方・考え方の系統性」が意識されている。QRコードと対応した「デジタルコンテンツマーク」により、どんなコンテンツに移動するのかが分かりやすい。

種 目	算 数		所 属	職 名	氏 名
		調 査 員	代表 田口山小学校	校長	田中 毅
			津田小学校	教頭	川野 竜弘
			枚方第二小学校	教諭	西田 暁弘

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
学校図書	みんなと学ぶ 小学校 算数	一松 信 岡田 樟雄 ほか76名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○基礎的・基本的な概念や性質について理解し、日常の事象を数理的に処理する技能が身につくよう、適切な課題が設定されている。 ○数学的な見方・考え方を「算数で見つきたい！考え方モンスター」で示すこと等で、見通しをもち、筋道を立てて、思考・判断・表現することができる内容となっている。 ○「算数をつかって」や「ふかめよう」「なるほど算数」等で、学習したことを生活の中で生かすことができるよう取り扱われている。 ○第1～6学年すべてにおいて「プログラミングのプ」のコーナーがあり、系統的にプログラミング的思考を育成できるよう工夫されている。	
2. 人権の取扱い	○文章、写真、挿絵、図、資料など、人権尊重の観点から配慮されている。例えば、写真や挿絵で様々な多様性が尊重されるよう配慮されている。 ○ユニバーサルデザインの観点から、フォントや配置、色、図などが工夫され、すべての児童にとって扱いやすいよう配慮されている。 ○登場するキャラクターを男子2人、女子2人にし、紙面に登場する比率や役割、話し方などについて偏りがないよう配慮している。	
3. 発達段階への考慮	○文章の記述や分量について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。 ○写真、挿絵、図、表などの資料が発達段階を考慮したものになっている。例えば、第1学年の入門期には、ものの形を捉えたり、数に置き換えて考えるうえで、児童が意欲的に取り組めるよう、イラストや動画が豊富に用意されている。 ○児童の発達段階に応じて、具体的な体験を伴う学習活動が行われるよう配慮されている。例えば、各学年の巻末に、具体的な体験を伴う学習活動を支援するための、切り取って使用する教材が用意されている。また、タブレット上で操作活動ができるようなデジタルコンテンツが用意されている。 ○ 第6学年では、別冊「中学校へのかけ橋」が用意され、小学校算数と中学校数学を「見方・考え方」でつなげながら、学習に取り組めるような内容になっている。	

	○教科書のサイズがAB版で、作業等がしやすい。また、第1学年が上下巻に分かれており、1冊の重さが非常に軽い。
4. 組織・配列	○年間を通して、各領域を学習できるように配列されている。巻頭のもくじでは、それまでに学習した関連単元や、それ以降に学習する関連単元も示されている。 ○単元の終わりには「できるようになったこと」「まなびをいかそう」「ふりかえろう！」などが配置されている。 ○生活の中にある算数やこれまでに学習してきたことなどについて話し合いながらめあてをつくり、課題解決的に問題に取り組んでいく構成になっている。単元の終わりには「できるようになったこと」「まなびをいかそう」「ふりかえろう！」などが配置されている。 ○効果的な指導が行われるよう、本文・写真・挿絵・図・表などが適切に配置されている。 ○第6学年の「文字と式」が早い段階で取り扱われており（単元の2つめ）、以降の単元で文字が使えるようになっている。
5. 学び方の工夫	○個別最適な学びや協働的な学びについて、それぞれの学びを一体的に充実させるような課題と学び方が設定されている。例えば、「算数の学び方」には児童の学び方が例示されている。また、対話を促し、考えが比較できるよう、多くの場面で2人以上の考え方が提示されている。 ○各単元のはじめを中心に、日常生活や社会の事象を数学化した課題が多く設定されている。また、SDGsについて考えることができる課題も取り扱っている。 ○さまざまな問題発見・解決の方法が示されるとともに、解決過程や既習事項を振り返って総合的・発展的に考える課題が設定されている。例えば、課題をどう解決し、いかしていくかのサイクルが紹介され、問題解決の過程が提示されている。また、ICTを活用した単元がある。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○単元末や巻末に「できるようになったこと」「まなびをいかそう」「ふりかえろう！」「算数パトロール隊」「今の自分を知ろう！」「ほじゅう問題」「ふかめよう」などが設けられ、学習を振り返り、深めることができるよう配慮されている。 ○QRコードを読み取ることで、学習に役立つ情報を得たり、補充的な問題を行ったりすることができる。また、計算問題では、学習者自らが「時間設定」できるような工夫がみられる。

種 目	算数
-----	----

	所 属	職 名	氏 名
調 査 員	代表 田口山小学校	校長	田中 毅
	津田小学校	教頭	川野 竜弘
	枚方第二小学校	教諭	西田 暁弘

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
教育出版	小学算数	金本 良通 細水 保宏 ほか38名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○基礎的・基本的な概念や性質について理解し、日常の事象を数理的に処理する技能が身につくよう、適切な課題が設定されている。 ○数学的な見方・考え方について、巻頭で下学年の学習で使ってきた「算数のミカタ」を振り返られるようになっているとともに、単元の中で「つながるミカタ」で示すこと等で、見通しをもち、筋道を立てて、思考・判断・表現することができる内容となっている。 ○「学んだことを使おう」や「算数ワールド」「広がる算数」「Let's Try」等で、学習したことを生活の中で生かすことができるよう取り扱われている。 ○第1～6学年すべてにおいて「プログラミングにちょうせん」のコーナーがあり、系統的にプログラミング的思考を育成できるよう工夫されている。	
2. 人権の取扱い	○文章、写真、挿絵、図、資料など、人権尊重の観点から配慮されている。例えば、写真や挿絵で様々な多様性が尊重されるよう配慮されている。 ○ユニバーサルデザインの観点から、フォントや配置、色、図などが工夫され、すべての児童にとって扱いやすいよう配慮されている。 ○登場するキャラクターの性別を明確にしていないことや、色によって男女を区別しないよう配慮されている。	
3. 発達段階への考慮	○文章の記述や分量について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。例えば、第1学年では、初めて学習する「さんすう」に対して、まちがいさがしから始まり、その後の学習においても、児童の身近な生活とのつながりを意識した内容となっている。 ○写真、挿絵、図、表などの資料が発達段階を考慮したものになっている。例えば、単元によってはまとめの部分で、児童が学習内容をより理解できるような動画が用意されている。 ○児童の発達段階に応じて、具体的な体験を伴う学習活動が行われるよう配慮されている。例えば、2～6年の巻末に、具体的な体験を伴う学習活動を支援するための、切り取って使用する教材が用意されている。また、タブレット上で操作活動ができるよ	

	うなデジタルコンテンツが用意されている。 ○第6学年「数学へのとびら」では、小学校算数と中学校数学を「見方・考え方」でつなげながら、学習に取り組めるような内容になっている。 ○第5学年（第6学年も）で、学年一冊の合本（上下巻に分けていない）とすることで、学習内容の見通しが持ちやすく、既習事項の振り返りもしやすくなっている。
4. 組織・配列	○年間を通して、各領域を学習できるように配列されている。巻頭のもくじでは、それまでに学習した関連単元も示されている。 ○生活の中にある算数やこれまでに学習してきたことなどについて話し合いながらめあてをつくり、課題解決的に問題に取り組んでいく構成になっている。単元の終わりには「ふり返ろう」「たしかめよう」などが配置されている。 ○効果的な指導が行われるよう、本文・写真・挿絵・図・表などが適切に配置されている。 ○第6学年の「文字と式」が早い段階で取り扱われており（単元の1つめ）、以降の単元で文字が使えるようになっている。
5. 学び方の工夫	○個別最適な学びや協働的な学びについて、それぞれの学びを一体的に充実させるような課題と学び方が設定されている。例えば、「みんなで算数をはじめよう！」には児童の学び方が例示されている。また、対話を促し、考えが比較できるよう、多くの場面で2人以上の考え方が提示されている。 ○各単元のはじめを中心に、日常生活や社会の事象を数学化した課題が多く設定されている。また、SDGsについて考えることができる課題も取り扱っている。 ○さまざまな問題発見・解決の方法が示されるとともに、解決過程や既習事項を振り返って総合的・発展的に考える課題が設定されている。例えば、課題をどう解決し、いかしていくかのサイクルが紹介され、問題解決の過程が提示されている。また、その過程の中で、ICTを活用する様子が示されている。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○単元末や巻末に「ふり返ろう」「たしかめよう」「算数ワールド」「復習」「算数をつかって考えよう」「学年のまとめ」「ステップアップ算数」「広がる算数」などが設けられ、学習を振り返り、深めることができるよう配慮されている。 ○「まなびリンク」としてQRコードから各種コンテンツ等を見ることができる。QRコード内にアイコンが示されており、どんなコンテンツに移動するのかが分かりやすい。

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査の報告について

種 目	算数
-----	----

	所 属	職 名	氏 名
調 査 員	代表 田口山小学校	校長	田中 毅
	津田小学校	教頭	川野 竜弘
	枚方第二小学校	教諭	西田 暁弘

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
啓林館	わくわく 算数	寺垣内 政一 根上 生也 矢部 敏昭 清水 静海 ほか205名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○基礎的・基本的な概念や性質について理解し、日常の事象を数理的に処理する技能が身につくよう、適切な課題が設定されている。 ○数学的な見方・考え方に「たいせつな見方・考え方」としてマーカーを付すこと等で、見通しをもち、筋道を立てて、思考・判断・表現することができる内容となっている。 ○「学びをいかそう」等で、学習したことを生活の中で生かすことができるよう取り扱われている。 ○第1～6学年すべてにおいて「わくわくプログラミング」のコーナーがあり、系統的にプログラミングの思考を育成できるよう工夫されている。	
2. 人権の取扱い	○文章、写真、挿絵、図、資料など、人権尊重の観点から配慮されている。例えば、写真や挿絵で様々な多様性が尊重されるよう配慮されている。 ○ユニバーサルデザインの観点から、フォントや配置、色、図などが工夫され、すべての児童にとって扱いやすいよう配慮されている。 ○登場するキャラクターの性別を明確にしていないことや、色によって男女を区別しないよう配慮されている。外国にルーツを持つ児童や車いすを使っている児童もあり、多様性を意識した設定となっている。	
3. 発達段階への考慮	○文章の記述や分量について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。 ○写真、挿絵、図、表などの資料が発達段階を考慮したものになっている。例えば、単元によっては導入部分で、児童が問題場面をより把握できるような動画が用意されている。また、1年「すたあとぶつく」はA4版中綴じ製本で分冊化され、で、平らに開くようになっており、幼小との連携を意識した数と計算・図形領域の4単元を取り扱っている。 ○児童の発達段階に応じて、具体的な体験を伴う学習活動が行われるよう配慮されている。例えば、2～6年の巻末に、具体的な体験を伴う学習活動を支援するための、切り取って使用する教材が用意されている。また、タブレット上で操作活動ができるようなデジタルコンテンツが用意されている。	

	○第6学年「数学へのとびら」のコラムでは、小学校算数と中学校数学を「見方・考え方」でつなげながら、学習に取り組めるような内容になっている。 ○第5学年（第6学年も）で、学年一冊の合本（上下巻に分けていない）とすることで、学習内容の見通しが持ちやすく、既習事項の振り返りもしやすくなっている。
4. 組織・配列	○年間を通して、各領域を学習できるように配列されている。巻頭のもくじでは、それまでに学習した関連単元も示されている。 ○生活の中にある算数やこれまでに学習してきたことなどについて話し合いながらめあてをつくり、課題解決的に問題に取り組んでいく構成になっている。単元の終わりには「たしかめよう」「ふりかえろう」「やってみよう」などが配置されている。 ○効果的な指導が行われるよう、本文・写真・挿絵・図・表などが適切に配置されている。 ○第6学年の「文字と式」が早い段階で取り扱われており（単元の21つめ）、以降の単元で文字が使えるようになっている。
5. 学び方の工夫	○個別最適な学びや協働的な学びについて、それぞれの学びを一体的に充実させるような課題と学び方が設定されている。例えば、第2学年以上の巻頭「算数のとびら」では、各学年ともに4ページにわたって、児童の学び方が例示されている。また、対話を促し、考えが比較できるよう、多くの場面で2人以上の考え方が提示されている。 ○各単元のはじめを中心に、日常生活や社会の事象を数学化した課題が多く設定されている。また、SDGsについて考えることができる課題も取り扱っている。 ○さまざまな問題発見・解決の方法が示されるとともに、解決過程や既習事項を振り返って総合的・発展的に考える課題が設定されている。例えば、課題をどう解決し、いかしていくかのサイクルが紹介され、問題解決の過程が提示されている。また、ICTを活用した単元がある。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○単元末や巻末に「学びのまとめ」「学年のまとめ」「復習」「もうすぐ〇年生」「学びのサポート」などが設けられ、学習を振り返り、深めることができるよう配慮されている。 ○QRコードから各種コンテンツ等を見ることができる。QRコードの上に説明書きがあり、どんなコンテンツに移動するのが分かりやすい。

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査の報告について

種 目	算数
-----	----

	所 属	職 名	氏 名
調 査 員	代表 田口山小学校	校長	田中 毅 
	津田小学校	教頭	川野 竜弘 
	枚方第二小学校	教諭	西田 暁弘

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
日本文教出版	小学算数	小山 正孝 飯田 慎司 ほか70名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○基礎的・基本的な概念や性質について理解し、日常の事象を数理的に処理する技能が身につくよう、適切な課題が設定されている。 ○数学的な見方・考え方について、各单元ごとに随所に「見方・考え方」が囲みで示され、見通しをもち、筋道を立てて、思考・判断・表現することができる内容となっている。 ○「使ってみよう」や「算数ジャンプ」「なるほど算数」等で、学習したことを生活の中で生かすことができるよう取り扱われている。 ○第1～6学年すべてにおいて「レッツ プログラミング」のコーナーがあり、系統的にプログラミングを学習できるよう工夫されている。	
2. 人権の取扱い	○文章、写真、挿絵、図、資料など、人権尊重の観点から配慮されている。例えば、写真や挿絵で様々な多様性が尊重されるよう配慮されている。 ○ユニバーサルデザインの観点から、フォントや配置、色、図などが工夫され、すべての児童にとって扱いやすいよう配慮されている。 ○登場するキャラクターの性別を明確にしていないことや、色によって男女を区別しないよう配慮されている。	
3. 発達段階への考慮	○文章の記述や分量について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。 ○写真、挿絵、図、表などの資料が発達段階を考慮したものになっている。例えば、单元によっては導入部分で、児童が問題場面をより把握できるような動画が用意されている。また、1年①は中綴じ製本で分冊化され、平らに開くようにされているとともに、就学前の数に関わる活動を絵本形式で振り返りながら、算数の学習内容につながるよう考慮されている。 ○児童の発達段階に応じて、具体的な体験を伴う学習活動が行われるよう配慮されている。例えば、各学年の巻末に、具体的な体験を伴う学習活動を支援するための、切り取って使用する教材が用意されている。また、タブレット上で操作活動ができるようなデジタルコンテンツが用意されている。	

	○第5学年（第6学年も）で、学年一冊の合本（上下巻に分けていない）とすることで、学習内容の見通しが持ちやすく、既習事項の振り返りもしやすくなっている。 ○第6学年の「もうすぐ中学生」では、小学校算数と中学校数学を「見方・考え方」でつなげながら、学習に取り組めるような内容になっている。
4. 組織・配列	○年間を通して、各領域を学習できるように配列されている。巻頭のもくじでは、それまでに学習した関連単元も示されている。 ○生活の中にある算数やこれまでに学習してきたことなどについて話し合いながらめあてをつくり、課題解決的に問題に取り組んでいく構成になっている。単元の終わりには「わかっているかな」「たしかめよう」などが配置されている。 ○効果的な指導が行われるよう、本文・写真・挿絵・図・表などが適切に配置されている。 ○第6学年の「文字と式」が早い段階で取り扱われており（単元の2つめ）、以降の単元で文字が使えるようになっている。
5. 学び方の工夫	○個別最適な学びや協働的な学びについて、それぞれの学びを一体的に充実させるような課題と学び方が設定されている。例えば、「さあ、算数の学習をはじめよう！」には児童の学び方が例示されている。また、対話を促し、考えが比較できるよう、多くの場面で2人以上の考え方が提示されている。 ○各単元のはじめを中心に、日常生活や社会の事象を数学化した課題が多く設定されている。また、SDGsについて考えることができる課題も取り扱っている。 ○さまざまな問題発見・解決の方法が示されるとともに、解決過程や既習事項を振り返って総合的・発展的に考える課題が設定されている。例えば、課題をどう解決し、いかしていくかのサイクルが紹介され、問題解決の過程が提示されている。また、その過程の中で、ICTを活用する様子が示されている。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○単元末や巻末に「わかっているかな」「たしかめよう」「なるほど！算数」「復習」「算数ジャンプ」「学年のまとめ」「算数マイトライ」などが設けられ、学習を振り返り、深めることができるよう配慮されている。特に「算数マイトライ」では、「しっかりチェック」「ぐっとチャレンジ」「もっとジャンプ」の3つに分かれており、個に応じた指導の展開が期待できる。QRコードの上に説明書きがあり、どんなコンテンツに移動するのが分かりやすい。

種 目	理科
-----	----

	所 属	職 名	氏 名
調 査 員	代表 氷室小学校	校長	矢島 義嗣 
	樟葉北小学校	教頭	藤原 義之
	山田小学校	首席	川端 集

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
2 東 書	新編 新しい理科	大島 まり 山崎 直子 ほか119名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○自然の事物・現象についての疑問や気づいたことから問題につなげ、予想を立て、それらを解決するための方法の計画、実験や観察をすることを通して、自然の事物・現象についての理解を深めるとともに、基本的な技能について、身につけられる内容が取りあげられている。 ○観察、実験などを通して問題解決の力が身につくように、教材が適切に取り扱われ、巻頭の「理科の学び方」で過程や進め方を示している。また、各学年で主に育成をめざす問題解決の力を「のぼそう！理科の力」のマーク等で示している。話し合いから単元が始まる内容になっており、協働的な学びを意識したつくりになっている。 ○自然の事物・現象について追究する中で、自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を育むための適切な内容が取りあげられている。	
2. 人権の取扱い	○文章、写真、挿絵、図、資料など教材内容が、人権尊重の観点から配慮されている。 ○すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。 ○自然環境への配慮や防災について適切に取り扱われている。例えば、生命愛護や環境保全に関わる内容等を木のマークで示している。また、複数の学年で災害や防災に関する節を設けている。 ○児童の安全の確保や事故防止について、巻末の「理科室の使い方」で、安全の確保や理科室での活動の配慮事項が示されている。また、本文中に「きけん」マークとともに注意事項が記されている。	
3. 発達段階への考慮	○児童の発達段階に応じた文の量とわかりやすい表現で記述されている。また、重要語句については、太字になっており、単元導入のページや、まとめの部分にはフリガナがついている ○写真、挿絵、図、表などの資料について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。 ○問題→観察（実験）→結果→まとめという問題解決の過程が大きく示されているとともに、「問題をつかもう」「予想しよう」「計画しよう」「考察しよう」「考えよう」	

	が設定されていることで、見通しを持ち、学びの過程を適切にたどりながら問題を解決する能力が育まれるよう工夫されている。
4. 組織・配列	○各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。なお、「思い出そう」では他教科等との関連を図りながら学ぶことができる。 ○年間を通して、各内容を学習できるよう配列されている。巻頭の「○年の理科で学ぶこと」では、領域ごとに単元名と写真が示され、一年間の学習内容が見開きで確認できる。 ○大きな流れとして「問題をつかむ」→「調べる」→「まとめる」を進め方の基本とした単元構成となっている。単元導入では、身近な体験や写真資料が取り扱われており、児童の興味・関心を高め疑問や気づいたことなどを引き出し、問題解決学習が行えるよう工夫されている。また、単元末の「ふりかえろう」「たしかめよう」「デジ問」「つなげる学び」「理科のひろば」などで、学習した内容を振り返ることができる。 ○効果的な指導が行われるよう、本文・写真・挿絵・図・表などが適切に配置されている。問題解決の過程を線でつなぎ、過程の各段階を小見出しやマークで記すことで、学習の流れをわかりやすく示している。
5. 学び方の工夫	○理科の見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されている。また、学ぶ前後で、同じ問いについて考えさせることで、自身の成長を実感できるようになっている。 ○デジタルコンテンツや写真、資料などで一人ひとりに応じた学びを進められるとともに、対話的な学びの参考となる発言例やイラスト等が示され、個別最適な学びと協働的な学びが一体的に充実するよう工夫されている。 ○「問題をつかむ」「調べる」「まとめる」という単元構成の中で、観察・実験を通じた問題解決の活動が展開できるよう工夫されている。なお、理科の見方・考え方については、青枠で囲み、示されている。 ○問題解決学習を通して学んだことを、「こんなところにも！理科の世界たんけん部」等で日常生活や社会につなぐことができるように工夫されている。例えば、「思い出そう」等で取りあげ理科の有用性を実感することができるよう工夫されている。 ○様々な場面で学習を生かしたものづくりが設定されている。例えば、3年の「つくってあそぼう」や全学年の「広げよう！理科の発想」などが設定されており、6年では、電気自動車をつくる活動などが取りあげられている。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○単元末の「ふりかえろう」「たしかめよう」や、巻末の「1年間をふり返ろう」では、学習した内容を振り返ることができる。また、重要語句については、本文上で下線太字にし、巻末の「1年間をふりかえろう」でも取りあげられている。 ○「広げよう！理科の発想」や「こんなところにも！理科の世界たんけん部」等では、学んだことと身近な生活との関わりについて発展的に考えることができる。また、全学年の巻末「理科とプログラミング」でプログラミングが体験できる。なお、デジタルコンテンツからは、学習に役立つ情報を得たり、練習問題を行ったりすることができる。 ○キャリア教育やSTEAM教育、自然災害や防災教育、SDG s 等について掲載している。

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査の報告について

種 目	理科
-----	----

	所 属	職 名	氏 名
調 査 員	代表 氷室小学校	校長	矢島 義嗣
	樟葉北小学校	教頭	藤原 義之
	山田小学校	首席	川端 集

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
4 大日本	新版 たのしい理科	小林 誠 ほか86名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○自然の事物・現象についての疑問や気づいたことから問題につなげ、予想を立て、それらを解決するための方法の計画、実験や観察をすることを通して、自然の事物・現象についての理解を深めるとともに、基本的な技能について、身につけられる内容が取りあげられている。 ○観察、実験などを通して問題解決の力が身につくように、教材が適切に取り扱われ、巻頭の「理科の学び方」で過程や進め方を示している。また、各学年で主に育成をめざす問題解決の力を巻頭の読み物マンガや「〇年では、特にココ！」で示している。 ○自然の事物・現象について追究する中で、問題解決の流れを理解し、力がつくように、巻頭の「理科の学び方」で進み方を明確に示している。	
2. 人権の取扱い	○文章、写真、挿絵、図、資料など教材内容が、人権尊重の観点から配慮されている。 ○すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。 ○自然環境への配慮や防災について適切に取り扱われている。例えば、生命愛護や環境保全に関わる内容等を「環境」マークで示している。また、複数の学年で災害や防災に関する節を設けている。 ○児童の安全の確保や事故防止について、巻末の「わたしたちの理科室」で、安全の確保や理科室での活動の配慮事項が示されている。また、本文中に「注意」マークとともに注意事項が記されている。	
3. 発達段階への考慮	○児童の発達段階に応じた文の量とわかりやすい表現で記述されている。また、重要語句については、太字になっている。 ○写真、挿絵、図、表などの資料について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。 ○「予想」「計画」「考察」の中で、学習過程をわかりやすく示し、自分の考えを他者に伝える場面を取り入れて、協働的に問題解決を進められるよう工夫されている。	

4. 組織・配列	○各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。なお、「○科とのつながり」では他教科等との関連を図りながら学ぶことができる。 ○年間を通して、各内容を学習できるよう配列されている。巻頭の目次では、単元ごとに番号が示され、単元の流れが一覧で確認できる。 ○単元構成について、巻頭で、「見つけよう」「調べよう」「伝えよう」と示している。単元導入では、身近な体験や写真資料が取り扱われており、児童の興味・関心を高め疑問や気づいたことなどを引き出し、問題解決学習が行えるよう工夫されている。また、単元末の「たしかめよう」や「学んだことを生かそう」で、学習した内容を振り返ることができる。 ○効果的な指導が行われるよう、本文・写真・挿絵・図・表などが適切に配置されている。問題解決の過程を色分けし、過程の各段階を小見出しやマークで記すことで、今の学習内容がどの段階にあるかをわかりやすく示している。
5. 学び方の工夫	○理科の見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されている。また、ふりかえりを重視し、自ら学びを振り返ることで理解を深められるようになっている。 ○デジタルコンテンツや写真、資料などで一人ひとりに応じた学びを進められるとともに、対話的な学びの参考となる発言例やイラスト等が示され、個別最適な学びと協働的な学びが一体的に充実するよう工夫されている。 ○「見つけよう」「調べよう」「伝えよう」という単元構成の中で、観察・実験を通した問題解決の活動が展開できるよう工夫されている。なお、理科の見方については、「ココに注目」、理科の考え方については、実験内容として本文に示されている。 ○問題解決学習を通して学んだことを、日常生活や社会につなぐことができるように、マークを用いて工夫されている。例えば、「りかのたまてばこ」や「サイエンスワールド」等で理科の有用性を実感することができるよう工夫されている。 ○様々な場面で学習を生かしたものづくりが設定されている。例えば、3年の「おもちゃショーを開こう」や全学年の「作ってみよう」などが設定されており、6年では、風力発電機をつくる活動などが取りあげられている。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○単元末の「たしかめよう」や「学んだことを生かそう」や巻末の「まとめ」では、学習した内容を振り返ることができる。また、重要語句については、本文上で太字にし、巻末の「○年のまとめ」でも取りあげられており、学習の復習や予習を行うことができる。 ○「学んだことを生かそう」や「サイエンスワールド」等では、学んだことと身近な生活との関わりについて発展的に考えることができる。また、3～5年では、プログラミングを意識した内容を扱い、6年「私たちの生活と電気」でプログラミングが体験できる。なお、デジタルコンテンツからは、学習に役立つ情報を得たり、練習問題を行ったりすることができる。 ○自然災害や防災教育、キャリア教育、SDGs等について掲載している。

種 目	理科		所 属	職 名	氏 名
		調 査 員	代表 氷室小学校	校長	矢島 義嗣
			樟葉北小学校	教頭	藤原 義之
			山田小学校	首席	川端 集

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
11 学 図	みんなと学ぶ 小学校 理科	霜田 光一 森本 信也 ほか51名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○自然の事物・現象についての疑問や気づいたことから問題につなげ、予想を立て、それらを解決するための方法の計画、実験や観察をすることを通して、自然の事物・現象についての理解を深めるとともに、基本的な技能について、身につけられる内容が取りあげられている。 ○観察、実験などを通して問題解決の力が身につくように、教材が適切に取り扱われ、巻頭の「科学の芽を育てよう」で過程や進め方を示している。また、各学年で主に育成をめざす問題解決の力を「理科モンスター」（キャラクター）で示している。 ○自然の事物・現象について追究する中で、自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を育むための適切な内容が取りあげられている。	
2. 人権の取扱い	○文章、写真、挿絵、図、資料など教材内容が、人権尊重の観点から配慮されている。 ○すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。 ○自然環境への配慮や防災について適切に取り扱われている。例えば、自然保護や環境保全に関わる内容等を木のマークで示している。また、複数の学年で災害や防災に関する節を設けている。 ○児童の安全の確保や事故防止について、巻末の「理科室の使い方」で、安全の確保や理科室での活動の配慮事項が示されている。また、本文中に「注意」マークとともに注意事項が記されている。	
3. 発達段階への考慮	○児童の発達段階に応じた文の量とわかりやすい表現で記述されている。また、重要語句については、太字になっている。 ○写真、挿絵、図、表などの資料について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。 ○導入段階で「話し合い」や「問題をみつけよう」等の学習過程を組み込むことで、科学的根拠の育成を図ることにつなげている。	

4. 組織・配列	○各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。なお、巻末の「考えよう調べよう」では他教科等との関連を図りながら学ぶことができる。 ○年間を通して、各内容を学習できるよう配列されている。巻頭の「理科の世界をぼうけんしよう」では、内容ごとに単元が明示され、単元の系統性が一覧で確認できる。 ○単元構成について、巻頭で、「みつけよう」「調べよう」「まとめよう」と示している。単元導入では、身近な体験や写真資料が取り扱われており、児童の興味・関心を高め疑問や気づいたことなどを引き出し、問題解決学習が行えるよう工夫されている。また、単元末の「ふりかえろう」で、学習した内容を振り返ることができる。 ○効果的な指導が行われるよう、本文・写真・挿絵・図・表などが適切に配置されている。問題解決の過程を線でつなぎ、過程の各段階を小見出しやマークで記すことで、学習の流れをわかりやすく示している。
5. 学び方の工夫	○理科の見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されている。 ○デジタルコンテンツや写真、資料などで一人ひとりに応じた学びを進められるとともに、対話的な学びの参考となる発言例やイラスト等が示され、個別最適な学びと協働的な学びが一体的に充実するよう工夫されている。 ○「みつけよう」「調べよう」「まとめよう」という単元構成の中で、観察・実験を通じた問題解決の活動が展開できるよう工夫されている。理科の見方・考え方については、吹き出しや「理科モンスター」（キャラクター）等で示している。 ○問題解決学習を通して学んだことを、日常生活や社会につなぐことができるよう工夫されている。例えば「もっとしりたい」等で理科の有用性を実感することができるよう工夫されている。 ○様々な場面で学習を生かしたものづくりが設定されている。例えば、全学年の「やってみよう」などが設定されており、6年では、風力発電機をつくる活動などが取りあげられている。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○単元末の「ふりかえろう」「できるようになった」や巻末の「理科の世界をふりかえろう」では、学習した内容を振り返ることができる。また、重要語句については、本文上で太字にし、巻末の「大事な言葉」でも取りあげられている。 ○「活用」の問題や「もっと知りたい」等では、学んだことと身近な生活との関わりについて発展的に考えることができる。また、6年「電気と私たちの生活」でプログラミングが体験できる。なお、デジタルコンテンツからは、学習に役立つ情報を得たり、練習問題を行ったりすることができる。 ○自然災害や防災教育、キャリア教育、SDG s 等について掲載している。

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査の報告について

種 目	理科
-----	----

	所 属	職 名	氏 名
調 査 員	代表 氷室小学校	校長	矢島 義嗣 
	樟葉北小学校	教頭	藤原 義之
	山田小学校	首席	川端 集

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
17 教 出	未来をひらく 小学理科	養老 孟司 角屋 重樹 ほか56名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○自然の事物・現象についての疑問や気づいたことから問題につなげ、予想を立て、それらを解決するための方法の計画、実験や観察をすることを通して、自然の事物・現象についての理解を深めるとともに、基本的な技能について、身につけられる内容が取りあげられている。 ○観察、実験などを通して問題解決の力が身につくように、教材が適切に取り扱われ、巻頭の「学習の進め方」で過程や進め方を示している。また、各学年で主に育成をめざす問題解決の力を「〇年のチカラ」等のマークで示している。 ○自然の事物・現象について追究する中で、自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を育むための適切な内容が取りあげられている。	
2. 人権の取扱い	○文章、写真、挿絵、図、資料など教材内容が、社会の多様性をふまえ人権尊重の観点から配慮されている。 ○すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。 ○自然環境への配慮や防災について適切に取り扱われている。例えば、生命愛護や環境保全に関わる内容等を自然や生物等のマークで示している。また、複数の学年で災害や防災に関する節を設けている。 ○児童の安全の確保や事故防止について、裏表紙の「理科の安全の手引き」、巻末の「理科室の使い方」で、安全の確保や理科室での活動の配慮事項が示されている。また、本文中に「注意」「危険」マークとともに注意事項が記されている。	
3. 発達段階への考慮	○児童の発達段階に応じた文の量とわかりやすい表現で記述されている。重要語句については、太字と黄色マーカーで表されている。 ○写真、挿絵、図、表などの資料について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。 ○「問題」「実験・観察」「結論」を大きく示し強調することで、問題解決の学習過程をわかりやすく示すとともに、「見つけよう」「予想しよう・計画しよう」「結果から考えよう」を示すことで、見通しや思考のポイントが適切に捉えられるよう工夫さ	

	れている。
4. 組織・配列	○各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。なお、「算数とのつながり」などでは他教科等との関連を図りながら学ぶことができる。 ○年間を通して、各内容を学習できるよう配列されている。巻頭の目次「〇年で学ぶこと」では、内容に応じて単元番号が色分けされ、単元の系統性が一覧で確認できる。 ○単元構成について、巻頭で「問題をみつける」「考えをつくる」「考えをたしかめる」「わかったことを表す」と示している。単元導入では、身近な体験や写真資料が取り扱われており、児童の興味・関心を高め疑問や気づいたことなどを引き出し、問題解決学習が行えるよう工夫されている。また、単元末の「ふり返ろう」と「たしかめよう」で、学習した内容を振り返ることができる。 ○効果的な指導が行われるよう、本文・写真・挿絵・図・表などが適切に配置されている。問題解決の過程を線でつなぎ、過程の各段階を小見出しやマークで記すことで、学習の流れをわかりやすく示している。
5. 学び方の工夫	○理科の見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されている。 ○デジタルコンテンツや写真、資料などで一人ひとりに応じた学びを進められるとともに、対話的な学びの参考となる発言例やイラスト等が示され、個別最適な学びと協働的な学びが一体的に充実するよう工夫されている。 ○「問題をみつける」「自分の考えをつくる」「自分の考えをたしかめる」「わかったことを表す」という単元構成の中で、観察・実験を通した問題解決の活動が展開できるよう工夫されている。理科の見方・考え方については、「見方のカギ」「考え方のカギ」等で示されている。 ○問題解決学習を通して学んだことを、日常生活や社会につなぐことができるよう工夫されている。例えば「科学のまど」や「広がる科学の世界」等で理科の有用性を実感することができるよう工夫されている。 ○様々な場面で学習を生かしたものづくりが設定されている。例えば、3年の「作って遊ぼう」や全学年の「チャレンジ」などが設定されており、6年では、夜になると光るライトをつくる活動などが取りあげられている。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○単元末の「ふり返ろう」「確かめよう」や、巻末の「〇年で学んだこと」では、学習した内容を振り返ることができる。また、重要語句については、本文上で太字にし、黄色の網掛けがされており、巻末さくいの「大事な言葉」でも取りあげられている。 ○「学びを広げよう」や「科学のまど」「チャレンジ」等では、学んだことと身近な生活との関わりについて発展的に考えることができる。また、6年「電気の利用」で、プログラミングが体験できる。なお、デジタルコンテンツからは、学習に役立つ情報等を得ることができる。 ○自然災害や防災教育（PTSDへの配慮）、キャリア教育、SDG s 等について掲載している。

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査の報告について

種 目	理科
-----	----

	所 属	職 名	氏 名
調 査 員	代表 氷室小学校	校長	矢島 義嗣 
	樟葉北小学校	教頭	藤原 義之
	山田小学校	首席	川端 集

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
61 啓林館	わくわく理科	石浦 章一 鎌田 正裕 土井 徹 大隅 良典 ほか160名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○単元導入時に「問題をつかもう」を記載し、自然の事物・現象についての疑問や気づいたことから問題につなげ、予想を立て、それらを解決するための方法の計画、実験や観察をすることを通して、自然の事物・現象についての理解を深めるとともに、基本的な技能について、身につけられる内容が取りあげられている。 ○観察、実験などを通して問題解決の力が身につくように、教材が適切に取り扱われ、巻頭の「理科の楽しみ方」で過程や進め方を示している。また、各学年で主に育成をめざす問題解決の力を「見方・考え方マーカー」により示している。 ○自然の事物・現象について追究する中で、自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を育むための適切な内容が取りあげられている。	
2. 人権の取扱い	○文章、写真、挿絵、図、資料など教材内容が、人権尊重の観点から配慮されている。 ○すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。 ○自然環境への配慮や防災について適切に取り扱われている。例えば、生命愛護や環境保全に関わる内容等を「自然を大切にマーク」で示している。また、複数の学年で災害や防災に関する節を設けている。 ○児童の安全の確保や事故防止について、4年生以上の「みんなで使う理科室」で、安全の確保や理科室での活動の配慮事項が示されている。また、本文中に「注意」マーク、「やけど」マーク、「保護眼鏡」マークなどとともに注意事項が記されている。	
3. 発達段階への考慮	○児童の発達段階に応じた文の量とわかりやすい表現で記述されている。また、重要語句については太字になっている。 ○写真、挿絵、図、表などの資料について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。 ○5，6年生では、単元の初めに「初めに考えよう」という単元全体の発問をし、学習過程をわかりやすく示し、単元終わりにも同じ問いかけをすることで、再考を促している。	

4. 組織・配列	○各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。なお、「他教科マーク」などでは、他教科等との関連を図りながら学ぶことができる。巻末資料「理科につながる算数のまど」では算数科との学習のつながりが掲載されている。 ○年間を通して、各内容を学習できるよう配列されている。巻頭の目次では、内容に応じて単元番号が色分けされ、単元の系統性が一覧で確認できる。 ○単元構成について、巻頭で、「見つける」「調べる」「まとめる」と示している。単元導入では、身近な体験や写真資料が取り扱われており、児童の興味・関心を高め疑問や気づいたことなどを引き出し、問題解決のステップを「学びのライン」でつなぐことで問題解決学習が行えるよう工夫されている。また、単元末の「まとめノート」や「たしかめよう」「活用しよう」で、学習した内容を振り返ることができる。 ○効果的な指導が行われるよう、本文・写真・挿絵・図・表などが適切に配置されている。問題解決の過程を線でつなぎ、過程の各段階を小見出しやマークで記すことで、学習の流れをわかりやすく示している。
5. 学び方の工夫	○理科の見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されている。また、各単元冒頭ページに「思い出そう」のコーナーがあり、学習をつなげて考えたり、振り返りやすく構成されている。 ○デジタルコンテンツや写真、資料などで一人ひとりに応じた学びを進められるとともに、対話的な学びの参考となる発言例やイラスト等が示され、個別最適な学びと協働的な学びが一体的に充実するよう工夫されている。 ○「見つける」「調べる」「まとめる」の単元構成の中で、観察・実験を通した問題解決の活動が展開できるよう工夫されている。理科の見方・考え方については、マーカ―やキャラクター等で示されている。 ○問題解決学習を通して学んだことを、日常生活や社会につなぐことができるよう工夫されている。例えば「理科の広場」や「くらしとリンク」等で理科の有用性を実感することができるよう工夫されている。 ○様々な場面で学習を生かしたものづくりが設定されている。例えば、3年の「おもちゃランド」、4・5・6年の巻末には「ものづくり広場」などが設定されており、6年ではさおばかりをつくる活動などが取りあげられている。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○単元末の「まとめノート」や「たしかめよう」などで、学習した内容を振り返ることができ、巻末の「WacBTワクビット」では、ICT機器を通じて、学習した内容を振り返ることができ、巻末「オッターの資料室」には「理科の見方・考え方」等のコーナーがあり、主体的・対話的で深い学びにつながる設定になっている。また、重要語句については、本文上で太字にし、単元末の「まとめノート」でも取りあげられている。 ○「活用しよう」では、学んだことと身近な生活との関わりについて発展的に考えることができる。また、全学年の「やってみよう！プログラミング」でプログラミングが体験できる。なお、デジタルコンテンツからは、学習に役立つ情報を得たり、練習問題を行ったりすることができる。 ○キャリア教育やSTEAM教育、自然災害や防災教育(PTSDへの配慮)、SDG s 等について掲載している。

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査の報告について

種 目	生活
-----	----

	所 属	職 名	氏 名
調 査 員	代表 香里小学校	校長	千原 正敏
	長尾小学校	教頭	野中 貴也
	樟葉北小学校	教諭	石丸 貴啓

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
東京書籍	新編 新しい生活	田村 学 奈須 正裕 吉田 豊香 ほか113名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○自分自身、身近な人、社会及び自然についての理解や生活上必要な技能について適切な内容が取りあげられている。例えば、「やくそく」や「かつどうべんりてちょう」を手がかりにして、学習活動に即した習慣や技能などを身につけられるよう配慮されている。 ○自分自身や自分の生活について考え、表現することについて適切な内容が取りあげられている。例えば、「かつどうべんりてちょう」を手がかりにして、学習の過程で児童が考え、表現する内容が取り扱われている。 ○身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度について適切な内容が取りあげられている。	
2. 人権の取扱い	○人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。また、幼児や高齢者、障がいのある人、外国の人など、多様な人々と関わる活動場面が取り扱われている。 ○すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。また、外国にルーツを持つ児童への配慮として上下巻とも全ての漢字にふりがなが付されている。	
3. 発達段階への考慮	○文字の分量は適切で、文節で分かち書きされており、低学年の児童にも読みやすいよう配慮されている。また、表現方法も豊かで児童の興味・関心を引くよう工夫するなど配慮されている。 ○活動意欲を引き出し、活動内容や活動の流れを分かりやすくなるよう、写真、挿絵、図、表などが効果的に活用されている。また、小单元名、本文、手洗いマーク、やくそくなどが、同じ位置に配置されるなど、レイアウトが工夫され、児童の発達段階に考慮されている。	
4. 組織・配列	○各单元は、課題を設定し、活動を行い、振り返るという流れになっている。また、スタートカリキュラムについては、「どきどきわくわく1ねんせい」に、各教科等を意識した入学当初の活動が、イラストや写真で示されている。なお、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」の記載と、その内容に相応する主な例としての挿絵もある。	

	○大きな写真やイラスト、子どもたちの活動のヒントになる吹き出しなど、活動がイメージしやすくなるように構成されている。 ○2年生で扱う下巻には「つながる」が加わり、他教科との関連を示して教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう工夫されている。
5. 学び方の工夫	○児童一人ひとりの興味・関心に合わせて活用できるよう「ほんとうのおおきさいきものずかん」が掲載されている。また、活動や体験を通して得た気づきを友だちどうしで伝え合う場面などが、写真や挿絵で具体的に示されており、協働的な学びが充実するよう工夫されている。 ○自然の不思議さや面白さを実感する学習活動が取りあげられている。例えば、植物にかかわる単元では、主に7種類の花を扱い、あさがおの観察カードの記載例が大きく載っている。また、ページをめくるとにそれぞれの植物の成長過程が追える「パノラマページ」を採用したり、観察の仕方を示したりするなど工夫されている。 ○身近な人々や社会と関わる活動が取りあげられている。例えば、町探検にかかわる単元では、春に「どきどきわくわくまちたんけん」、秋に「もっとなかよしまちたんけん」が設定され、春から変わった店の様子に気付けるよう工夫されている。 ○紙面下側には、主にイラストで登場人物の吹き出しを使って、学習活動や思考の流れに沿って具体的な例示することにより、学びのプロセスが示されている。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ったり、他の学習や生活に生かしたりすることができるよう配慮されている。 ○学習や生活を振り返り、生活上必要な習慣や技能の習得を確かなものにするため、「○○をつたえよう」や「○○をつたえあおう」などが設けられ、各単元とも言語活動を意識した構成となっている。なお、二次元コードがあるところでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。

種 目	生活
-----	----

	所 属	職 名	氏 名
調 査 員	代表 香里小学校	校長	千原 正敏
	長尾小学校	教頭	野中 貴也
	樟葉北小学校	教諭	石丸 貴啓

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
大日本図書	新版 たのしいせいかつ	野田 敦敬 ほか45名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○自分自身、身近な人、社会及び自然についての理解や生活上必要な技能について、適切な内容が取りあげられている。例えば、「がくしゅうどうぐばこ」を手がかりにして、これを活用しながら、技能などを身につけられるよう配慮されている。 ○自分自身や自分の生活について考え、表現することについて適切な内容が取りあげられている。例えば、「がくしゅうどうぐばこ」を手がかりにして、学習の過程で児童が考え、表現する内容が取り扱われている。 ○身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度について、適切な内容が取りあげられている。	
2. 人権の取扱い	○人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。幼児や高齢者、障がいのある人、外国の人など、多様な人々と関わる活動場面が取り扱われている。 ○すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。	
3. 発達段階への考慮	○文字の分量は適切で、文節で分かち書きされており、低学年の児童にも読みやすいよう配慮されている。また、表現方法も豊かで児童の興味・関心を引くよう工夫するなど配慮されている。また、カタカナは1年生の2学期終了時期を想定したページまではひらがなのルビがふられている。 ○活動意欲を引き出し、活動内容や活動の流れを分かりやすくなるよう、写真、挿絵、図、表などが効果的に活用されており、児童の発達段階に考慮されている。	
4. 組織・配列	○各単元は、課題を設定し、活動を行い、振り返るという流れになっている。また、スタートカリキュラムについては、「たのしいよ 1ねんせい」に、各教科等を意識した入学当初の活動が、イラストや写真で示されている。 ○大きな写真やイラスト、子どもたちの活動のヒントになる吹き出しなど、活動がイメージしやすくなるように構成されている。 ○季節に沿った大単元構成で、スムーズな学習展開になるよう工夫されている。	

	○生活科の活動や体験と他教科との関連が深い箇所には、関連がわかるマークがあり、工夫が見られる。
5. 学び方の工夫	○児童一人ひとりの興味・関心に合わせて活用できるよう「がくしゅうどうぐばこ」が掲載されている。また、活動や体験を通して得た気づきを友だちどうして伝え合う場面などが、写真や挿絵で示されており、協働的な学びが充実するよう工夫されている。 ○自然の不思議さや面白さを実感する学習活動が取りあげられている。例えば、植物にかかわる単元では、主に7種類の花や野菜を扱い、あさがおの観察カードの記載例が載っている。また、ページをめくるとにそれぞれの植物の成長過程が追えたり、花や実から色水を作る活動を紹介したりするなど工夫されている。 ○身近な人々や社会と関わる活動が取りあげられている。例えば、町探検にかかわる単元では、「春はっけん」の単元で春の町をさんぽして気づいたことをもとに、「わたしの町はっけん」の単元が設定されるなど工夫されている。 ○イラストや写真、登場人物の吹き出しを使って、多様な学習活動が行われるように工夫されている。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ったり、他の学習や生活に生かしたりすることができるよう配慮されている。 ○学習や生活を振り返り、生活上必要な習慣や技能の習得を確かなものにするため、上巻に「きもちマーク」が設けられている。なお、二次元コードがあるところでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査の報告について

種 目	生活
-----	----

	所 属	職 名	氏 名
調 査 員	代表 香里小学校	校長	千原 正敏
	長尾小学校	教頭	野中 貴也
	樟葉北小学校	教諭	石丸 貴啓

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
学校図書	みんなとまなぶ しょうがっこうせいかつ	片上 宗二 山口 令司 ほか19名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○自分自身、身近な人、社会及び自然についての理解や生活上必要な技能について適切な内容が取りあげられている。例えば、「学び方図かん」を手がかりにして、技能などを身につけられるよう配慮されている。 ○自分自身や自分の生活について考え、表現することについて適切な内容が取りあげられている。例えば、「学び方図かん」を手がかりにして、学習の過程で児童が考え、表現する内容が取り扱われている。 ○身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度について適切な内容が取りあげられている。	
2. 人権の取扱い	○人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。また、幼児や高齢者、障がいのある人、外国の人など、多様な人々と関わる活動場面が取り扱われている。 ○すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。	
3. 発達段階への考慮	○文字の分量は適切で、文節で分かち書きされており、低学年の児童にも読みやすいよう配慮されている。また、表現方法も豊かで児童の興味・関心を引くよう工夫するなど配慮されている。 ○活動意欲を引き出し、活動内容や活動の流れを分かりやすくなるよう、写真、挿絵、図、表などが効果的に活用されており、児童の発達段階に考慮されている。	
4. 組織・配列	○各単元は、課題を設定し、活動を行い、振り返るという流れになっている。また、スタートカリキュラムについては、「はじまるよ しょうがっこう」に、各教科等を意識した入学当初の活動や小学校が安心できる場所であることが分かるように困った時にどうするかを含めてイラストや写真で分かりやすく示されている。 ○大きな写真やイラスト、子どもたちの活動のヒントになる吹き出しなど、活動がイメージしやすくなるように構成されている。また、ページ見開きがひとつの活動単位となっており、学びのつながりが分かりやすく、見開き右下には次の活動へ繋げていく場面も示されており、構成上の工夫が見られる。	

5. 学び方の工夫	○児童一人ひとりの興味・関心に合わせて活用できるよう「ものしりのうと」や「ものしりずかん」が掲載されている。また、活動や体験を通して得た気づきを友だちどうしで伝え合う場面などが、写真や挿絵で示されており、協働的な学びが充実するよう工夫されている。 ○自然の不思議さや面白さを実感する学習活動が取りあげられている。例えば、植物にかかわる単元では、主に4種類の花を扱い、あさがおの観察カードの記載例が載っている。また、ページをめくるごとにそれぞれの植物の成長過程が追えたり、花から色水を作る活動を紹介したりするなど工夫されている。 ○身近な人々や社会と関わる活動が取りあげられている。例えば、町探検にかかわる単元では、「まちたんけん」と「あの人に会いたいな」の2回設定され、2回日は人との関わりにクローズアップするなど工夫されている。 ○イラストや写真、登場人物の吹き出しを使って、多様な学習活動が行われるよう工夫されている。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ったり、他の学習や生活に生かしたりすることができるよう配慮されている。 ○学習や生活を振り返り、生活上必要な習慣や技能の習得を確かなものにするため「思い出してみよう」「ふりかえろう」が設けられている。なお、二次元コードがあるところでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。

令和6年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査の報告について

種 目	生活
-----	----

	所 属	職 名	氏 名
調 査 員	代表 香里小学校	校長	千原 正敏
	長尾小学校	教頭	野中 貴也
	樟葉北小学校	教諭	石丸 貴啓

令和6年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
教育出版	せいかつ	養老 孟司 藤井 千恵子 ほか34名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○自分自身、身近な人、社会及び自然についての理解や生活上必要な技能について適切な内容が取りあげられている。例えば、「学びのポケット」を手がかりにして、技能などを身につけられるよう配慮されている。 ○自分自身や自分の生活について考え、表現することについて適切な内容が取りあげられている。例えば、「学びのポケット」を手がかりにして、学習の過程で児童が考え、表現する内容が取り扱われている。 ○身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度について適切な内容が取りあげられている。	
2. 人権の取扱い	○人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。また、幼児や高齢者、障がいのある人、外国の人など、多様な人々と関わる活動場面が取り扱われている。 ○すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。	
3. 発達段階への考慮	○文字の分量は適切で、文節で分かち書きされており、低学年の児童にも読みやすいよう配慮されている。また、表現方法も豊かで児童の興味・関心を引くよう工夫するなど配慮されている。 ○活動意欲を引き出し、活動内容や活動の流れを分かりやすくなるよう、写真、挿絵、図、表などが効果的に活用されており、児童の発達段階に考慮されている。 ○幼児期から親しんでいる「絵本のキャラクター」を各ページに登場させることで、生活科のイメージを膨らませる工夫が見られる。	
4. 組織・配列	○各単元は、課題を設定し、活動を行い、振り返るという流れになっている。また、スタートカリキュラムについては、「はじめの いっぱい」に、各教科等を意識した入学当初の活動が、イラストや写真で示されている。また、ページ下段には、就学前施設で経験してきたことが小学校の活動に繋がっていることがイラストでわかりやすく示されている。なお、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」の記載がある。 ○大きな写真やイラスト、子どもたちの活動のヒントになる吹き出しなど、活動がイメ	

	ージしやすくなるように構成されている。 ○学習活動のページには「はっけんロード」が記され、指でなぞったり、目で追ったりしながら、学習を捉える工夫が見られる。 ○下巻には、「はってん」が付され、各教科へのつながりが意識できる工夫が見られる。
5. 学び方の工夫	○児童が「やってみたい」と学習のイメージをもてるよう、各単元の冒頭に「わくわくすいっち」が掲載されている。また、活動や体験を通して得た気づきを友だちどうしで伝え合う場面などが、写真や挿絵で示されており、協働的な学びが充実するよう工夫されている。 ○自然の不思議さや面白さを実感する学習活動が取りあげられている。例えば、植物にかかわる単元では、主に7種類の花を扱い、あさがおの観察カードの記載例が載っている。また、ページをめくるとにそれぞれの植物の成長過程が追えたり、色水作り・押し花作りを紹介したりするなど工夫されている。 ○身近な人々や社会と関わる活動が取りあげられている。例えば、町探検にかかわる単元では、発展的な活動として、「まちの人にも伝えよう」「ありがとうをつたえよう」など、工夫されている。 ○イラストや写真、登場人物の吹き出しを使って、多様な学習活動が行われるよう工夫されている。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ったり、他の学習や生活に生かしたりすることができるよう配慮されている。 ○学習や生活を振り返り、生活上必要な習慣や技能の習得を確かなものにするため「なにをかんじたかな」や「ぐんぐんはしご」、「つたえたいな」が設けられている。なお、二次元コードがあるところでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査の報告について

種 目	生活
-----	----

	所 属	職 名	氏 名
調 査 員	代表 香里小学校	校長	千原 正敏
	長尾小学校	教頭	野中 貴也
	樟葉北小学校	教諭	石丸 貴啓

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
光村図書	せいかつ たんけんたい	嶋野 道弘 ほか・29名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○自分自身、身近な人、社会及び自然についての理解や生活上必要な技能について適切な内容が取りあげられている。例えば、切り離して使用できる別冊「ひろがる せいかつじてん」を手がかりにして、児童が必要に応じて持ち歩いたり、自発的に確認したりしやすい体裁となっており、技能などを身につけられるよう配慮されている。 ○自分自身や自分の生活について考え、表現することについて適切な内容が取りあげられている。例えば、「ヒント」や別冊「ひろがる せいかつじてん」を手がかりにして、学習の過程で児童が考え、表現する内容が取り扱われている。 ○身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度について適切な内容が取りあげられている。	
2. 人権の取扱い	○人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。また、幼児や高齢者、障がいのある人、外国の人など、多様な人々と関わる活動場面が取り扱われている。 ○すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。	
3. 発達段階への考慮	○文字の分量は適切で、文節で分かち書きされており、低学年の児童にも読みやすいよう配慮されている。また、表現方法も豊かで児童の興味・関心を引くよう工夫するなど配慮されている。 ○活動意欲を引き出し、活動内容や活動の流れを分かりやすくなるよう、写真、挿絵、図、表などが効果的に活用されており、児童の発達段階に考慮されている。また、ページ左上の問いかけ、六角形で示されたヒント、右下の振り返りなどの配置がパターン化されていて、すべての児童にとって理解しやすいよう配慮されている。 ○子どもの興味をひきだすヨシタケシンスケ氏のイラストを使用している。	
4. 組織・配列	○各単元は、課題を設定し、意欲と見通しを持ち、活動を行い、学びを深め、振り返る・つなげるという流れが見開き完結の構成になっている。また、スタートカリキュラムについては、「いちねんせいが はじまるよ」に、各教科等を意識した入学当初の活動が、イラストや写真で示されている。	

	○大きな写真やイラスト、子どもたちの活動のヒントになる吹き出しなど、活動がイメージしやすくなるように構成されている。 ○下巻巻末には、3年生の学習の一部を見開き一面で掲載し、3年生の各教科へのつながりのイメージを持てるよう工夫されている。
5. 学び方の工夫	○児童一人ひとりの興味・関心、学びや授業の進み方に合わせて活用できるよう「ひろがる せいかつじてん」が掲載されている。また、活動や体験を通して得た気づきを友だちどうしで伝え合う場面などが、写真や挿絵で示されており、協働的な学びが充実するよう工夫されている。 ○自然の不思議さや面白さを実感する学習活動が取りあげられている。例えば、植物にかかわる単元では、あさがおの花を扱い、種の植え方を挿絵で丁寧に示したり、観察カードの記載例が載せたりしている。また、ページをめくるとあさがおの成長過程が追えたり、世話や観察の仕方を考えさせたりするなど工夫されている。 ○身近な人々や社会と関わる活動が取りあげられている。例えば、町探検にかかわる単元では、町探検が春と秋に設定され、秋の探検では、春の探検のときから変わった町や人々の様子に気付けるよう工夫されている。 ○イラストや写真、登場人物の吹き出しを使って、多様な学習活動が行われるよう工夫されている。特に、全ての小単元に「学び方のヒント」が設定され、主体的、対話的で深い学びにつながる手がかりを示すなどの工夫が見られる。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ったり、他の学習や生活に生かしたりすることができるよう配慮されている。 ○学習や生活を振り返り、生活上必要な習慣や技能の習得を確かなものにするため、全ての小単元に「ふりかえろう」が設けられていて、感情と思考・態度の面から振り返ることで次の学びに繋げられるよう工夫されている。なお、二次元コードがあるところでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査の報告について

種 目	生活
-----	----

	所 属	職 名	氏 名
調 査 員	代表 香里小学校	校長	千原 正敏
	長尾小学校	教頭	野中 貴也
	樟葉北小学校	教諭	石丸 貴啓

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
啓林館	せいかつ	中野 真志 田中 博之 ほか87名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○自分自身、身近な人、社会及び自然についての理解や生活上必要な技能について、適切な内容が取りあげられている。例えば、「がくしゅうずかん」を手がかりにして、児童自身が具体的 な活動や体験を通して、技能などを身につけられるよう配慮されている。 ○自分自身や自分の生活について考え、表現することについて適切な内容が取りあげられている。例えば、「がくしゅうずかん」を手がかりにして、学習の過程で児童が主体的に考え、表現する内容が取り扱われている。 ○身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度について適切な内容が取りあげられている。	
2. 人権の取扱い	○人権尊重の観点から、写真文章、図、資料などが適切に取り扱われている。また、幼児や高齢者、障がいのある人、外国の人など、多様な人々と関わる活動場面が取り扱われている。 ○すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など、配慮されている。 ○自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを考えたりするためのソーシャルスキルトレーニングに関連する資料も掲載されている。	
3. 発達段階への考慮	○文字の分量は適切で、文節で分かち書きされており、低学年の児童にも読みやすいよう配慮されている。また、表現方法も豊かで児童の興味・関心を引くよう工夫するなど配慮されている。 ○活動意欲を引き出し、活動内容や活動の流れを分かりやすくなるよう、写真、挿絵、図、表などが効果的に活用されており、児童の発達段階に考慮されている。 ○下巻巻末の3年生へのステップブックは観音開きの仕様となっており、幼児期から3年生以降への学びの連続性が見てわかる工夫がされている。また、保護者にもこのステップブックを一緒に見ていただくようメッセージも添えられている。	

4. 組織・配列	○「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」という3段階での単元構成となっている。また、スタートカリキュラムについては、「すたあとぶっく『がっこうだいすき いちねんせい』」に、各教科等を意識した入学当初の活動が、イラストや写真で示されている。なお、この「すたあとぶっく」は絵本のような小寸サイズで角を丸く裁断するなどの工夫が見られ、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」の記載がある。 ○大きな写真やイラスト、子どもたちの活動のヒントになる吹き出しなど、活動がイメージしやすくなるように構成されている。 ○随所に「合科的・関連的マーク」があり、児童にとっては、3年生以降の教科へのつながりを意識するきっかけとなり、また、教師にとっては生活科と他教科等との連携を図ることで、指導の効果が高まる工夫がされている。
5. 学び方の工夫	○児童一人ひとりの興味・関心に合わせて活用できるよう「びっくりずかん」が掲載されている。また、活動や体験を通して得た気づきを友だちどうして伝え合う場面などが、写真や挿絵で具体的な場面として示されており、協働的な学びが充実するよう工夫されている。 ○自然の不思議さや面白さを実感する学習活動が取りあげられている。例えば、植物にかかわる単元では、主に6種類の花を扱い、あさがおの観察カードの記載例が載っている。また、ページをめくるごとにそれぞれの植物の成長過程が追えたり、観察の仕方を示したりするなど工夫されている。 ○身近な人々や社会と関わる活動が取りあげられている。例えば、町探検にかかわる単元では、町探検が春と秋に複数回設定され、春の町探検では、パン屋のにおいや信号の音などを例示し、感覚を働かせて探検ができるよう工夫されている。 ○イラストや写真、登場人物の吹き出しを使って、多様な学習活動が行われるよう工夫されている。 ○「めくり言葉」で「次の活動にむけての思いや願い」を示しており、児童の活動の連続性や広がりをサポートし、スパイラルに深い学びが実現できるように工夫されている。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ったり、他の学習や生活に生かしたりすることができるよう配慮されている。 ○学習や生活を振り返り、生活上必要な習慣や技能の習得を確かなものにするため「できるかな できたかな？」が設けられており、振り返りの視点を資質・能力の3つの柱で整理されている。なお、二次元コードがあるところでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。

種 目	音楽
-----	----

	所 属	職 名	氏 名
調 査 員	代表 伊加賀小学校	校長	高嶋 珠希 
	樟葉西小学校	教頭	岡 章子
	殿山第二小学校	教諭	森 和沙

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
17 教 出	小学音楽 音楽のおくりもの	新実 徳英 ほか 27 名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○各学年の目標及び指導すべき内容をふまえた題材と教材が精選されており、曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解しやすい教材や、音楽表現をするために必要な各技能が無理なく身につくような教材が、指導のねらいに即し、適切に扱われている。 ○表現領域において、総ページ数の内70%に当たり多彩な曲数を掲載しており、音楽づくりについて取り上げている個所も多く、手拍子や足拍子などの身体表現や友達と意見を交換したりするような学習等を取り入れながら、音楽を表現したり味わって聴いたりできるような内容になっている。 ○音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育み、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培うよう適切な内容が取りあげられている。わらべうたや各地のお祭りの音楽やお囃子、民謡等の我が国の音楽が全学年にわたって豊富に取りあげられている。また、諸外国の音楽については、祭りなどの行事と関連づけて取りあげられており、それぞれの音楽の持つ良さや面白さが感じ取れる内容になっている。 ○各学年の巻頭にある「学習マップ」では、イラストと写真によって、単元で取り扱われる内容について視覚的にわかりやすくまとめられている。また、3年生以上では「学習の進め方」を記載し、見通しをもって学習に取り組めるような内容になっている。	
2. 人権の取扱い	○選曲、歌詞、文章、写真、挿絵、図、資料などにおいて、人権を尊重する観点から適切であり、児童が互いを尊重し、多様性を意識できるような配慮がなされている。SDGsの視点、国際理解、環境など、人権教育の視点に立ち、配慮された紙面になっている ○すべての児童にとって分かりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや写真、イラスト、図、配色など配慮されている。教材曲すべての作詞や作曲者名にふりがなが振られており、判読しやすい配色やレイアウト、見やすく読みやすい文字（ユニバーサルデザインフォント）など、細部にわたり配慮がなされている。	
3. 発達段階への考慮	各学年とも児童の発達段階を考慮した内容になっている。 ○表現の活動においては、「歌唱」「器楽」「音楽づくり」とともに段階を追って学習を進められるよう考慮されており、特に低学年では身体表現を取り入れながら音楽に親しめるような内容になっている。また、歌唱に関しては、輪唱やパートナーソングなどを豊富に取り入れ、合唱の導入的な学習に配慮されている。また、学習のポイン	

	トが意識できる記述があるなど考慮されている。 ○鑑賞の活動においては、身体性を取り入れた学習活動により、児童の音楽を聴きとる力の育成や、主体的な鑑賞学習に配慮されている。また、二次元コードから動画を見ることができ、それぞれの楽器の音色を味わったり、曲全体の旋律について確認したりできるようになっている。 ○〔共通事項〕に関連する「音楽を形づくっている要素」が「音楽のもと」として、各教材見開きの右ページ上部に示されており、さらに、児童一人一人が音楽的な見方・考え方を働かせながら創意工夫していけるような学習活動が配置されている。また、各教科書の最後には、「『音楽のもと』まとめ」として一年間で学習した内容が概観できるよう考慮されている。
4. 組織・配列	○各題材内の教材は教材性を生かして〔関連〕・〔対照〕・〔対比〕されながら設定されており、「表現活動」と「鑑賞活動」を効果的に組み合わせることで学習がより深まるよう組織されている。また、基礎基本を確実に身に付ける〔主要部分〕と、選択できる〔オプション部分〕の教材とを組み合わせることにより、無理なく学習を進められるように配列されている。 ○他教科（国語・算数・英語等）に関連する歌や曲等が掲載されており、教科横断的扱いや短時間学習の教材としても扱える＜Short Time Learning＞のコーナーが巻末曲集部分には設けられ、既習曲の英語歌詞や英語の歌が取り扱われていたり、SDGsとの関連が示されたりしている。 ○全学年の全ての題材が見開きの左に示されており、教材ごとにめあてが示されている。また、「音楽のもと」や音符や休符、記号などを紹介する箇所が統一されていたり、共通したマークを用いたりすることで学習に見通しを持ちやすいような構成となっている。
5. 学び方の工夫	○「まなびリンク」のマークが示されており、学習に対応した動画等の資料がWEB上に豊富に用意されており、児童個別の興味・関心に即して主体的に学べるように配慮されている。また、「学び合い」についての示唆が随所に示され、協働的な学びを引き出すよう配慮されている。 ○「鑑賞」「音のスケッチ」「共通教材」などのマークを配置することで、どのような学習が行われるかが明示されている。また、各ページの見開きに掲載している「まなびナビ」では指導上の留意点が示されており、特に児童に思考させたい内容について丁寧に記載されており、音楽的な見方・考え方を働かせ学習活動を進めることができるように工夫されている。特に、中・高学年では、楽譜を見て思考・判断することや、思いや意図を生かして表現するように工夫されている。 ○曲の魅力について気付きを書き留めたり、意見を交流したりするような学習が設定されており、巻末に「音楽を表すいろいろな言葉」がまとめられており、表現や鑑賞の活動において言語活動が充実するよう工夫されている。 ○鑑賞や表現の領域で、どのような観点から言語活動を行えばよいのかが示されるなど、言語活動が充実するよう工夫されている。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ったり、学んだことを生活に生かしたりすることができるよう配慮されている。巻末には、「音楽のもと」「楽器ずかん」などのコーナーが設けられており、随時、関連事項を振り返ることができる。また、二次元コードを読み取ることで、学習を深めることができる資料を確認することができる。 ○音楽が社会で果たす役割や、音楽を通して他者とつながる活動を知ることにより、社会へ貢献する態度を育成するよう配慮されている。

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査の報告について

種 目	音楽		所 属	職 名	氏 名
		調 査 員	代表 伊加賀小学校	校長	高嶋 珠希 
			樟葉西小学校	教頭	岡 章子
			殿山第二小学校	教諭	森 和沙

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
27 教 芸	小学生の音楽	小原 光一 ほか20名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○幅広く変化に富んだ学習活動が行えるよう、程度の差を考慮した多様な教材がバランスよく構成されており、各学校の児童の実態に合わせて教材や学習活動の分量を弾力的に増減できるため、児童の実態に合った技能を伸ばすことができる内容となっている。 ○表現領域と鑑賞領域がバランスよく取り上げられており、児童の作品例やワークシート例の他、グループ活動時の会話を想定した吹き出しが例示されるなど、目標や学習活動との結びつきが示され、児童が無理なく手拍子や足拍子などの身体表現や話し合う活動等を取り入れながら、音楽を表現したり味わって聴いたりできるような内容になっている。 ○音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育み、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培うよう適切な内容が取りあげられている。我が国に古くから伝わる習慣や文化を紹介するコラムや演奏家からのメッセージが紹介されており、お囃子や民謡が児童の発達段階に合わせて段階をおって適切に取り扱われている。また、日本の伝統的な音楽と関連づけて諸外国の音楽を取りあげ、興味を持って取り組める内容になっている。 ○各学年の巻頭にある「学習マップ」では、イラストによって、単元で取り扱われる内容について視覚的にわかりやすくまとめられている。また、各活動において必要な技能を「歌う」「きく」「つくる」「演奏する」として明示し、見通しをもって学習に取り組めるような内容になっている。	
2. 人権の取扱い	○選曲、歌詞、文章、写真、挿絵、図、資料などは人権を尊重する観点から適切であり、児童が互いを尊重し、多様性を意識できるような配慮がなされている。SDGs の視点、国際理解、環境など、人権教育の視点に立ち、配慮された紙面になっている。 ○すべての児童にとって分かりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや写真、イラスト、図、配色など配慮されている。ユニバーサルデザインフォントを使用しており、タイトルや文章だけでなく歌詞にも使用することで、可読性・可視性が高まっており、誰もが読みやすい文章や楽譜となるように細部にわたり配慮されている。	

3. 発達段階への考慮	各学年とも児童の発達段階を考慮した内容になっている。 ○表現の活動においては、「歌唱」「器楽」「音楽づくり」とともに段階を追って学習を進められるよう考慮されており、特に低学年では身体表現を取り入れながら音楽に親しめるような内容になっている。また、学習のポイントがイラストなどを用いて意識できるよう考慮されている。 ○鑑賞の活動においては、題材のねらいに含まれる音楽を形づくっている要素を橋渡しとして、歌唱や器楽などの表現活動と関連付けられるようにねらいが設定されている。また、二次元コードから動画を見ることができ、それぞれの楽器の音色を味わったり、曲の特徴的な旋律について確認したりできるようになっている。 ○各教材で学習する〔共通事項〕に示された「音楽を形づくっている要素」が、各教材見開きの右ページ下部の端に示されており、さらに、児童が理解しやすい言葉で学習のねらいや活動文、吹き出しの中などで繰り返し記されている。また、各教科書の最後には、「ふり返りのページ」として一年間の学習内容が概観できるよう考慮されている。
4. 組織・配列	○単元配列については、各学年の目標や内容を踏まえて、系統性及び発展性をもって組織化された題材が設定されている。また、「表現領域の教材」と「鑑賞領域の教材」が[関連]・[対照]・[対比]されながら組み合わせられており、教材性を生かした多様な効果的な学習ができるように配列されている。 ○低・中・高の各学年の目標及び内容を踏まえて、他教科との関連を図ることで、児童の興味・関心・意欲を高めて学習を一層深めることができるよう、教科等横断的な視点から、社会や総合的な学習の時間を図りやすいように、調べる際の観点が示されていたり、3年生以上では英語の歌や歌詞が取り扱われていたり、SDGsとの関連を意識した教材などが配列されている。 ○全学年の全ての題材が見開きの左に示されており、教材ごとにめあてが示されている。また、「楽譜マスター」というコーナーを設け、音符や休符、記号などを紹介したり、共通したマークを用いたりすることで学習の見通しを持ちやすいような構成となっている。
5. 学び方の工夫	○教科書紙面上右上の二次元コードを読み取ることで、タブレット端末で「個別最適な学び」をサポートするコンテンツ「ムーブの部屋」にアクセスすることができ、児童一人一人が操作できるため、個の考えを深めやすいよう工夫されている。また、グループ学習を通して友達と協働しながら音楽をつくったりすることにより、子どもたちの発想力や音を音楽にしていける力を培えるように配慮されている。 ○知覚と感受したことをもとに思考・判断し、言葉や音楽で表現できるよう、表現教材及び鑑賞教材においては譜例（絵譜）や挿絵を用いた説明などが充実しており、それらを活用することで言語活動の充実が図られるように工夫されている。また、「考える」「見つける」「歌う」「演奏する」「つくる」のマークを各教材に配置することで、それぞれ学習活動の進め方が示されている。キャラクターのセリフにより、音楽的な見方・考え方を働かせた学習活動を進めるヒントが示されている。 ○聴き取ったり感じ取ったりしたことをもとに、思考・判断し、言葉や音楽で表現できるよう、鑑賞や表現の活動において、譜例（絵譜）や挿絵を用いた説明などが豊富で、それらを活用することで、言語活動の充実がはかれるように工夫されている。 ○鑑賞や表現の領域で、聴き取ったことを言語化することができるよう書き込み欄を設けるなど、言語活動が充実するよう工夫されている。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○各題材の最初のページに題材のねらいが明示され、また、最後のページに学習を振り返る「まとめ」が掲載されており、児童がこの題材で「何を学んだのか」「何ができるようになったのか」を確認し、これからの学習につなげられるように配慮されている。また、二次元コードを読み取ることで、学習を深めることができる資料を確認することができる。

	○児童が音楽科の学習で得た音楽経験や知識を、学校生活や地域社会での生活に生かすことができるように、児童の生活の中にある様々な音や音楽への関心を促す特集が配置されている。
--	---

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査の報告について

種 目	図画工作
-----	------

	所 属	職 名	氏 名
調 査 員	代表 平野小学校	校長	虎杖 利和
	小倉小学校	教頭	永山 宜佑
	樟葉小学校	教諭	寺尾 久美子

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
9 開隆堂	図画工作	佐々木 達行 藤澤 英昭 柴田 和豊 ほか97名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○育てたい資質・能力に沿った「学習のめあて」が各題材の冒頭に明示され、児童の自己評価「振り返り」と併せて、学習の目標と内容及び育てたい力との関連が明確になっており、育てたい資質・能力の定着が図られる構成になっている。 ○発達段階に応じた身近な材料を題材に取りあげ、造形的な視点について理解し、形や色、質感などをもとに思いやイメージを広げ、創造的につくったり表したりすることができる内容が取りあげられている。 ○課題を見つけ、試行錯誤しながら材料や方法などを選択し、活動できる題材が設定されている。それぞれの題材で3つのキャラクターによる学習のめあてや作品作りについてのヒントが示されていたり、写真の吹き出しや作品のコメントから児童の思いや工夫が掲載されていたりし、発想や構想、見方を広げるヒントが示されている。 ○コミュニケーションや言語活動を重視した題材、共同で行うことを意図した題材が多く設定されており、他者と関わりながら活動する中で、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培うことができるよう配慮されている。	
2. 人権の取扱い	○語句、作品例、挿絵、写真等の素材については、人権尊重の視点から適切に取り上げられている。 ○人権尊重の観点から、作品例、文章、挿絵、図、資料などが適切に取りあげられている。海外の児童の作品や作家の作品が掲載され、国際交流や福祉、平和教育に関わる内容や、地域の伝統文化とのつながりも取りあげられている。 ○すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、ユニバーサルフォントを使用し、文字の大きさは学年に応じて変えられ、図版には番号が付されている。写真や図が重なる場合は間に線が入っている。カラーユニバーサルデザインの観点からも写真や図の配色や形、レイアウトが配慮されている。 ○児童の安全や事故防止について適切に取りあげられている。例えば、配慮すべき点を「かたづけ」として示し、特に安全指導について留意すべきことは、「安全マーク」とともに具体的に示している。それらに加え、各巻末の「学びの資料」では、用具や材料の基本的な扱い方を示し、安全な使い方ができるように配慮されている。	

3. 発達段階への考慮	○1・2上冒頭の「わくわくするね」では、幼児期の活動内容に近い題材を設定しており、児童がスムーズに小学校の学習へ入っていけるよう配慮されている。 ○児童の発達段階に応じて、表現活動の内容と育てたい力（資質・能力）がバランスよく構成されている。 ○様々な題材で鑑賞の観点を示した吹き出しが掲載されている。また、「小さな美術館」でも、鑑賞活動を通して身につけさせたい事項が取りあげられている。 ○作品へのコメントや吹き出しから、児童が形や色など表現につながるイメージを持つことができるようにしている。
4. 組織・配列	○身近な材料を使った題材から始まり、段階的に発想や構想を広げていけるよう系統的に題材配列が工夫されている。 ○表現と鑑賞を一体的に扱ったり、一つの題材での学習が次の題材につながったりするよう工夫されている。 ○発達段階に応じた内容や学習指導要領で扱われる用具・材料などを考慮し、系統的に学びを進められるよう配列されている。 ○必要な情報をページの上部・下部にまとめ、見開きで作品や児童の活動の様子が示されている。「あわせて学ぼう」では、他の教科等と関連づけて学習するためのヒントが示されている。また、各題材で二次元コードが掲載されている。
5. 学び方の工夫	○題材ページには、児童の活動の場面を大きく掲載することでメリハリのある楽しい紙面となっている。 ○デジタルコンテンツ動画があり、キャラクターが学習の内容や重点課題をわかりやすく説明してくれ、児童の関心が高まりやすいようになっている。 ○掲載されている素材は、作家作品だけでなく、身近な自然の造形や工芸品、建造物なども扱い、児童が親しみを感じられるよう構成されている。 ○二次元コードでは、道具の使い方や表現の工夫などを示した動画を見ることができ、また、「学びの資料」でも用具や材料の使い方を示している。各題材において多様な作品や活動を示すとともに、表現や鑑賞を交流しながら取り組めるよう構成されている。 ○キャラクターをもちいて、めあてのヒントを示し発想を支援するとともに、吹き出しで表現の工夫や見方の支援をしている。様々な発想に基づいた作品を掲載し、発想を広げることや多様な表現の可能性を広げることにつなげている。 ○表現と同じ題材を鑑賞で取りあげており、鑑賞と表現がつながるようにしている。 ○吹き出しで、交流の観点、発想や工夫のヒントを示している。また、特に国語との関連において、具体的な言語活動の内容が明記されている。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○各題材に二次元コードが掲載しており、インターネットを通して、用具の安全な使い方や作品の作り方を、動画や参考作品例にて見られるようになっている。 ○防災・安全について、ピクトグラムや、震災復興を願った作品などが掲載されており、防災への考えを深められるよう配慮されている。 ○伝統的な遊びや玩具、伝統工芸などについて取り上げられている。 ○1・2年上巻の「わくわくするね」では就学前と小学校の学びをつなぐ工夫がされている。「小さな美術館」では、発展的な学習の資料として様々な作品を示している。

	「つながる造形」「みんなのギャラリー」等では、美術館・町・地域での造形活動やアーティストとの交流、環境を意識した活動など、社会への広がりを示した発展的な学習の紹介をしている。なお、二次元コードからは、用具の使い方の動画、作品の画像などを見ることができる。
--	--

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査の報告について

種 目	図画工作
-----	------

	所 属	職 名	氏 名
調 査 員	代表 平野小学校	校長	虎杖 利和
	小倉小学校	教頭	永山 宜佑
	樟葉小学校	教諭	寺尾 久美子

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
116 日 文	図画工作	奥村 高明 ほかに160名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○全ての題材に教科の目標に基づく「学習のめあて」、「振り返り」が設定されており、資質・能力の三つの柱の育成ができるよう工夫されている。 ○発達段階に応じた身近な材料を題材に取りあげ、造形的な視点について理解し、形や色、質感などをもとに思いやイメージを広げ、創造的につくったり表したりすることができる内容が取りあげられている。 ○課題を見つけ、試行錯誤しながら材料や方法などを選択し、活動できる題材が設定されている。それぞれの題材で、学習のめあてや「特に大切なめあてのヒント」「かん賞のヒント」が示されていたり、写真の吹き出しや作品のコメントから児童の思いや工夫が掲載されていたりし、発想や構想、見方を広げるヒントが示されている。 ○コミュニケーションや言語活動を重視した題材、共同で行うことを意図した題材が多く設定されており、他者と関わりながら活動する中で、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培うことができるよう配慮されている。	
2. 人権の取扱い	○語句・作品例・挿絵・写真等の素材については、人権尊重の視点から適切に取り上げられている。 ○人権尊重の観点から、作品例、文章、挿絵、図、資料などが適切に取りあげられている。海外の児童の作品や作家の作品が掲載され、国際交流や福祉、平和教育に関わる内容や、地域の伝統文化とのつながりも取りあげられている。 ○すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、ユニバーサルフォントを使用し、文字の大きさは学年に応じて変えられている。写真や図が重なる場合は間に線が入っている。カラーユニバーサルデザインの観点からも写真や図の配色や形、レイアウトが配慮されている。 ○児童の安全や事故防止について適切に取りあげられている。例えば、配慮すべき点「気をつけよう」として示し、用具の安全な使い方や、活動場所の安全を確認することなどを具体的に示している。それらに加え、各巻末の「材料と用具のひきだし」では、用具や材料の基本的な扱い方を示し、安全な使い方ができるように配慮されている。	

3. 発達段階への考慮	○1・2上冒頭の「どんなことすきだった？」では、幼児期の活動内容に近い題材を設定しており、児童がスムーズに小学校の学習へ入っていけるよう配慮されている。 ○児童の発達段階に応じて、表現活動の内容と育てたい力（資質・能力）がバランスよく構成されている。 ○ほぼすべての題材に観点を示した「かん賞のヒント」が掲載されている。また、「教科書美術館」でも、鑑賞活動を通して身につけさせたい事項が取りあげられている。 ○作品へのコメントや吹き出しから、児童が形や色など表現につながるイメージを持つことができるようにしている。
4. 組織・配列	○題材の分類が5つの分野で構成され、それぞれの分野の中で、児童の発達に十分配慮した材料や用具が取り扱われている。基本的な使い方から応用的な使い方を紹介するようにし、学年の順序性が十分に留意されている。 ○各巻とも、1年の流れに沿って、行事や季節に応じて題材を選択できるよう配列されている。 ○発達段階に応じた内容や学習指導要領で扱われる用具・材料などを考慮し、系統的に学びを進められるよう配列されている。 ○活動の流れが順序立てて配列され、見開きで作品や児童の活動の様子が示されている。他教科等と関わりのある題材について、「つながる学び」マークが示されている。また、各題材で二次元コードが掲載されている。
5. 学び方の工夫	○題材名の横に学習のめあてが3つの観点ごとに示されており、育成する資質や能力と学習内容との関係が明確になっている。 ○発想や構想、表現のヒントになる「図工の見方」コーナーが設けられており、発想に悩む児童や、授業の導入や展開などさまざまな場面で活用できる。 ○子供たちが身近な話題から造形的な見方・考え方を深めていけるよう工夫されており、より造形的な視点で身の回りや社会を捉えることができるよう特設ページが設けられている。 ○二次元コードでは、道具の使い方や表現の工夫などを示した動画を見ることができる。また、「材料と用具のひきだし」でも用具や材料の使い方を示している。各題材において多様な作品や活動を示すとともに、表現や鑑賞を交流しながら取り組めるよう構成されている。 ○電球マーク等を持ちいて、めあてのヒントを示し発想を支援するとともに、吹き出しで表現の工夫や見方の支援をしている。様々な発想に基づいた作品を二次元コード上にも掲載し、発想を広げることや多様な表現の可能性を広げることにつなげている。 ○ほぼすべての表現の題材に鑑賞の活動が例示されており、鑑賞と表現がつながるようにしている。 ○吹き出しで、児童の工夫や感じ方を示し、コミュニケーションの支援や発想のヒントとなるようにしている。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○各題材に二次元コードが掲載しており、用具の安全な使い方などを示し、安全に配慮する態度を養うことができるよう工夫されている。 ○防災・安全について、ピクトグラムや、震災復興を願った作品などが掲載されており、防災への考えを深められるよう配慮されている。 ○伝統的な遊びや玩具、伝統工芸などについて取り上げられており、日本の伝統文化の

良さや美しさに気づけるようになっている。

○1・2年上巻の「ずこうのスタート」では就学前と小学校の学びをつなぐ工夫がされている。「ともだちのさくひんをみてはなそう」「教科書美術館」では、発展的な学習の資料として様々な作品を示している。「つながる図工」「広がる図工」等では、生活の中の造形物や美術館、地域とのつながり、環境やSDGsなど、社会への広がりを示した発展的な学習の紹介をしている。なお、二次元コードからは、用具の使い方の動画、作品の画像などを見ることができる。

種 目	家庭
-----	----

	所 属	職 名	氏 名
調 査 員	代表 禁野小学校	校長	位田 真由子
	菅原小学校	教頭	埜田 知里
	西牧野小学校	教諭	黒瀬 圭一

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
2 東 書	新編 新しい家庭	岡 陽子 杉山 久仁子 ほか62名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○日常生活に必要な知識や技能が身につけられるよう、各題材の始めに「めあて」を明示し、終わりにそれに呼応した「ふり返ろう」を設けてこまめに学習をふり返り、学習内容が定着するようになっている。また、技能が身に付いたかを確認するために、「できたかな」でチェックできるようになっている。 ○日常生活の中から問題を見いだし課題を解決する力を養えるよう、各題材とも「1. 見つめよう」「2. 計画しよう・実践しよう」「3. 生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」という、一連の流れで構成されている。 ○家族の一員として生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養えるよう、各題材の最後に「深めよう」を設定している。また、5年生の題材の中で「SDG s でつくる私たちの未来」というページを設け、SDG s と関連するページを示し「教科書には、SDG s につながるヒントがたくさんあるよ！探してみよう。」と示されている。	
2. 人権の取扱い	○人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。幼児や高齢者等様々な世代、障害のある人や外国人等多様なバックグラウンドの人々が登場することで、共生の視点に気づくことができるように配慮されている。 ○ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、読みやすいデザインの文字となっており、重要な言葉が太字で示されている。また、「いつも確かめよう」では、右ききの場合と左ききの場合の写真を載せている。教科書に直接記入する箇所は罫線が引かれており、書き込みやすくなっている。また、6つの食品群について、○色の横に文字が添えられている。実習の工程が横に流れる記述となっている。例えば、ミシンの使い方示す際には、イラストと文章で説明されている。 ○安全に気をつけて実習を行うために、巻頭に「衛生・安全に気をつけて実習しよう」のページが設定されている。また、「身支度の仕方」として、具体的な行動がチェックできるようになっている。「+安全」のコーナーは赤色の囲みとピンク色の彩色で目立つようにしている。食物アレルギーについては、巻頭に「食物アレルギーの症状」として、具体的なアレルギー反応が挙げられ、食物アレルギーを持つ友達への配慮ができるようになっている。	

3. 発達段階への考慮	○文章の記述や分量について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。また、専門用語について、ページの下部にある「メモ」で家庭科の技術や知識が掲載されている。 ○写真、挿絵、図、表などの資料が、児童の発達段階を考慮した内容となっており、児童が見通しをもって学習に取り組めるよう配慮されている。
4. 組織・配列	○5年生の早い段階で「持続可能な社会へ物やお金の使い方」の大題材として、買い物について学ぶとともに、SDGsに向けた学習を行えるよう配列されている。 ○大題材「まかせてね今日の食事」の中で「環境に配慮した調理計画」について示すなど、環境の視点を入れる工夫をしている。 ○題材の始めに「針と糸を使ってできること」「身の回りや生活の場をみつめよう」などと掲げることで、学習の見通しを持てるようにしている。次に「手ぬいにトライ!」「身の回りをきれいにしよう」などの投げかけから、計画的に実践し、最後に「手ぬいのよさを生活に生かそう」「物を生かして快適に生活しよう」などの投げかけにより、生活に生かし、新しい課題にも取り組めるような配列になっている。 ○各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。例えば、夏と冬の住まい方、衣服の着方・手入れについては、同一単元で、夏のくらしと涼しい衣服の着方や手入れ、冬のくらしと暖かい衣服の着方を学習するというように、衣生活と住生活を総合的にとらえ、学習を発展させていくよう工夫されている。また、他教科等の学習内容と関連させたり、中学校技術・家庭科「家庭分野」の学習内容とつなげたりしながら学習ができるよう、関連マークで示されている。その他、家庭科に関係のある英単語を日本語訳、イラストとともに脚注に示している。 ○見開きで実習の流れが確認できるように示されるなど、児童が見通しをもって学習にとりくめるよう構成されている。また、巻末に実習に役立つ技能面の写真やイラスト、拡大図や実習ポイント等が示されている。
5. 学び方の工夫	○個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のため、タブレットを活用し、学校でも家庭でも自己調整しながら、学習を進められるように実習動画やワークシート、トライシート（思考ツール）等のデジタルコンテンツが用意されている。 ○各題材において、「話し合おう」「考えよう」「調べよう」「やってみよう」「深めよう」として学習課題が適切に設定され、児童が主体的に実践的・体験的な活動を行うことができるよう工夫されている。 ○生活体験と関連付けた問題解決的な学習ができるように、題材の最後の「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」では、学習で身につけたことをもとにして、さらに新しい生活の中の課題に取り組めるようになっている。また「夏休みわくわくチャレンジ」や「生活を変えるチャンス!」では、行事や長期の休みを利用して、①「課題の設定」②「計画」③「実践」④「まとめ・発表」⑤「評価・改善」の順で学習できるようになっている。その他、生活の営みに係る見方・考え方を働かせる場面において、見方・考え方の4つの視点「協力」「健康・快適・安全」「生活文化」「持続可能な社会」を「家庭科の窓」として設定されている。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○巻頭に「成長の記録」があり、大題材の終了後に記入することで、学んだことをふり返し、「次へのチャレンジ」について考えられるようになっている。 ○「日本の伝統」「プロに聞く」「くらしの中のプログラミング」等のコラムでは、実際に話した方の顔や具体物の写真、インタビュー動画等も掲載され、学習した内容の理解をさらに深めたり、仕事や生活への興味を高めたりできるよう工夫されている。 ○防災教育として「日々の備え」のコラムが掲載されている。巻頭には「地震が起きたとき」として、どのように安全に行動するかについて示されている。

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査の報告について

種 目	家庭
-----	----

	所 属	職 名	氏 名
調 査 員	代表 禁野小学校	校長	位田 真由子
	菅原小学校	教頭	埜田 知里
	西牧野小学校	教諭	黒瀬 圭一

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
9 開隆堂	わたしたちの家庭科	鳴海 多恵子 石井 克枝 堀内 かおる ほか73名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○日常生活に必要な知識や技能が身につけられるよう、各題材の始めに「学習のめあて」を明示し、終わりに「学習をふり返ろう」でチェックして、学習内容が定着するようになっている。また、技能が身に付いたかを確認するために、「できたかな」でチェックできるようになっている。 ○日常生活の中から問題を見いだして課題を解決する力を養えるよう、各題材とも「1. 気づく・見つける」「2. わかる・できる」「3. 生かす・深める」という、一連の流れで構成されている。 ○家族の一員として生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養えるよう、各題材の終わりに「生かす・深める」「生活に生かそう」のコーナーを設定している。また、巻頭の中で「わたしたちの生活とSDGs」というページを設け、SDGsと関連するページを示し、「わたしたちがどのような未来を望むのか、その未来はどうしたらやっていくのかなどを意識して学習します。」と示されている。	
2. 人権の取扱い	○人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。幼児や高齢者等様々な世代、障害のある人や外国人等多様なバックグラウンドの人々が登場することで、共生の視点に気づくことができるように配慮されている。 ○ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、読みやすいデザインの文字となっており、重要な言葉が目立ちやすい太字で示されている。また、「実習に役立つワンポイント」では、右ききの場合と左ききの場合の写真を載せている。児童の読み間違いを防ぐため、一つの単語が行をまたがない工夫がされている。併せて「利き手はどちら？」の布と糸等、見やすい配色となっている。実習の工程が見開きで横に流れる記述となっているとともに、彩色により一体的に捉えられるようになっている。例えば、ミシンの使い方を示す際には、上糸と下糸が色分けされた写真やイラストと文章で説明されている。 ○安全に気をつけて実習を行うために、巻末に「安全と衛生に気をつけて実習しよう」のページが設定されている。また、「『安全と衛生』なぜそうするのか？」としてQAの形式を用いることにより、さらに安全を意識できるようになっている。「安全チェック」「安全」のコーナーは赤色やオレンジ色の囲みで目立つようになっている。食物アレルギーについては、卵を扱う料理のページに「食物アレルギーに注意」として、加工食品にも注意することが示されている。	

3. 発達段階への考慮	○文章の記述や分量について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。また、専門用語について、ページの下部にある「豆知識」で、家庭科の技術や知識が掲載されている。 ○写真、挿絵、図、表などの資料が、児童の発達段階を考慮した内容となっており、児童が見通しをもって学習に取り組めるよう配慮されている。
4. 組織・配列	○5年生のまとめとして「できることから始めて、持続可能な生活をつくる」として、ページを設定するとともに、2年間の集大成として、SDGsに向けた学習を行えるよう「持続可能な社会のために」の大題材が、最後に配列されている。 ○大題材「こんだてを工夫して」の中で、5年生で学んだ「じゃがいも料理の準備」について記載し、基礎基本に則って取り組めるよう配列されている。また、1食分の調理計画の例を示す中で、主菜、副菜、しる物、主食が同時に盛りつけられるように計画するプログラミング的思考の要素が盛り込まれている。 ○題材の始めに「なぜ針と糸で縫うのだろう」「なぜ、整理・整とんをするのだろう」などと問いかけることで、学習のめあてを明確にし、家庭科で学ぶことの必要性を意識させるようになっている。次に「どのような用具や方法で縫うのだろう」「整理・整とんをしよう」などの投げかけから、よりよい方法を選んで問題を解決し、最後に「手ぬいを生活に生かそう」「身の周りを快適で安全にしよう」などの投げかけにより、生活に生かし、新しい課題にも取り組めるような配列になっている。 ○各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。例えば、夏と冬の住まい方、衣服の着方・手入れについては、5年生では冬の住まい方と衣服の着方の単元、6年生では夏の住まい方と衣服の手入れの単元を学習し、衣生活と住生活の学習をスパイラルに積み重ねていくよう工夫されている。また、他教科等の学習内容と関連させて学習ができるよう、「関連マーク」が示されていたり、中学校技術・家庭科「家庭分野」の学習内容とつなげて学習ができるよう、巻末に特設ページを設けたりしている。その他、家庭科に関係のある英単語を日本語訳とともに脚注に示している。 ○見開きで実習の流れが確認できるように示されるなど、児童が見通しをもって学習にとりくめるよう構成されている。また、巻末に実習に役立つ技能面の写真やイラスト、調理用具や実習ポイント等が示されている。
5. 学び方の工夫	○個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のため、タブレットを活用し、学校でも家庭でも自己調整しながら、学習を進められるように実習動画やワークシート等のデジタルコンテンツが用意されている。 ○各題材において、「話し合おう」「考えよう」「調べよう」「やってみよう」「深めよう」として学習課題が適切に設定され、児童が主体的に実践的・体験的な活動を行うことができるよう工夫されている。 ○生活体験と関連付けた問題解決的な学習ができるように、題材の最後の「生かす・深める」では、学習で身につけたことをもとにして、さらに新しい生活の中の課題に取り組めるようになっている。また、「レッツトライ！生活の課題と実せん」では、学校行事や長期の休みを利用して、①「課題を決める」②「計画を立てる」③「実せんする」④「実せんをふり返る」⑤「実せんの評価と改善策」の順で学習できるようになっている。その他、生活の営みに係る見方・考え方を働かせる場面において、見方・考え方の4つの視点「協力」「健康・快適・安全」「生活文化」「持続可能な社会」が「四つ葉のクローバー」として設定されている。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○各題材の最後に「学習をふり返ろう」「生活に生かそう」があり、記入することで、学んだことをふり返り、これからの生活に生かしたいことについて考えられるようになっている。 ○「伝統」「キャリアインタビュー」「生活の中のプログラミング」等のコラムでは、実際に話した方の顔や具体物の写真、児童に向けたメッセージ記事等も掲載され、学

習した内容の理解をさらに深めたり、仕事や生活への興味を高めたりできるよう工夫されている。

○防災教育として「防災」のコラムが掲載されている。巻末には「家庭や地域の安全・防災」のページを設け、普段から準備しておくことや、災害が起こったあとにできることについて考えるようになっている。

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査の報告について

種 目	保健
-----	----

	所 属	職 名	氏 名
調 査 員	代表 殿山第二小学校	校長	山本 容子
	山之上小学校	教頭	下司 順平
	香陽小学校	教諭	堀岡 智子



令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
東京書籍	新編 新しい保健	戸田 芳雄 ほか45名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○各章はじめに、花をモチーフに目標に到達するための学習活動が示され学習の見通しを持つことができる。 ○各章が [ステップ1 (気づく・見つける)] [ステップ2 (調べる・解決する)] [ステップ3 (深める・伝える)] [ステップ4 (まとめる・生かす)] で構成されており、児童が身近な生活における課題を見つけ、解決に向けて考えたことを表現する活動ができるよう取り扱われている。 ○「調べる・解決する」「深める・伝える」などで話し合い活動を取り入れており、思考・判断したことを他者に伝える工夫がされている。 ○「まとめる・生かす」では、自分の生活を見直す活動が設けられており、気づいたことやわかったことを書き込み、自分の生活を振り返ることで、健康の保持増進をめざすよう取り扱われている。	
2. 人権の取扱い	○文章・写真・挿し絵・図・資料等、人権尊重の観点から適切に取り扱われている。また、プロ車いすテニスプレイヤーの小学生の頃のエピソードなどが取りあげられている。 ○すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、UD フォントを使用し、文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。	
3. 発達段階への考慮	○文章はわかりやすく、簡潔な記述であり、分量とともに児童の発達段階に考慮した内容となっている。 ○写真、挿絵、図、表などの資料について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。	

4. 組織・配列	○すべての学年で目標や内容を踏まえるよう配慮されており、「つなげよう」「はってん」で他学年や他教科とのつながりが示されている。教科横断的な視点を含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。また、各章ごとにSDGsとの関連が示されている。 ○効果的な指導が行われるよう、写真・挿絵・図・表などが適切に配置されている。「コール」「クール」のキャラクターによる考えさせる問いかけ等があり、児童が主体的に考えるように考慮されている。
5. 学び方の工夫	○各単元に設定されたデジタルコンテンツで、児童自らの興味・関心に応じた学びができるとともに、他者に伝える活動を提示することで、対話的な学習となるよう促している。 ○生活リズムをチェックする表、「心の静める方法」の実習、ユニバーサルデザインを探す活動など、具体的な体験を通して主体的に学ぶことができるよう工夫されている。 ○各単元で、「気づく・見つける」「調べる解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」の順に課題が示されており、書きこみながら自分の課題を見つけて解決し、学習できるよう工夫されている。 ○巻頭の『どんな自分になりたいかな』では、3年生の始めと4年生の終わりを比べ、自身の変容を振り返ることができるようになっている。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ったり、学んだことを生活に生かしたりすることができるよう配慮されている。 ○章ごとの『資料』『はってん』『まめちしき』がある。また、QRコードから動画などのデジタルコンテンツが活用できる。「実験」「実習」については、イラストや写真、動画等で確認できるなど技能の習得も工夫されている。 ○学習の内容や家庭等を振り返ったり、学んだことを生活に生かしたりするための資料やコラムが取り扱われている。

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査の報告について

種 目	保健		所 属	職 名	氏 名
		調 査 員	代表 殿山第二小学校	校長	山本 容子
			山之上小学校	教頭	下司 順平
			香陽小学校	教諭	堀岡 智子

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
大日本図書	新版 たのしい保健	大津 一義 ほか20名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○単元の初めに、動機付けの学習ゲームなどを提示し、学習の見通しを持たせながら、小単元で、課題把握、解決のための話し合い、活用のあり方、まとめという授業構成で、必要な知識・技能を習得できる内容が扱われている。 ○「つかもう」「考えよう」「話し合おう」などの小見出しで、思考・判断したことを友だちやクラスの人々に伝える工夫がされている。 ○「活かそう」では、学習の振り返りや自らの生活を振り返ることで、健康の保持増進を日常生活のなかでめざしていくように取り扱われている。	
2. 人権の取扱い	○文章、写真、挿絵、グラフ等の資料など、人権尊重の観点から配慮された内容となっている。また、「もっと知りたい!」の場面で、ジェンダーや性の多様性などが取りあげられている。 ○すべての児童にとってわかりやすく使いやすいように、文字はUDフォントを使用し、漢字には、ふり仮名をうち、文字の大きさやレイアウトや図の配色など配慮されている。	
3. 発達段階への考慮	○文章はわかりやすく、簡潔な記述であり、分量とともに児童の発達段階に考慮した内容となっている。 ○写真、挿絵、図、表などの資料について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。	
4. 組織・配列	○すべての学年で、学年の学習目標や内容を踏まえた構成になっている。また、教科等横断的な視点も織り交ぜて、効果的・系統的な指導が行われるよう組織・配列されている。また、学習内容によっては、適宜SDGsとの関連性も示されている。 ○内容に応じたわかりやすい挿絵や写真、考えやすい図や資料、キャラクターのつぶやきや「ミニちしき」が随所にあり、主体的に考えることができるように考慮	

	されている。
5. 学び方の工夫	○豊富なデジタルコンテンツの紹介があり、児童が主体的に調べ学習ができ、学んだことを「話し合おう」の提示で友だちに伝える活動を意欲的に行い、互いに対話的な学習になるよう促している。 ○「いろいろな運動」「手のあらいかた」「手のレントゲン写真」「不安やなやみへの対処のしかた」など、具体的な事柄の提示で、より自分事として考えるように工夫されている。 ○各単元で「つかもう」「話し合おう」「考えよう」「活かそう」と課題にたいして、本に書き込みをしながら自分で考え、判断し、生活に活かしていくように工夫されている。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ったり、学んだことを生活に生かしたりすることができるよう配慮されている。 ○「もっと 知りたい!」ページでは、現在社会の問題なども提示し、「たのしい保健ウェブへ」や「はってんウェブ」を掲載し、豊富な動画などのデジタルコンテンツが活用できる。また、「実験」や「実習」については、わかりやすいイラストや「ミニちしき」写真、動画などで確認できるように工夫されており技能の習得にもつながるものと考えられる。

様式 1
(提出用)

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査の報告について

種 目	保健
-----	----

	所 属	職 名	氏 名
調 査 員	代表 殿山第二小学校	校長	山本 容子
	山之上小学校	教頭	下司 順平
	香陽小学校	教諭	堀岡 智子

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
大修館書店	新 小学校保健	森 良一 ほか13名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○各項がステップ1の「課題をつかもう」で身近な生活をふり返るところから入り、「きょうの課題」で学習の課題を明確にし、ステップ2「話し合おう」「考えよう」「調べよう」で学習の課題解決のための活動に取り組むようになっている。 健康保持増進をめざすよう取り扱われている。 ○「話し合おう」の小見出しで、図や写真などを取り入れ、他者と話し合い、考えを深め、表現する活動ができるようになっている。 ○各章の最後の「学習をふり返ってみよう」では、知識の定着を図りつつ、学習したことや現在や将来の生活に生かすことができるように工夫されている。	
2. 人権の取扱い	○人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。また、「みんなちがって、みんないい」では、性の多様性などが取りあげられている。 ○全ての児童にとって使いやすくわかりやすいように、文字はUDフォントを使用し、文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。	
3. 発達段階への考慮	○文章はわかりやすく、簡潔な記述であり、分量とともに児童の発達段階に考慮した内容となっている。 ○写真、挿絵、図、表などの資料について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。	
4. 組織・配列	○すべての学年で、目標や内容をふまえて、教科等横断的な視点を含め、効果的な指導がおこなわれるよう組織・配列されている。また、「資料」「はってん」「体育の窓」で他学年や他教科等・運動領域とのつながりが示されており、系統的な学習が進められるよう配慮されている。また、巻末にSDGsについてわかりやすくまとめられている。	

	○効果的な指導が行われるよう、写真・挿絵・図・表などが適切に配置されている。学習に関連する役立つ知識を紹介した「まめちしき」等がある。「豆知識」「解説」で、学習内容に関連する知識が紹介されている。
5. 学び方の工夫	○各単元に設定されたデジタルコンテンツで、児童自らの興味・関心に応じた学びができるとともに、他者に伝える活動を提示することで、対話的な学習となるよう促している。 ○手の洗い方や呼吸法、体ほぐし運動、けがの手当ての実習など具体的な体験を伴う活動が取り扱われている。 ○はじめに課題を提示し、「ステップ1」で問題意識を高め、「ステップ2」「ステップ3」「学びを広げる・深めるふり返る」という学習過程の中で、児童自身が、より主体的に課題を解決する学習活動が取り上げられている。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ったり、学んだことを生活に生かしたりすることができるよう配慮されている。 ○資料「もっと学びを広げよう！深めよう！」や「はってん」があり発展的な学習として取り扱われている。また、二次元コードから動画などのデジタルコンテンツが活用できる。「実験」「実習」については、イラストや写真、動画等で確認できるなど技能の習得も工夫されている。「巻頭にタブレットを使って楽しく学ぼう！」ではタブレットの活用方法が詳しく掲載されている。

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査の報告について

種 目	保健		所 属	職 名	氏 名
		調 査 員	代表 殿山第二小学校	校長	山本 容子
			山之上小学校	教頭	下司 順平
			香陽小学校	教諭	堀岡 智子

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
文教社	新わたしたちの保健	成田 十次郎 脊山 洋右 ほか14名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○各項が、めあて→ミッション→まとめ→更なるミッションの構成になっており、本時のメニューとして学習者に明示されているため、見通しを持って学習活動を進めることができる。 ○「Stage」では、課題を解決する過程において、思考・判断したことを他者に伝える工夫がされている。 ○章末の『わたしたちの〇〇せん言』では、知識の定着を図るために、今後の自分の実践について考え、記述する内容になっている。また「Mission もう一歩先の自分へ」では、自分の生活を見直す活動が設けられており、気づいたことやわかったことを書き込み、自分の生活を振り返ることで、健康の保持増進をめざすよう取り扱われている。	
2. 人権の取扱い	○文章、写真、挿絵、グラフ等の資料など、人権尊重の観点から配慮されている。また、「その人らしさを大切に」では、一人ひとりのちがいが示されている。 ○すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色などユニバーサルデザインに配慮されている。	
3. 発達段階への考慮	○文章はわかりやすく、簡潔な記述であり、分量とともに児童の発達段階に考慮した内容となっている。 ○写真、挿絵、図、表などの資料について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。	
4. 組織・配列	○すべての学年で目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。また、系統的な学習が進められるよう配慮されている。また、学習内容によっては、SDGs との関連性も示されている。 ○効果的な指導が行われるよう、写真、挿し絵、図、表等が適切に配置されている。	

	各ページの下部にある『つぶやきくん』のキャラクターが、問いかけやアドバイスをを行っている。
5. 学び方の工夫	○各単元に設定されたデジタルコンテンツで、児童自らの興味・関心に応じた学びができるとともに、他者に伝える活動を提示することで、対話的な学習となるよう促している。 ○自分の生活を振り返る活動や、「呼吸法」、「けがの手当て」など、具体的な体験を通して主体的に学ぶことができるように工夫されている。 ○「本時のMenu」で課題を示し、「Mission1・2」「学習のまとめ」で学習活動が示され、見通しをもって課題を解決できるよう工夫されている。また、「Clear」「Complete」などの表示で、次の学習への意識づけができるよう工夫されている。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ったり、学んだことを生活に生かしたりすることができるよう配慮されている。 ○「Episode」「もっと考えよう課」では、学習したことを補充したり発展させたりする内容が取り扱われている。また、二次元コードから、動画などのデジタルコンテンツが活用できる。「実験」「実習」については、イラストや写真、動画等で確認できるなど技能の習得も工夫されている。

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査の報告について

種 目	保健
-----	----

	所 属	職 名	氏 名
調 査 員	代表 殿山第二小学校	校長	山本 容子
	山之上小学校	教頭	下司 順平
	香陽小学校	教諭	堀岡 智子

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
光文書院	小学保健	渡邊 正樹 ほか16名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○「みつける」「知る」「生かす」の内容で構成されており、知識・技能を習得できる内容が取りあげられている。 ○話し合いの活動を促す「話し合おう」の活動が、わかりやすい図や表、写真などを取り入れながら提示されており、他者と話し合い、考えを深め、表現する活動ができるようになっている。 ○単元末の「学んだことを生かそう」では、学習したことを自分の生活と結びつけて考える活動が設定され、健康の保持増進をめざすように扱われている。	
2. 人権の取扱い	○人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。また、「さらに広げよう深めよう」では「性」についてのなやみなどが取りあげられている。 ○すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、UDフォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。	
3. 発達段階への考慮	○文章はわかりやすく、簡潔な記述であり、分量とともに児童の発達段階に考慮した内容となっている。 ○写真、挿絵、図、表などの資料について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。	
4. 組織・配列	○すべての学年で目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。また、「教科・学年マーク」「はってん」で他学年や他教科等とのつながりが示されており、系統的な学習が進められるよう配慮されている。また、巻末にSDGs つてなんだろうと項を起こし考えさせるように配慮されている。 ○写真、挿絵、図、表などを活用し、効果的な指導が行われる構成となっている。「まめちしき」や「解説」で、学習内容に関連する知識が紹介されている。	

5. 学び方の工夫	○各単元に設定されたデジタルコンテンツで、児童自らの興味・関心に応じた学びができるとともに、他者に伝える活動を提示することで、対話的な学習となるよう促している。 ○「やってみよう」での体ほぐしの運動やけがの手当ての実習、腹式筋のストレッチする活動など、具体的な体験を伴う活動が取り扱われている。 ○導入では、「見つけよう」で児童自身がふり返るところから入り、課題を提示し、「調べよう」「考えよう」「話し合おう」「生かそう 伝えよう」という学習過程の中で、児童自身が、より主体的に課題解決する学習活動が取り上げられている。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○学習した内容を確実に習得できるよう、学習内容や過程などを振り返ったり、学んだことを生活に生かしたりするための資料やコラムが取り扱われている。 ○「もっと広げよう 深めよう」のページや「この人に聞く」「科学のとびら」コーナーがあり、発展的な学習について取り上げている箇所が多くある。また、「がんのことを知ろう」と題し、がんの予防や検診のことについて発展的な学習として取り扱っている。

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査の報告について

種 目	保健		所 属	職 名	氏 名
		調 査 員	代表 殿山第二小学校	校長	山本 容子
			山之上小学校	教頭	下司 順平
			香陽小学校	教諭	堀岡 智子

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
学研	新・みんなの保健	森 昭三 ほか23名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○一時間の学習スタイルを 3 ステップ（例えば 1 くらべる・振り返る、2 話し合う、3 学びをいかす）でまとめられていて、必要な知識・技能を習得するための授業構成が図られている。 ○「話し合おう」「理由を説明する」「意見を出し合おう」など、話し合い活動を豊富に取り入れており、思考・判断したことを友だちに伝える工夫がされている。 ○単元末の「ふり返る」「伝える」「つなぐ」では、自分の生活を見直す活動が設けられ、気づいたことや考えたこと、わかったことを書きこみ、その活動を通して自身の生活をふり返り、健康の保持増進を意識して生活を送るように取り扱われている。	
2. 人権の取扱い	○文章、写真、挿絵、グラフ等の資料など、人権尊重の観点から配慮された内容となっている。発展しりょう「共に生きる社会に向けて」では、誰もが安心して生活できる社会の実現をめざすことの必要性が示されている。 ○すべての児童にとってわかりやすく使いやすいように、文字はUDフォントを使用し、文字の大きさやレイアウトや図の配色など配慮されている。	
3. 発達段階への考慮	○文章はわかりやすく、簡潔な記述であり、分量とともに児童の発達段階に考慮した内容となっている。 ○写真、挿絵、図、表などの資料について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。	
4. 組織・配列	○すべての学年で、学年の学習目標や内容を踏まえた構成になっている。また、教科等横断的な視点も織り交ぜて、効果的・系統的な指導が行われるよう組織・配列されている。また、「共に生きる社会に向けて」のしりょうを掲載し、発展学習としてSDGsへの理解が進むように配慮されている。 ○内容に応じたわかりやすい挿絵や写真、考えやすい図や資料が示されている。ま	

	た、「不安やなやみへの対処」では、様々な悩みの事例に、イラスト上のスクールカウンセラーが答えてくれる場面があり、問題点をイメージしやすく、その解決のために前向きに考えることができるように工夫されている。
5. 学び方の工夫	○各単元に設定されたデジタルコンテンツで、児童が主体的に調べ学習ができ、学んだことを「調べる・話し合う」等の提示で友だちに伝える活動を意欲的に行い、互いに対話的な学習になるよう促している。 ○「体ほぐしの運動」「1日着た下着のよごれ」「犯罪による被害を防止するため」など、具体的な事柄の提示や体験・実験することでより自分事として考えるように工夫されている。 ○「課題をつかむ」「体験や実験、調べ活動」「話し合い活動」「活用」というように構成されており、本に書き込みをしながら自分で考え、判断し、生活に活かしていくように工夫されている。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ったり、学んだことを生活に生かしたりすることができるよう配慮されている。 ○「もっと！ 知りたい・調べたい」ページでは、現在社会の問題などを多く提示し、必要に応じて「シミュレーションする」の二次元コードの提示で児童が主体的に動画やイラスト、写真などで確認できるように工夫されている。このことは、技能の習得につながるものと思われる。

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査の報告について

種 目	道徳
-----	----

	所 属	職 名	氏 名
調 査 員	代表 明倫小学校	校長	嶋田 崇
	蹉跎小学校	教頭	中野 洋子
	樟葉小学校	指導教諭	山村 祐子



令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
東京書籍	新編 新しい道徳	谷田 増幸 和井内 良樹 ほか111名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○教材の冒頭に主題があり、教材のレイアウトが授業の展開に合わせて構成されている。教材末尾にある「考えよう」の設問例を通して、考えを深められるよう取り扱われており、「つながる、広がる」では、これからの生活にどうかしていくかが考えられるよう取り扱われている。 ○自己の生き方について、児童が深く考えることができるよう取り扱われている。例えば、児童と同じ年頃や親しみを持てる登場人物を描いた教材、様々な分野で活躍する著名人、スポーツ選手などの教材が取りあげられている。	
2. 人権の取扱い	○様々な教材を通して、人権尊重について認識を深めるとともに、人間としての在り方や生き方について考えを深められるよう配慮されている。例えば、6年では、ダイバーシティ、国際理解、福祉や障がい、いじめなどについて取りあげられている。また、1年最初の教材では、学校の児童を表すイラストにおいて、現代の多様な社会を配慮して表している。 ○人権尊重の観点から文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。また、すべての児童にとって使いやすいように、フォントや大きさ、配色などについても配慮されている。 ○全学年でいじめについて取り扱われている。いじめの場面を直接的に扱う教材と、関係する価値から間接的に考える教材、コラム「つながる・広がる」を組み合わせたユニット構成されており、多面的・多角的にいじめの防止について考えられるように工夫されている。	
3. 発達段階への考慮	○発達段階や特性を考慮し、指導のねらいに即した内容となっている。例えば、動物が主人公の物語教材、児童の生活場面の教材、偉人など人物の生き方の教材等を通して、自己の生き方について考えるなど、児童にとってより考えやすいよう配慮されている。また、1年の入門期には文章量を減らした教材にしている。 ○安全やいじめ、情報モラルなどが発達段階を考慮して取り扱われており、教材末尾の設問例を通して、身近な課題を自分との関係において考え、解決しようとする	

	る意欲や態度を養うよう配慮されている。
4. 組織・配列	○各学年とも、教材が4つの視点でバランスよく組織・配列されている。また、各学年において他教科等や現代的な課題等との関連を意識した教材が配置されている。 ○児童が意欲的に考えたり、教材の理解がしやすくなったりするよう、漫画や絵本、各ページの挿絵・写真などが配置されている。
5. 学び方の工夫	○二次元コードにより動画、すべての教材（1年の最初の教材を除く）で朗読音声や紙芝居などを掲載することで個別最適な学びを充実させ、児童の特性に合わせて教材提示の方法を選択できるとともに、「問題を見つけて考えよう」において協働的な学びが充実するように工夫されている。 ○教材ごとのデジタルノートや学期ごとの「学習の記録」が設けられ、学習を振り返ったり、これからの課題や目標を見つけたりすることができるよう工夫されている。 ○問題解決的な学習を取り入れた「問題を見つけて考えよう」や、体験的な学習を取り入れた「演じて考えよう」が設けられ、各学年において多様な学習が展開できるよう工夫されている。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○教材の末尾や二次元コードで教材と関連する資料等が示されており、「つながる・広がる」「考えよう」などでは、他教科との関連や日常生活とのつながりなどについて考えることによって、学んだことを更に深く心にとどめたり、これからへの思いや課題について考えたりすることができるよう配慮されている。

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査の報告について

種 目	道徳
-----	----

	所 属	職 名	氏 名
調 査 員	代表 明倫小学校	校長	嶋田 崇
	蹉跎小学校	教頭	中野 洋子
	樟葉小学校	指導教諭	山村 祐子



令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
教育出版	小学道徳 はばたこう明日へ	林 泰成 柳沼 良太 鈴木 健二 ほか36名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○教材の冒頭に主題や問いかけがあり、教材のレイアウトが授業の展開に合わせて構成されている。教材末尾にある「考えよう」「深めよう」の設問例を通して、考えを深められるよう取り扱われており、「つなげよう」では、これからの生活にどうかしていくかが考えられるよう取り扱われている。 ○自己の生き方について、児童が深く考えることができるよう取り扱われている。例えば、児童と同じ年頃や親しみを持てる登場人物を描いた教材、様々な分野で活躍する著名人、スポーツ選手などの教材が取りあげられている。	
2. 人権の取扱い	○様々な教材を通して、人権尊重について認識を深めるとともに、人間としての在り方や生き方について考えを深められるよう配慮されている。例えば、6年では、世界人権宣言、国際理解、福祉や障がい、いじめなどについて取りあげられている。また、1年最初の教材では、学校の児童を表すイラストにおいて、現代の多様な社会を配慮して表している。 ○人権尊重の観点から文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。また、すべての児童にとって使いやすいように、フォントや大きさ、配色などについても配慮されている。 ○全学年でいじめについて取り扱われており、重点テーマとしてユニット構成されている。児童それぞれがしっかりと向き合って考えることができるように工夫されている。	
3. 発達段階への考慮	○発達段階や特性を考慮し、指導のねらいに即した内容となっている。例えば、動物が主人公の物語教材、児童の生活場面の教材、偉人など人物の生き方の教材等を通して、自己の生き方について考えるなど、児童にとってより考えやすいよう配慮されている。 ○命やいじめ、情報モラルなどが発達段階を考慮して取り扱われており、教材末尾の設問例を通して、身近な課題を自分との関係において考え、解決しようとする意欲や態度を養うよう配慮されている。	

4. 組織・配列	○各学年とも、教材が4つの視点でバランスよく組織・配列されている。また、各学年において他教科等や現代的な課題等との関連を意識した教材が配置されている。 ○児童が意欲的に考えたり、教材の理解がしやすくなったりするよう、漫画や絵本、各ページの挿絵・写真などが配置されている。
5. 学び方の工夫	○二次元コードにより資料やコラム、ほぼすべての教材の解説などを掲載することで個別最適な学びを充実させるとともに、「考えよう」において協働的な学びが充実するように工夫されている。 ○教材ごとの振り返りや学期ごと、1年間の学習を記録するワークシートが設けられ、学習を振り返ったり、これからの課題や目標を見つけたりすることができるよう工夫されている。 ○問題解決的な学習を取り入れた「問題を解決しよう」や、体験的な学習を取り入れた「やってみよう」が設けられ、各学年において多様な学習が展開できるよう工夫されている。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○教材の末尾や二次元コードで教材と関連する資料等が示されており、「つなげよう」「深めよう」などでは、他教科との関連や日常生活とのつながりなどについて考えることによって、学んだことを更に深く心にとどめたり、これからへの思いや課題について考えたりすることができるよう配慮されている。

種 目	道 徳		所 属	職 名	氏 名
		調 査 員	代表 明倫小学校	校長	嶋田 崇
			蹉跎小学校	教頭	中野 洋子
			樟葉小学校	指導教諭	山村 祐子

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
光村図書	道徳 きみが いちばん ひかるとき	赤坂 真二 ほか 31 名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○教材の冒頭に主題や問いかけがあり、教材のレイアウトが授業の展開に合わせて構成されている。教材末尾にある「考えよう・話し合おう」での設問例を通して、考えを深められるよう取り扱われており、「つなげよう」では、これからの生活にどういかしていくかが考えられるよう取り扱われている。 ○自己の生き方について、児童が深く考えることができるよう取り扱われている。例えば、児童と同じ年頃や親しみを持てる登場人物を描いた教材、様々な分野で活躍する著名人、スポーツ選手などの教材が取りあげられている。	
2. 人権の取扱い	○様々な教材を通して、人権尊重について認識を深めるとともに、人間としての在り方や生き方について考えを深められるよう配慮されている。例えば、6 年では、世界人権宣言、国際理解、福祉や障がい、いじめなどについて取りあげられている。また、1 年最初の教材では、学校の児童を表すイラストにおいて、現代の多様な社会を配慮して表している。 ○人権尊重の観点から文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。また、すべての児童にとって使いやすいように、フォントや大きさ、配色などについても配慮されている。 ○全学年でいじめについて取り扱われており、様々な内容項目から「いじめ問題」に結び付く教材とコラムを組み合わせたユニット構成されている。「いじめ」をしない、させない、見過ごさない力が系統的に育成されるように工夫されている。	
3. 発達段階への考慮	○発達段階や特性を考慮し、指導のねらいに即した内容となっている。例えば、動物が主人公の物語教材、地域や公共の場面の教材、偉人など人物の生き方の教材等を通して、自己の生き方について考えるなど、児童にとってより考えやすいよう配慮されている。また、1 年の入門期には文章量を減らした教材にしている。 ○命やいじめ、情報モラルなどが発達段階を考慮して取り扱われており、教材末尾の設問例を通して、身近な課題を自分との関係において考え、解決しようとする意欲や態度を養うよう配慮されている。	

4. 組織・配列	○各学年とも、1年間を3つのまとまりに分け、教材が4つの視点でバランスよく組織・配列されている。また、各学年において他教科等や現代的な課題等との関連を意識した教材が配置されている。 ○児童が意欲的に考えたり、教材の理解がしやすくなったりするよう、漫画や絵本、各ページの挿絵・写真などが配置されている。
5. 学び方の工夫	○二次元コードにより資料、動画、朗読音声などを掲載することで個別最適な学びを充実させるとともに、「考えよう・話し合おう」において協働的な学びが充実するように工夫されている。 ○教材ごとの「学びの記録」が設けられ、学習を振り返ったり、これからの課題や目標を見つけたりすることができるよう工夫されている。 ○問題解決的な学習を取り入れた「考えよう・話し合おう」「つなげよう」や、体験的な学習を取り入れた「演じて考えよう」が設けられ、各学年において多様な学習が展開できるよう工夫されている。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○教材の末尾や二次元コードで教材と関連する資料等が示されており、「つなげよう」「考えよう・話し合おう」などでは、他教科との関連や日常生活とのつながりなどについて考えることによって、学んだことを更に深く心にとどめたり、これからへの思いや課題について考えたりすることができるよう配慮されている。

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査の報告について

種 目	道 徳
-----	-----

	所 属	職 名	氏 名
調 査 員	代表 明倫小学校	校長	嶋田 崇
	蹉跎小学校	教頭	中野 洋子
	樟葉小学校	指導教諭	山村 祐子

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
日本文教出版	小学道徳 生きる力 / 道徳ノート	藤永 芳純 島 恒生 ほか106名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○教材の冒頭に主題のキーワード・リード文や問いかけがあり、教材のレイアウトが授業の展開通りに構成されている。教材末尾にある「考えてみよう」の設問例や「ぐっと深める」を通して、考えを深められるよう取り扱われており、「見つめよう 生かそう」では、これからの生活にどういかしていくかが考えられるよう取り扱われている。 ○自己の生き方について、児童が深く考えることができるよう取り扱われている。例えば、児童と同じ年頃や親しみを持てる登場人物を描いた教材、様々な分野で活躍する著名人、スポーツ選手などの教材が取りあげられている。	
2. 人権の取扱い	○様々な教材を通して、人権尊重について認識を深めるとともに、人間としての在り方や生き方について考えを深められるよう配慮されている。例えば、6年では、世界人権宣言、国際理解、福祉や障がい、いじめなどについて取りあげられている。 ○人権尊重の観点から文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。また、すべての児童にとって使いやすいように、フォントや大きさ、配色などについても配慮されている。 ○全学年でいじめについて取り扱われており、いじめを「間接的に扱った教材」「直接的に扱った教材」、いじめ防止コラムを組み合わせ、集中的に扱うユニット構成とすることで、多面的・多角的な視点等で考えられるよう工夫されている。	
3. 発達段階への考慮	○発達段階や特性を考慮し、指導のねらいに即した内容となっている。例えば、動物が主人公の物語教材、地域や公共の場面の教材、偉人など人物の生き方の教材等を通して、自己の生き方について考えるなど、児童にとってより考えやすいよう配慮されている。 ○安全やいじめ、情報モラルなどが発達段階を考慮して取り扱われており、教材末尾の設問例を通して、身近な課題を自分との関係において考え、解決しようとする意欲や態度を養うよう配慮されている。	

4. 組織・配列	○各学年とも、教材が4つの視点でバランスよく組織・配列されるとともに、複数のふろくが設けられている。また、各学年において他教科等や現代的な課題等との関連を意識した教材が配置されている。 ○児童が意欲的に考えたり、教材の理解がしやすくなったりするよう、漫画や絵本、各ページのリード文・挿絵・写真などが配置されている。
5. 学び方の工夫	○二次元コードにより資料や動画、すべての教材で朗読音声などを掲載することで個別最適な学びを充実させるとともに、「考えてみよう」において協働的な学びが充実するように工夫されている。 ○教材ごとや学期ごとの学習を記録するワークシートが別冊『道徳ノート』（冊子及びデジタル）として付属されており、学習を振り返ったり、これからの課題や目標を見つけたりすることができるよう工夫されている。 ○問題解決的な学習や体験的な学習を取り入れた「ぐっと深める」が設けられ、各学年において多様な学習が展開できるよう工夫されている。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○教材の末尾や二次元コードで教材と関連する資料等が示されており、「心のベンチ」「見つめよう・生かそう」などでは、他教科との関連や日常生活とのつながりなどについて考えることによって、学んだことを更に深く心にとどめたり、これからへの思いや課題について考えたりすることができるよう配慮されている。

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査の報告について

種 目	道 徳		所 属	職 名	氏 名
		調 査 員	代表 明倫小学校	校長	嶋田 崇
			蹉跎小学校	教頭	中野 洋子
			樟葉小学校	指導教諭	山村 祐子

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
光文書院	小学道徳 ゆたかな心	加藤 宣行 土田 雄一 ほか54名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○教材の冒頭に主題や問いかけがあり、教材のレイアウトが授業の展開に合わせて構成されている。教材末尾にある「かんがえよう」「まとめよう」の設問例を通して、考えを深められるよう取り扱われており、「ひろげよう」では、これからの生活にどういかしていくかが考えられるよう取り扱われている。 ○自己の生き方について、児童が深く考えることができるよう取り扱われている。例えば、児童と同じ年頃や親しみを持てる登場人物を描いた教材、様々な分野で活躍する著名人、スポーツ選手などの教材が取りあげられている。	
2. 人権の取扱い	○様々な教材を通して、人権尊重について認識を深めるとともに、人間としての在り方や生き方について考えを深められるよう配慮されている。例えば、6年では、ダイバーシティ、国際理解、福祉や障がい、いじめなどについて取りあげられている。また、1年最初の教材では、学校の児童を表すイラストにおいて、現代の多様な社会を配慮して表している。 ○人権尊重の観点から文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。また、すべての児童にとって使いやすいように、フォントや大きさ、配色などについても配慮されている。 ○全学年でいじめについて取り扱われており、発達段階を踏まえながらいじめについて、直接的・間接的に考えられる教材を選定し、様々な観点から「いじめを生まない心」について、考えを深められるよう工夫されている。	
3. 発達段階への考慮	○発達段階や特性を考慮し、指導のねらいに即した内容となっている。例えば、児童の生活場面の教材、伝統や文化の教材、偉人など人物の生き方の教材等を通して、自己の生き方について考えるなど、児童にとってより考えやすいよう配慮されている。 ○持続可能な発展やいじめ、情報モラルなどが発達段階を考慮して取り扱われており、教材末尾の設問例を通して、身近な課題を自分との関係において考え、解決しようとする意欲や態度を養うよう配慮されている。	

4. 組織・配列	○各学年とも、教材が4つの視点でバランスよく組織・配列されるとともに、複数の選択教材が設けられている。また、各学年において他教科等や現代的な課題等との関連を意識した教材が配置されている。 ○児童が意欲的に考えたり、教材の理解がしやすくなったりするよう、漫画や絵本、各ページの挿絵・写真などが配置されている。
5. 学び方の工夫	○二次元コードにより資料や音楽、動画などを掲載することで個別最適な学びを充実させるとともに、「話し合ってみよう」において協働的な学びが充実するように工夫されている。 ○教材ごとや学期ごとの「学びの足あと」が設けられ、学習を振り返ったり、これからの課題や目標を見つけたりすることができるよう工夫されている。 ○問題解決的な学習を促す巻頭のオリエンテーションや、体験的な学習を取り入れた「みんなでやってみよう」が設けられ、各学年において多様な学習が展開できるよう工夫されている。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○教材の末尾や二次元コードで教材と関連する資料等が示されており、「ひろげよう」「へこんでも立ち直る」などでは、他教科との関連や日常生活とのつながりなどについて考えることによって、学んだことを更に深く心にとどめたり、これからへの思いや課題について考えたりすることができるよう配慮されている。

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査の報告について

種 目	道徳
-----	----

	所 属	職 名	氏 名
調 査 員	代表 明倫小学校	校長	嶋田 崇
	蹉跎小学校	教頭	中野 洋子
	樟葉小学校	指導教諭	山村 祐子

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
学研	新版 みんなの道徳	永田 繁雄 ほか37名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○自己の考え方や道徳的価値と向き合うために、教材の冒頭にはキーフレーズのみを掲載する構成になっている。教材末尾にある「考えよう」の設問例や「心のパスポート」を通して、考えを深められるよう取り扱われており、「深めよう」では、これからの生活にどういかしていくかが考えられるよう取り扱われている。 ○自己の生き方について、児童が深く考えることができるよう取り扱われている。例えば、児童と同じ年頃や親しみを持てる登場人物を描いた教材、様々な分野で活躍する著名人、スポーツ選手などの教材が取りあげられている。	
2. 人権の取扱い	○様々な教材を通して、人権尊重について認識を深めるとともに、人間としての在り方や生き方について考えを深められるよう配慮されている。例えば、6年では、子どもの権利条約、国際理解、福祉や障がい、いじめなどについて取りあげられている。 ○人権尊重の観点から文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。また、すべての児童にとって使いやすいように、フォントや大きさ、配色などについても配慮されている。 ○全学年でいじめについて取り扱われており、年間を通してバランスよく「いじめ防止」に関連する教材、様々な内容項目の教材を配置し、いじめを生まない心について、多面的・多角的な視点から自分との関わりで考えを深められるよう工夫されている。	
3. 発達段階への考慮	○発達段階や特性を考慮し、指導のねらいに即した内容となっている。例えば、動物が主人公の物語教材、全学年でオリジナルキャラクターが主人公となって登場し、成長していく児童の生活場面の教材、偉人など人物の生き方の教材等を通して、自己の生き方について考えるなど、児童にとってより考えやすいよう配慮されている。 ○命やいじめ、情報モラルなどが発達段階を考慮して取り扱われており、教材末尾の設問例を通して、身近な課題を自分との関係において考え、解決しようとする	

	意欲や態度を養うよう配慮されている。
4. 組織・配列	○各学年とも、教材が4つの視点でバランスよく組織・配列されている。また、各学年において他教科等や現代的な課題等との関連を意識した教材が配置されている。 ○児童が意欲的に考えたり、教材の理解がしやすくなったりするよう、漫画や絵本、各ページのキーフレーズ・挿絵・写真などが配置されている。
5. 学び方の工夫	○二次元コードにより資料や動画などを掲載することで個別最適な学びを充実させるとともに、「考えよう」において協働的な学びが充実するように工夫されている。 ○1年間の学習を振り返る「つなげよう 広げよう」が設けられ、学習を振り返ったり、これからの課題や目標を見つけたりすることができるよう工夫されている。 ○問題解決的な学習を取り入れた「深めよう」や、体験的な学習を取り入れた「心のパスポート」が設けられ、各学年において多様な学習が展開できるよう工夫されている。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○教材の末尾や二次元コードで教材と関連する資料等が示されており、「心のパスポート」「考えよう」などでは、教材とつなげて考えたり、日常生活とのつながりなどについて考えることによって、学んだことを更に深く心にとどめたり、これからへの思いや課題について考えたりすることができるよう配慮されている。

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査の報告について

種 目	外国語
-----	-----

	所 属	職 名	氏 名
調 査 員	代表 磯島小学校	校長	鈴木 秀和
	樟葉南小学校	教頭	近藤 美佐
	樟葉南小学校	教諭	小島 陽子

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
東京書籍	NEW HORIZON Elementary English Course / My Picture Dictionary	アレン玉井光江 阿野 幸一 濱中 紀子 ほか83名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○ 言語や文化を理解する内容が適切に取りあげられている。各単元では、音声で英語に慣れ親しんだ後、実際にコミュニケーションを行う活動が取り扱われており、基礎的な技能が身につく内容となっている。 ○目的・場面・状況を伴った言語活動が意識されており、新設された Your Plan で整理した「自分が伝えたい内容」を Enjoy Communication のコミュニケーション活動に活かす内容となっている。 ○主体的に英語を用いてコミュニケーションを図る内容が取りあげられている。「Check Your Steps」は、既習事項を活用し、主体的に活動できる内容となっている。	
2. 人権の取扱い	○内容、文章、挿絵、図、資料等全般に渡って人権尊重の観点からの配慮が見られる。 ○国際理解を深め、国際協調の精神を養うことができるよう配慮されている。例えば、様々な国や人種、性別や服装、身体的な特徴に偏りが無いよう配慮されている。 ○文章、写真、挿絵、図、資料などが、すべての児童に見やすく、使いやすいよう取り扱われている。例えば、配色やフォント、4 線ノートの幅や線種・基線の色使いなど、配慮されている。また、デジタル教科書では、漢字にルビふりの設定ができるよう工夫されている。	
3. 発達段階への考慮	○児童の発達段階に即して、興味・関心をもって学習を進められるように工夫されている。例えば 5 年では、自己紹介、好きなことについて、誕生日、できることについて、身近な人について、道案内、注文の仕方、観光案内、あこがれの人などについて、6 年では、自己紹介、日常生活、週末にしたこと、行きたい国、世界とのつながり、生き物のためにできること、小学校の思い出、中学校生活・将来の夢などについての題材が取り扱われている。 ○新出言語教材の分量や掲示の仕方について、児童の発達段階を考慮している。	

	例えば、自己紹介場面のページでは、5年で、「Nice to meet you.」「I' m ～.」「My name is ～.」「I like ～.」「How do you spell your name your name?」など、6年で、「I' m ～.」「I' m from ～.」「What subject do you like?」「I like ～.」「I' m good at ～.」「My treasure is ～.」「It' s from ～.」などの表現を扱っている。単語は、食べ物、動物名、スポーツ名、国名などが扱われており、リスニングやアクティビティの中で取りあげられている。
4. 組織・配列	○目標や内容を踏まえて、教科など横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。また、短時間学習での扱いも例示されている。 ○5年「日本」、6年「世界」をテーマに各単元は「Starting Out」「Your Turn」「Enjoy Communication」「Over the Horizon」という構成になっており、はじめに「聞く」活動を多く取り上げ、その後に「話す（やり取り・発表）」「読む・書く」活動を設け、アウトプットの前に十分なインプットを取り入れたスモールステップで構成されている。「内容に慣れ親しむ」「定着を図る」「コミュニケーションを楽しむ」「世界の文化を知る」と流れが示されており、児童の意欲を高める構成になっている。 ○言語の使用場面は、自己紹介、身近な人の紹介、道案内、食事・買い物、日本の紹介、憧れの人紹介、日常生活、行きたい国の紹介、世界とのつながり、小学校の思い出紹介、中学校生活や将来の夢の発表など、身近な教材が取り上げられている。また、言語の働きは、「質問する」「説明する」「発表する」などが取り扱われている。 ○各単元、最初に絵や写真が配置されている。また、活動ごとに、本文・写真・挿絵・図・表などが効果的に配置され、活動に沿ったマークが示されている。
5. 学び方の工夫	○別冊「My Picture Dictionary」で、自分の伝えたいことに合わせて語彙などを調べることができる。デジタル教科書では、自分で見たり聞いたり調べたりすることができるよう歌、音声、映像などが用意されている。また、音声の再生速度を調整できるほか、思考ツールを選択してワークシートを作成する機能などが備えられている。各単元の「Your Turn」「Enjoy Communication」などで、ペア・ワークやグループ・ワークが設定され、児童同士の学び合いを促すことができる。 ○5年冒頭の「Let' s start!」では、見開きにてイラストが示され、外国語活動で学習した内容を復習できるように配慮されている。また、二次元コードを読み取ることで、語彙や表現を音声で聞くことができるよう工夫されている。 ○各unitの紙面上での活動位置が固定化されており、児童が見通しを持って学習できるように工夫されている。 ○QRコード付きの「My Picture Dictionary」が別冊であることで、家庭でのシームレスな学習が可能となる。また、英作文を作る上で使いたい英単語を絵から探すこともできる。 ○「Enjoy communication」では、ペアでたずね合ったり、伝え合ったりするように設定されており協働的な学びができる工夫がある。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○各単元の中に「ふり返し」のコーナーがあり、学習したことについて顔マークに印をつけたり記述したりすることで振り返ることができる。また、各単元の「Let' s Try」などで友だちに意見を伝えるなど、実際のコミュニケーションに活用することができる。二次元コードでは、各単元のチャンツや歌、映像を見て予習・復習をすることができる。 ○6年で、小学校での思い出、将来の夢や中学校でしたいことなどを友だちに伝え

	合う場面が設定されており、中学校への接続を意識した内容になっている。また、中学校の学習内容の紹介もされている。 ○6年生のunit6ではSDGsに関連しており、教科を横断した学習が可能となっている。 ○各単元の最後に「Over the Horizon」のコーナーが設けられている。「Over the Horizon」ではQRコードを利用し異文化や多文化共生への理解を深めることができるように工夫されている。
7. デジタル教材への対応	○タブレット端末での使用（タッチパネル）に対応したデジタル教科書あり。 ○My Picture Dictionaryとの併用を想定した2画面表示機能あり。 ○QRコードによるデジタル教材（ドリル、動画、音声）へのリンクあり。 ○シークバー表示、字幕機能あり。学習者がリピートする「間」を設定。

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査の報告について

種 目	外国語
-----	-----

	所 属	職 名	氏 名
調 査 員	代表 磯島小学校	校長	鈴木 秀和
	樟葉南小学校	教頭	近藤 美佐
	樟葉南小学校	教諭	小島 陽子

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
開隆堂	Junior Sunshine	萬谷 隆一 大城 賢 粕谷 恭子 ほか77名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○ 言語や文化を理解する内容が適切に取りあげられている。各单元では、音声で英語に慣れ親しんだ後、実際にコミュニケーションを行う活動が取り扱われており、基礎的な技能が身につく内容となっている。 ○ 目的や場面、状況などに応じて、自分の考えや気持ちなどを伝え合う内容が取りあげられている。例えば、「Activity」では、学習した表現を使って、コミュニケーション活動を行う内容となっている。 ○ 主体的に英語を用いてコミュニケーションを図る内容が取りあげられている。学んだ表現を用いて自分自身の考えや気持ちを表現するLet's TryやSmall Talkが設定されており、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ったり学びへの意欲を高めたりする工夫が見られる。	
2. 人権の取扱い	○ 内容、文章、挿絵、図、資料等全般に渡って人権尊重の観点からの配慮が見られる。 ○ 国際理解を深め、国際協調の精神を養うことができるよう配慮されている。世界の国々や人々についての題材が豊富な写真資料とともに扱われており、様々な価値観に気づき、違いを認め合う力を養う構成となっている。 ○ 文章、写真、挿絵、図、資料などが、すべての児童に見やすく、使いやすいよう取り扱われている。例えば、配色やフォント、4線ノートの幅や線種・基線の色使いなど、配慮されている。また、デジタル教科書では、漢字にルビふりの設定ができるよう工夫されている。	
3. 発達段階への考慮	○ 児童の発達段階に即して、興味・関心をもって学習を進められるように工夫されている。例えば5年では、自己紹介、誕生日、時間割、自分のできること・できないことについて、道案内、注文の仕方、町紹介、得意なことなどについて、6年では、自己紹介、日本の紹介、理想のスケジュール、夏休みの思い出、世界の国々、小学校生活の思い出、将来の夢、中学校生活などについての題材が取り扱われている。 ○ 新出言語教材の分量や掲示の仕方について、児童の発達段階を考慮している。例えば、自己紹介場面のページでは、5年で、「Nice to meet you.」「My name is ～.」「I like/have ～.」「How do you spell your name your name?」「Do	

	you like ～?」「What do you like?」など、6年で、「I 'm ～.」「I' m from～.」「What animal do you like/have/want?」「I can ～.」「I' m good at～.」「When is your birthday?」などの表現を扱っている。単語は、食べ物、色、動物名、スポーツ名、国名などが扱われており、リスニングやアクティビティの中で取りあげられている。
4. 組織・配列	○目標や内容を踏まえて、教科など横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。また、短時間学習での扱いも例示されている。 ○各単元は、「Let' s Watch and Think」「Let' s play」「Let' s Listen」で英語をたっぷり聞き、何度も使ってみる構成に、「Let' s Listen and Read」「Let' s Read」では音声で親しんだ英語と文字を結び付け、「Let' s Write」で手本や例文を見ながら各表現へとつなげている。また、「Let' s Try」「Activity」で実際に英語を使う活動を行い、学びを豊かに、確かにしながら、児童の意欲を高める構成になっている。 ○言語の使用場面は、自己紹介、学校生活や教科、道案内、食事・買い物、町紹介、憧れの人紹介、日本の紹介、夏休みの思い出紹介、行きたい国の発表、小学校の思い出紹介、将来の夢の発表、中学校でしたいことの発表など、身近な教材が取り上げられている。また、言語の働きは、「質問する」「説明する」「発表する」などが取り扱われている。 ○各単元、最初に絵や写真が配置されている。また、活動ごとに、本文・写真・挿絵・図・表などが効果的に配置され、活動に沿ったマークが示されている。
5. 学び方の工夫	○巻末「5年（6年）で学習した表現のまとめ」や別冊「Word Book」で、自分の伝えたいことに合わせて語彙などを調べることができる。デジタル教科書では、自分で見たり聞いたり調べたりすることができるよう歌、音声、映像などが用意されている。また、音声の再生速度を調整できるほか、文字の読み上げ時のハイライト機能などが備えられている。各単元の「Let' s Try」「Activity」などで、ペア・ワークやグループ・ワークが設定され、児童同士の学び合いを促すことができる。 ○5年冒頭の「Let' s Review!」では、見開きにてイラストや英文が示され、外国語活動で学習した内容を復習できるように配慮されている。また、QRコードを読み取ることで、語彙や表現を音声で聞くことができるよう工夫されている。 ○各unitが8時間構成で固定化されており、児童が見通しを持って学習できるように工夫されている。 ○QRコード付きの「Word Book」が別冊であることで、家庭でのシームレスな学習が可能となる。また、英作文を作る上で使いたい英単語を絵から探すこともできる。 ○「Let' s try」では、ペアでたずね合ったり、伝え合ったりするように設定されている。「Activity」ではグループ活動が設定されており協働的な学びを行う工夫がある。 ○巻末に全てのunit「CAN DOチェック」がまとめられており、児童が年間を通して自分の学習の成果を視覚的に捉えられる工夫がある。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○複数の単元を学習した後に「Let' s Check」のコーナーがあり、音声を聞いたりして問題に答えることで学習したことについて振り返ることができる。また、各単元の「Let' s Try」などで友だちに意見を伝えるなど、実際のコミュニケーションに活用することができる。 ○6年で、小学校での思い出、将来の夢や中学校でしたいことなどを友だちに伝え合う場面が設定されており、中学校への接続を意識した内容になっている。

	○各学期最後に「Let' s Check」があり、学期に学習した表現の復習や活用ができるようになっている。
7. デジタル教材への対応	○タブレット端末での使用（タッチパネル）に対応したデジタル教科書あり。 ○タッチによる読み上げ機能あり。（英語の語句以外の部分も含む） ○QRコードによるデジタル教材（ドリル、動画、音声）へのリンクあり。 ○速度変更可能、シークバー表示あり。 ○白黒反転、ルビ表示、ハイライト等のアクセシビリティあり。

種 目	外国語		所 属	職 名	氏 名
		調 査 員	代表 磯島小学校	校長	鈴木 秀和
			樟葉南小学校	教頭	近藤 美佐
			樟葉南小学校	教諭	小島 陽子

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
三省堂	CROWN Jr	酒井 英樹 ほか36名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○ 言語や文化を理解する内容が適切に取りあげられている。各单元では、音声で英語に慣れ親しんだ後、実際にコミュニケーションを行う活動が取り扱われており、基礎的な技能が身につく内容となっている。 ○ 目的や場面、状況などに応じて、自分の考えや気持ちなどを伝え合う内容が取りあげられている。例えば、「Let's Try」では、学習した表現を使って、コミュニケーション活動を行う内容となっている。 ○ 主体的に英語を用いてコミュニケーションを図る内容が取りあげられている。JUMPでは複数の単元で学習した内容を駆使して目的、場面、状況に応じて表現する応用的な課題が設定されている。	
2. 人権の取扱い	○ 内容、文章、挿絵、図、資料等全般に渡って人権尊重の観点からの配慮が見られる。 ○ 国際理解を深め、国際協調の精神を養うことができるよう配慮されている。世界のスポーツやまつり、仕事等について、国の偏りがないよう配慮するとともに、珍しい情報を扱うことで、興味関心を高めるとともに、違いを認め合う素地を養う機会を設定している。 ○ 文章、写真、挿絵、図、資料などが、すべての児童に見やすく、使いやすいよう取り扱われている。例えば、配色やフォント、4線ノートの幅や線種・基線の色使いなど、配慮されている。また、デジタル教科書では、漢字にルビふりの設定ができるよう工夫されている。	
3. 発達段階への考慮	○ 児童の発達段階に即して、興味・関心をもって学習を進められるように工夫されている。例えば5年では、自己紹介、教科・曜日、友達や家族の紹介、できること・得意なことについて、おすすめの場所、行きたい国などについて、6年では、友達との共通点の紹介、日本の行事、夏休みの思い出、現在と過去の変化について、小学校の思い出、将来の夢、中学生生活などについての題材が取り扱われている。 ○ 新出言語教材の分量や掲示の仕方について、児童の発達段階を考慮している。例えば、自己紹介場面のページでは、5年で、「My name is 〜.」「My birthday is 〜.」「I like/have 〜.」など、6年で、「We are from 〜.」「We like 〜.」「We can 〜.」「We want to 〜.」などの表現を扱っている。単語は、食べ物、動物名、スポーツ名、国名などが扱われており、リスニングやアクティビティの中で取りあげられてい	

	る。
4. 組織・配列	○目標や内容を踏まえて、教科など横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。また、短時間学習での扱いも例示されている。 ○各単元は、「HOP・STEP・JUMP」で学ぶプロセスを「見える化」して、見通しを持ちながら学べるようになっている。「HOP」では単元全体を見通して、自らのゴールを設定し、「STEP」では言語活動に取り組みながら、語句や表現を身に付け、「JUMP」では単元で学習した語句や表現を使って、まとめの言語活動を行うように構成されている。学んだことを何度も使え、児童の意欲を高める構成になっている。 ○言語の使用場面は、自己紹介、学校生活や教科、身近な人の紹介、お勧めの場所の紹介、行きたい国の紹介、日本の紹介、夏休みの思い出紹介、小学校の思い出紹介、将来の夢の発表、中学校でしたいことの発表など、身近な教材が取り上げられている。また、言語の働きは、「質問する」「説明する」「発表する」などが取り扱われている。 ○各単元、最初に絵や写真が配置されている。また、活動ごとに、本文・写真・挿絵・図・表などが効果的に配置され、活動に沿ったマークが示されている。
5. 学び方の工夫	○別冊「My Dictionary」で、自分の伝えたいことに合わせて語彙などを調べることができる。デジタル教科書では、自分で見たり聞いたり調べたりすることができる。歌、音声、映像などが用意されている。また、音声の再生速度を調整できるほか、自分のペースで単語を学習できる「単語ゲーム」の機能などが備えられている。各単元の「Let's Talk」「Let's Try」などで、ペア・ワークやグループ・ワークが設定され、児童同士の学び合いを促すことができる。 ○5・6年冒頭の「英語で言ってみよう」では、見開きにてイラストが示され、外国語活動で学習した内容を復習できるように配慮されている。また、QRコードを読み取ることで、語彙や表現を音声で聞くことができるよう工夫されている。 ○各unitの紙面上での活動位置が固定化されており、児童が見通しを持って学習できるように工夫されている。 ○QRコード付きの「My Dictionary」が別冊であることで、家庭でのシームレスな学習が可能となる。また、英作文を作る上で使いたい英単語を絵から探すこともできる。デジタル教材の単語クイズ等で楽しみながら単語を獲得できる工夫がある。 ○「Let's talk」では、ペアでたずね合ったり、伝え合ったりするように設定されており協働的な学びができる工夫がある。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○各単元の中に「ふりかえり」のコーナーがあり、学習したことについて顔マークに印をつけたり記述したりすることで振り返ることができる。また、各単元の「Let's Try」などで友だちに意見を伝えるなど、実際のコミュニケーションに活用することができる。二次元コードでは、各単元のチャンツや歌、映像を見て予習・復習をすることができる。 ○6年で、小学校での思い出、将来の夢や中学校でしたいことなどを友だちに伝え合う場面が設定されており、中学校への接続を意識した内容になっている。 ○他教科との関連づけられるように工夫されている題材もある。 ○各単元の最後に「Fun Box」や「Story Time」や「Hello ,World!」が設けられている。「Fun Box」では読むこと、書くことの活動を楽しみながらできる工夫がある。「Story Time」や「Hello World」では異文化への理解を深めることができるように工夫

	されている。
7. デジタル教材への対応	○タブレット端末での使用（タッチパネル）に対応したデジタル教科書あり。 ○タッチによる語句読み上げ機能あり。 ○QRコードによるデジタル教材（ドリル、動画、音声）へのリンクあり。 ○シークバー表示あり。

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査の報告について

種 目	外国語
-----	-----

	所 属	職 名	氏 名
調 査 員	代表 磯島小学校	校長	鈴木 秀和
	樟葉南小学校	教頭	近藤 美佐
	樟葉南小学校	教諭	小島 陽子

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
教育出版	ONE WORLD Smiles	金森 強 本多 敏幸 ほか41名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○ 言語や文化を理解する内容が適切に取りあげられている。各単元では、音声で英語に慣れ親しんだ後、実際にコミュニケーションを行う活動が取り扱われており、基礎的な技能が身につく内容となっている。 ○ 目的や場面、状況などに応じて、自分の考えや気持ちなどを伝え合う内容が取りあげられている。例えば、単元末のFinal Activityにおいて、読む、書く、話すの活動を包括するよう変更したことで、より統合的な言語活動をねらう工夫が見られる。 ○ 主体的に英語を用いてコミュニケーションを図る内容が取りあげられている。「Let's Read and Act」では、既習事項を活用して、主体的に活動できる内容となっている。	
2. 人権の取扱い	○ 内容、文章、挿絵、図、資料等全般に渡って人権尊重の観点からの配慮が見られる。 ○ 国際理解を深め、国際協調の精神を養うことができるよう配慮されている。例えば、祭りや行事、食文化、世界遺産などに関する題材や資料が取り扱われている。 ○ 文章、写真、挿絵、図、資料などが、すべての児童に見やすく、使いやすいよう取り扱われている。例えば、配色やフォント、4線ノートの幅や線種・基線の色使いなど、配慮されている。また、デジタル教科書では、漢字にルビふりの設定ができるよう工夫されている。 ○ 主要な登場人物に車椅子を使用する児童を設定するなど、細部に至るまで多様性を重視する意図が感じられる。	
3. 発達段階への考慮	○ 児童の発達段階に即して、興味・関心をもって学習を進められるように工夫されている。例えば5年では、自己紹介、誕生日、時間割、夢の日常生活、できることについて、行きたい場所、注文の仕方、道案内、あこがれの人などについて、6年では、自己紹介、自分の町の魅力、日本の紹介、夏休みの思い出、夢の世界ツアー、小学校の思い出、将来の夢、中学校生活についてなどの題材が取り扱われている。 ○ 新出言語教材の分量や掲示の仕方について、児童の発達段階を考慮している。例えば、自己紹介場面のページでは、5年で、「Nice to meet you.」「I 'm ~.」「My name is ~.」「Do you like ~?」「I like/have ~.」「What color do you like?」など、6年で、「Where are you from?」「I' m from ~.」「I like ~.」「I can ~.」「I' m good at ~.」「My birthday is ~.」「My favorite place is	

	～。」などの表現を扱っている。単語は、食べ物、色、動物名、スポーツ名、国名楽器名、教科名などが扱われており、リスニングやアクティビティの中で取りあげられている。
4. 組織・配列	○目標や内容を踏まえて、教科など横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。また、短時間学習での扱いも例示されている。 ○「Let's watch」で映像を見て内容をとらえ、「Let's Say It Together」で口慣らしをし、「Let's Listen」で聞く活動を行い、「Activity」での基本的なやり取りを行い、「Final Activity」で発表や発展的なやり取りとともに、「読む」「書く」活動も取り入れる構成となっている。わかりやすい豊富なインプットから無理なくアウトプットにつながる言語活動を通して、児童の意欲を高める構成になっている。 ○言語の使用場面は、自己紹介、学校生活や教科、夢の日常生活の発表、行ってみたい場所の紹介、食事・買い物、道案内、憧れの人の紹介、自分の町の紹介、日本の紹介、夏休みの思い出紹介、行きたい国の紹介、小学校の思い出紹介、将来の夢の発表、中学校でしたいことの発表など、身近な教材が取り上げられている。また、言語の働きは、「質問する」「説明する」「発表する」などが取り扱われている。 ○各単元、最初に絵や写真が配置されている。また、活動ごとに、本文・写真・挿絵・図・表などが効果的に配置され、活動に沿ったマークが示されている。
5. 学び方の工夫	○巻末「My Word Bank」で、自分の伝えたいことに合わせて語彙などを調べることができる。デジタル教科書では、自分で見たり聞いたり調べたりすることができるよう歌、音声、映像などが用意されている。また、音声の再生速度を調整できるほか、自分の発音を確認できる録音・再生機能などが備えられている。各単元の「Activity」「Final Activity」などで、ペア・ワークやグループ・ワークが設定され、児童同士の学び合いを促すことができる。 ○5・6年冒頭の「Let's Start Together」では、見開きにてイラストが示され、外国語活動で学習した内容を復習できるように配慮されている。また、QRコードを読み取ることで、語彙や表現を音声で聞くことができるよう工夫されている。 ○各Lessonの構成が同じようになっており、児童が見通しを持って学習できるように工夫されている。 ○デジタル教材では各活動のコンテンツからすぐ絵カードじてんに移動できる。 ○Final Activityではペアやグループ学習が設定されており、クラス全体で協働して行う学級活動が行える工夫がある。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○各単元の最後に「ふりかえろう」のコーナーがあり、学習したことについてクローバーの葉をめぐることで振り返ることができる。また、各単元の「Final Activity」などで友だちに意見を伝えるなど、実際のコミュニケーションに活用することができる。二次元コードでは、各単元のチャンツや歌、映像を見て予習・復習をすることができる。 ○6年で、小学校での思い出、将来の夢や中学校でしたいことなどを友だちに伝え合う場面が設定されており、中学校への接続を意識した内容になっている。 ○「World of smile」では海外の生活を身近に感じることでできる映像教材がある。また「Let's Look at the World」では世界の色々な学校の様子からSDGsに関連させ教科を横断した学習が可能となっている。 ○各学期最後に「Sounds and Letters」「Review」があり、Lessonで学習した表現の復習や活用ができるようになっている。

7. デジタル教材への対応	○タブレット端末での使用（タッチパネル）に対応したデジタル教科書あり。 ○タッチによる語句読み上げ機能あり。 ○録音・再生機能あり。 ○QRコードによるデジタル教材（ドリル、動画、音声）へのリンクあり。 ○速度変更可能、シークバー表示あり。
----------------------	--

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査の報告について

種 目	外国語
-----	-----

	所 属	職 名	氏 名
調 査 員	代表 磯島小学校	校長	鈴木 秀和
	樟葉南小学校	教頭	近藤 美佐
	樟葉南小学校	教諭	小島 陽子

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
光村図書	Here We Go!	加賀田 哲也 太田 洋 ほか44名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○ 言語や文化を理解する内容が適切に取りあげられている。各单元では、音声で英語に慣れ親しんだ後、実際にコミュニケーションを行う活動が取り扱われており、基礎的な技能が身につく内容となっている。 ○ 目的や場面、状況などに応じて、自分の考えや気持ちなどを伝え合う内容が取りあげられている。例えば、「Let's speak.」では、学習した表現を使って、コミュニケーション活動を行う内容となっている。 ○ 主体的に英語を用いてコミュニケーションを図る内容が取りあげられている。「You can do it!」は、既習事項を活用し、主体的に活動できる内容となっている。	
2. 人権の取扱い	○ 内容、文章、挿絵、図、資料等全般に渡って人権尊重の観点からの配慮が見られる。 ○ 国際理解を深め、国際協調の精神を養うことができるよう配慮されている。例えば、祭りや行事、食文化、世界遺産などに関する題材や資料が取り扱われている。世界中の小学生のメッセージを取り扱っており、多様な文化や価値観に触れる機会を設定している。 ○ 文章、写真、挿絵、図、資料などが、すべての児童に見やすく、使いやすいよう取り扱われている。例えば、配色やフォント、4線ノートの幅や線種・基線の色使いなど、配慮されている。また、デジタル教科書では、漢字にルビふりの設定ができるよう工夫されている。 ○ 金子みすゞさんの詩、車椅子バスケットボール等を題材として扱うとともに、イラストや写真でも働く女性と家事をする男性、同性の保護者とその子どもを掲載するなど、現代における課題にも積極的に触れている。	
3. 発達段階への考慮	○ 児童の発達段階に即して、興味・関心をもって学習を進められるように工夫されている。例えば5年では、自己紹介、誕生日、時間割、できることについて、あこがれの人、道案内、注文の仕方、自分の町などについて、6年では、自己紹介、日本の行事、日常生活、夏休みの思い出、世界の国々、将来の夢、小学校の思い出などについての題材が取り扱われている。 ○ 新出言語教材の分量や掲示の仕方について、児童の発達段階を考慮している。例えば、自己紹介場面のページでは、5年で、「My name is ~.」「How do you spell it?」	

	「What sport do you like?」など、6年で、「I' m ～.」「My name is ～.」「Where are you from?」「I like ～.」「I' m good at ～.」「I 'm interested in ～.」「I can ～.」などの表現を扱っている。単語は、食べ物、色、動物名、スポーツ名、国名などが扱われており、リスニングやアクティビティの中で取りあげられている。
4. 組織・配列	○目標や内容を踏まえて、教科など横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。また、短時間学習での扱いも例示されている。 ○各単元は「Hop!」「Step!」「Jump!」という構成になっている。「Hop!」では単元のゴールを示し、学習の見通しが持てるようになっており、「Step!」では聞く活動やチャンツで表現に慣れ、既習の表現を加えながら伝え合い、「Jump!」では、単元で重点的に学ぶ領域の活動を行い、世界の映像を見て見方・考え方を広げる。はじめに「聞く」活動を多く取り上げ、チャンツで口を慣らし、豊かなインプットから少しずつアウトプットにつながる、児童の意欲を高める構成になっている。 ○言語の使用場面は、自己紹介、学校生活や教科、憧れの人の紹介、道案内、食事・買い物、自分の町の紹介、日本の紹介、日常生活、夏休みの思い出紹介、行きたい国の紹介、将来の夢の発表、小学校の思い出の発表など、身近な教材が取り上げられている。また、言語の働きは、「質問する」「説明する」「発表する」などが取り扱われている。 ○各単元、最初に絵や写真が配置されている。また、活動ごとに、本文・写真・挿絵・図・表などが効果的に配置され、活動に沿ったマークが示されている。
5. 学び方の工夫	○巻末の「Picture Dictionary」で自分の伝えたいことに合わせて語彙などを調べることができる。デジタル教科書では、自分で見たり聞いたり調べたりすることができるよう歌、音声、映像が用意されている。また、音声の再生速度を調整できるほか、チャンツへのハイライト機能などが備えられている。各単元の「Let' s try」「Let' s speak」などで、ペア・ワークやグループ・ワークが設定され、児童同士の学び合いを促すことができる。 ○5・6年冒頭の「Let' s Start」では、見開きにてイラストや英文が示され、外国語活動で学習した内容を復習できるように配慮されている。また、QRコードを読み取ることで、語彙や表現を音声で聞くことができるよう工夫されている。 ○各unitの紙面上での活動位置が固定化されており、児童が見通しを持って学習できるように工夫されている。 ○QRコード付きの「Picture Dictionary」が教科書から外すことができる形で附属されており、家庭でのシームレスな学習が可能となる。また、英作文を作る上で使いたい英単語を絵から探すこともできる。 ○「Let' s try.」や「Plus One」では、ペアでたずね合ったり、伝え合ったりするように設定されており協働的な学びができる工夫がある。 ○デジタル教材のチャンツでは音声に合わせて文字の背景に色がつき、どこを読んでいるのか児童が視覚的に捉えられる工夫がある。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○各単元の最後に「ふりかえろう」のコーナーがあり、学習したことについて顔マークに印をつけたり記述したりすることで振り返ることができる。また、各単元の「Let' s try.」などで友だちに意見を伝えるなど、実際のコミュニケーションに活用することができる。二次元コードでは、各単元のチャンツや歌、映像を見て予習・復習をすることができる。 ○6年で、小学校での思い出、将来の夢や中学校でしたいことなどを友だちに伝え合う場面が設定されており、中学校への接続を意識した内容になっている。また、中学校の学習内容の紹介もされている。

	○他教科やキャリア教育・防災教育やSDGsに関連との関連づけられている題材などがある。 ○各unitの「Let's watch and think」や各学期最後の「世界の友達」では学習した表現を使いながら異文化や多文化共生への理解を深めることができるように工夫されている。
7. デジタル教材への対応	○タブレット端末での使用（タッチパネル）に対応したデジタル教科書あり。 ○速度変更可能 ○タッチによる読み上げ機能あり。（英語の語句以外の部分も含む） ○ハイライト機能あり。 ○QRコードによるデジタル教材（ドリル、動画、音声）へのリンクあり。 ○早送り、巻き戻し可能、シークバー表示あり。

種 目	外国語
-----	-----

	所 属	職 名	氏 名
調 査 員	代表 磯島小学校	校長	鈴木 秀和
	樟葉南小学校	教頭	近藤 美佐
	樟葉南小学校	教諭	小島 陽子

令和 6 年度（2024年度）使用小学校教科用図書調査事項

発 行 者	書 名	著 作 者
啓林館	Blue Sky elementary	影浦 攻 ほか99名
項 目	所 見	
1. 目標・内容の 取扱い	○言語や文化を理解する内容が適切に取りあげられている。各単元では、音声で英語に慣れ親しんだ後、実際にコミュニケーションを行う活動が取り扱われており、基礎的な技能が身につく内容となっている。 ○目的や場面、状況などに応じて、自分の考えや気持ちなどを伝え合う内容が取りあげられている。例えば、「Activity」では、学習した表現を使って、コミュニケーション活動を行う内容となっている。 ○主体的に英語を用いてコミュニケーションを図る内容が取りあげられている。単元間に設定されたReviewでは既習事項を活用し、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図る内容が取りあげられている。	
2. 人権の取扱い	○内容、文章、挿絵、図、資料等全般に渡って人権尊重の観点からの配慮が見られる。 ○国際理解を深め、国際協調の精神を養うことができるよう配慮されている。例えば、祭りや行事、食文化、世界遺産などに関する題材や資料が取り扱われている。 ○文章、写真、挿絵、図、資料などが、すべての児童に見やすく、使いやすいよう取り扱われている。例えば、配色やフォント、4 線ノートの幅や線種・基線の色使いなど、配慮されている。また、デジタル教科書では、漢字にルビふりの設定ができるよう工夫されている。 ○イラストや写真について、服や持ち物の色、社会的役割に対して性別による固定概念を示さないよう、ジェンダーに配慮されている。	
3. 発達段階への考慮	○児童の発達段階に即して、興味・関心をもって学習を進められるように工夫されている。例えば 5 年では、自己紹介、教科・時間割、1 日の生活、できることについて、身近な人の紹介、注文の仕方、位置・場所、行ってみたい国などについて、6 年では、自己紹介、日本の紹介、自分たちの町・地域、体験したこと、あこがれの人、小学校の思い出、将来の夢・職業、中学校生活・部活動などについての題材が取り扱われている。 ○新出言語教材の分量や掲示の仕方について、児童の発達段階を考慮している。例えば、自己紹介場面のページでは、5 年で、「Hi, I' m ～.」や「I like ～.」「How do you spell your name?」など、6 年で、「I' m from～.」「I' m good at～.」「W	

	hat' s your favorite sport?」「My favorite sport is ～.」「My birthday is ～.」などの表現を扱っている。単語は、食べ物、動物名、スポーツ名、国名などが扱われており、リスニングやアクティビティの中で取りあげられている。
4. 組織・配列	○目標や内容を踏まえて、教科など横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。また、短時間学習での扱いも例示されている。 ○各単元は、言葉に出会う場面に出会う「とびら」があり、Step1、2は使いながら言葉に慣れるための、インプット活動・ミニアウトプット活動、Step3はコミュニケーションを楽しむまとめの活動となっている。また、それぞれの単元の最後にある「Let' s Read and Write」では読み書きの練習を行い、段階的に学習を進めることができ、児童の意欲を高める構成になっている。 ○言語の使用場面は、自己紹介、学校生活や教科、日常生活、食事・買い物、道案内、旅行計画、日本の紹介、小学校の思い出紹介、将来の夢の発表、中学校でしたいことの発表など、身近な教材が取り上げられている。また、言語の働きは、「質問する」「説明する」「発表する」などが取り扱われている。 ○各単元、最初に絵や写真が配置されている。また、活動ごとに、本文・写真・挿絵・図・表などが効果的に配置され、活動に沿ったマークが示されている。
5. 学び方の工夫	○巻末「Word List」や付録シート「会話を楽しむフレーズ集」で、自分の伝えたいことに合わせて語彙などを調べることができる。デジタル教科書では、自分で見たり聞いたり調べたりすることができるよう歌、音声、映像が用意されている。また、音声の再生速度を調整できるほか、暗記したい語彙を隠す機能などが備えられている。各単元の「Activity」などで、ペア・ワークやグループ・ワークが設定され、児童同士の学び合いを促すことができる。 ○5・6年冒頭の「Pre Unit」では、見開きにてイラストや英文が示され、外国語活動で学習した内容を復習できるように配慮されている。また、QRコードを読み取ることで、語彙や表現を音声で聞くことができるよう工夫されている。 ○各unitの紙面上での活動位置が固定化されており、児童が見通しを持って学習できるように工夫されている。 ○「Activity」では、ペアでたずね合ったり、伝え合ったりするように設定されており協働的な学びができる工夫がある。
6. 補充的な学習・発展的な学習	○各単元の最後に「Look Back」のコーナーがあり、学習したことについてチェックボックスに印をつけたりすることで振り返ることができる。また、各単元の「Activity」などで友だちに意見を伝えるなど、実際のコミュニケーションに活用することができる。二次元コードでは、各単元のチャンツや歌、映像を見て予習・復習をすることができる。 ○6年で、小学校での思い出、将来の夢や中学校でしたいことなどを友だちに伝え合う場面が設定されており、中学校への接続を意識した内容になっている。 ○「Did you know? プラス」のコーナーでは記事がSDGsに関連しておりQRコードからWebサイト「わくわくSDGs」にアクセスし教科を横断した学習が可能となっている。 ○各単元の最後に「Did you know?」のコーナーや、「Did you know? プラス」のコーナーが設けられており、QRコードを利用し異文化への理解を深めることができるように工夫されている。

7. デジタル教材への対応	○タブレット端末での使用（タッチパネル）に対応したデジタル教科書あり。 ○タッチによる語句読み上げ機能あり。 ○QRコードによるデジタル教材（ドリル、動画、音声）へのリンクあり。 ○速度変更可能、シークバー表示あり。 ○リフロー、白黒反転、ルビ表示等のアクセシビリティあり。
----------------------	--